

鬼巫女





鬼

人に仇なす存在



人を喰らい
人を犯す生物



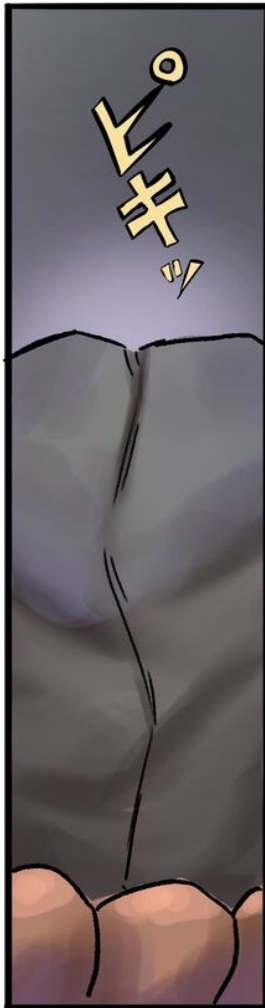
その邪悪な力を
抑止出来る一族

阿部家

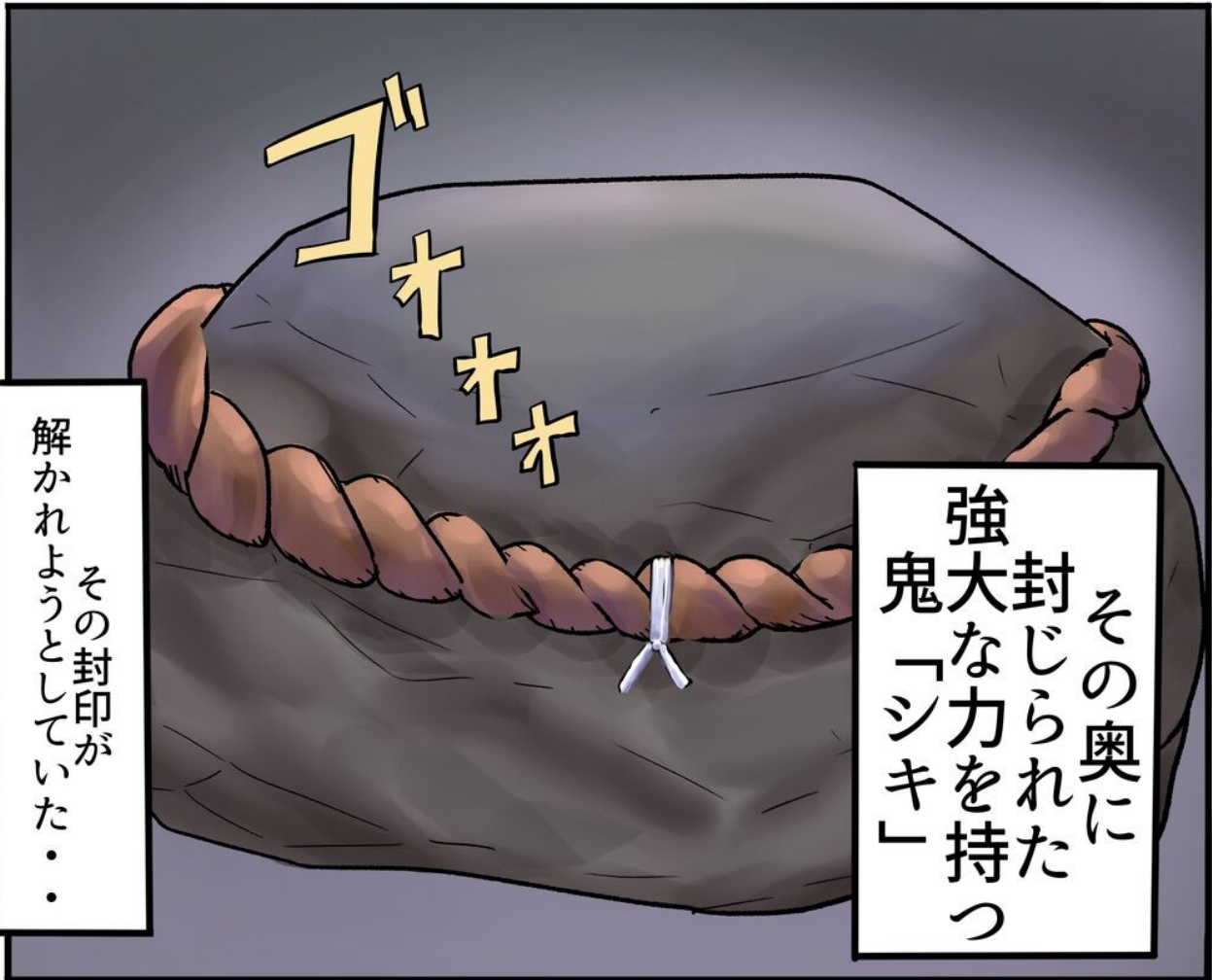
代々
鬼を封じる力を
持つ者たち



ここは阿部家が
代々管理する神社

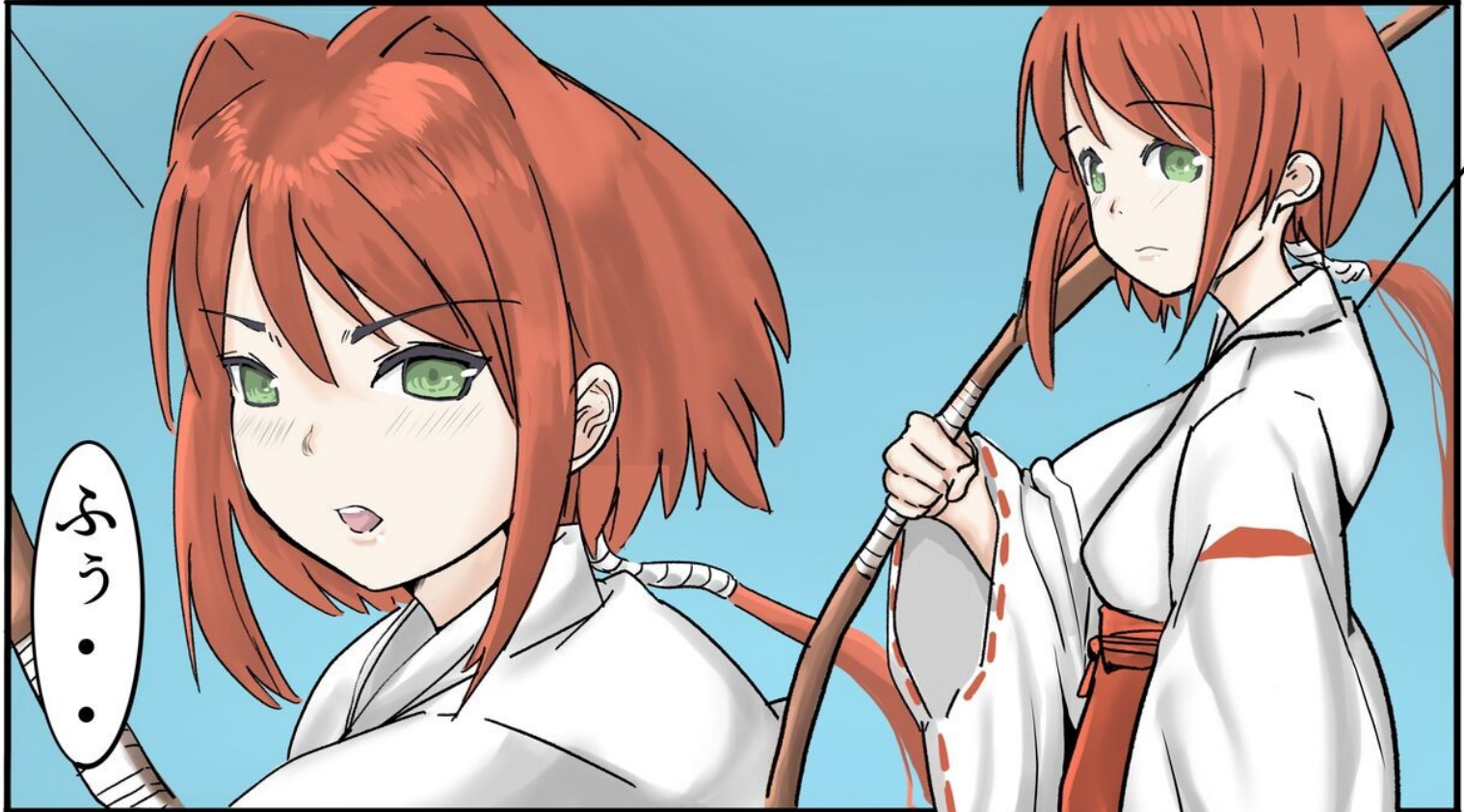
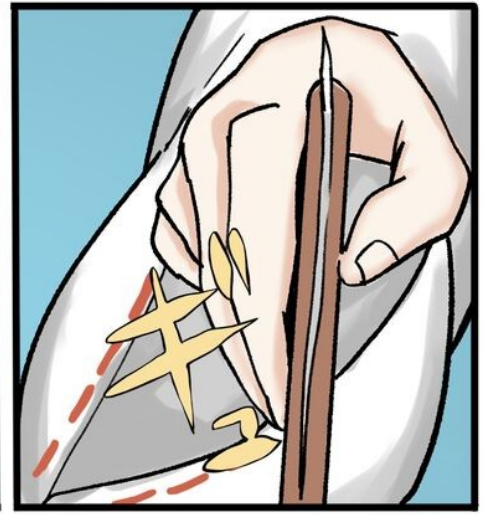
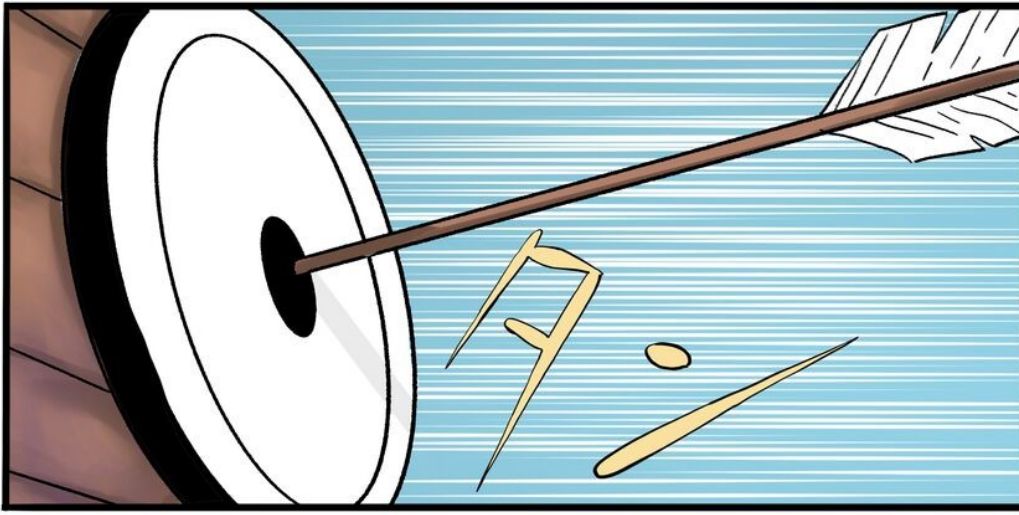


ピキッ

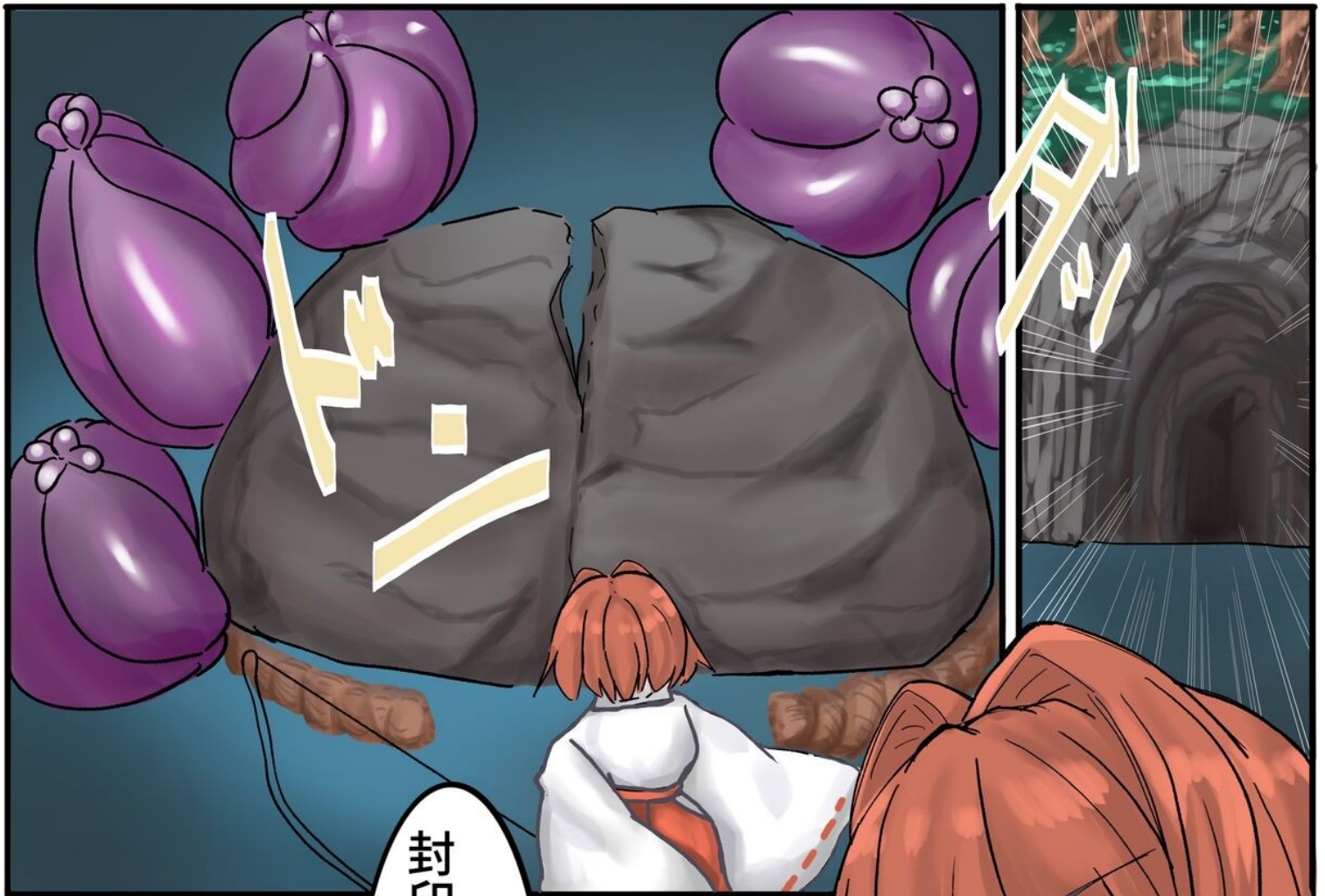


その封印が
解かれようとしていた...

その奥に
封印された
強大な力を持つ
鬼「シキ」



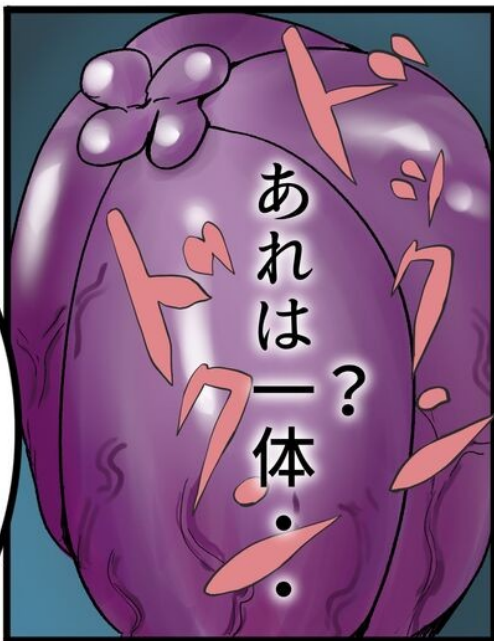
当代阿部家当主
ことね
阿部 琴音



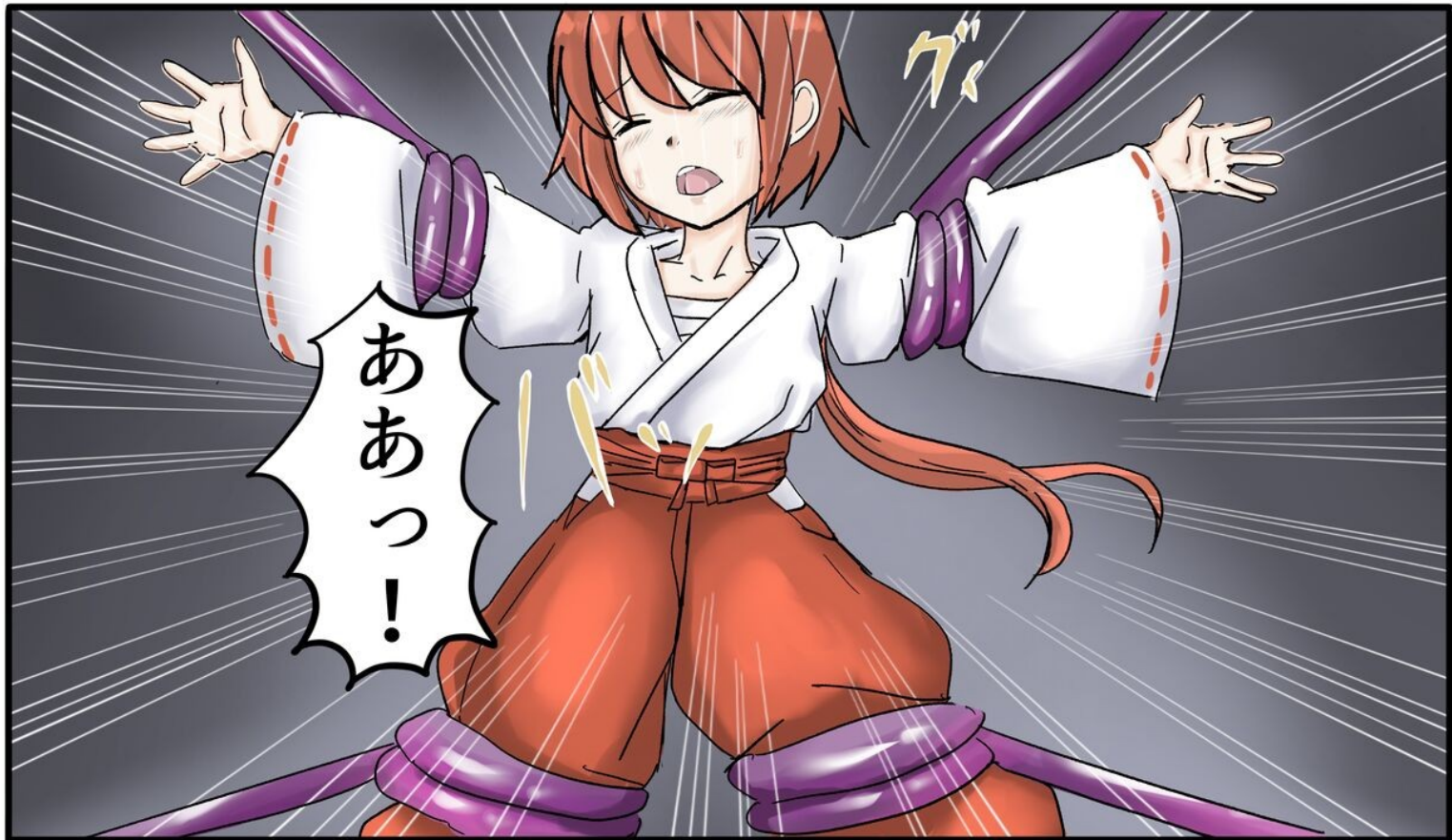
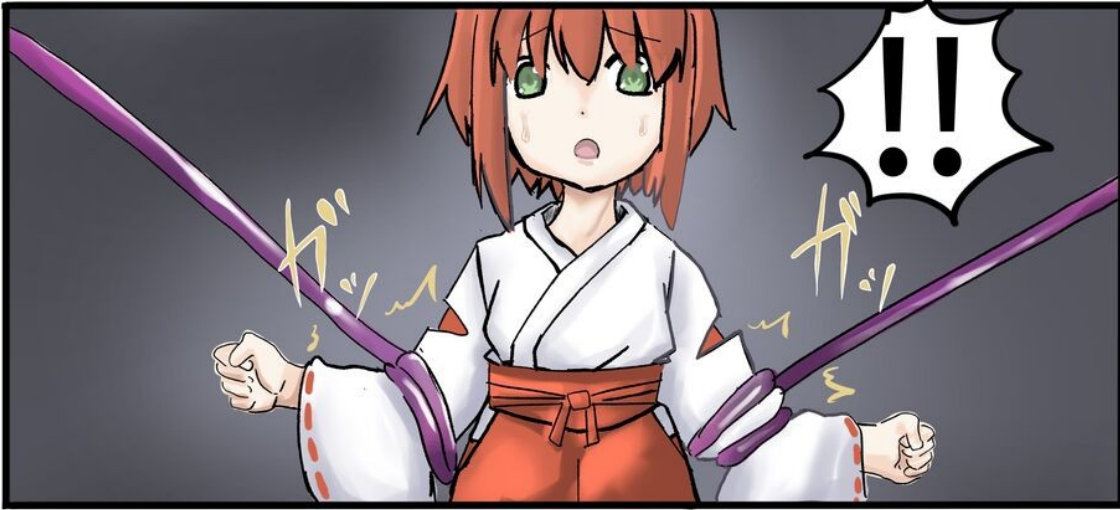
封印が解かれて…
やつぱり…



あれは
ワシが召喚した
妖華だよ
お嬢さちゃん



あれは一体…?





ようやく
この時が来たか

は、
離せ！

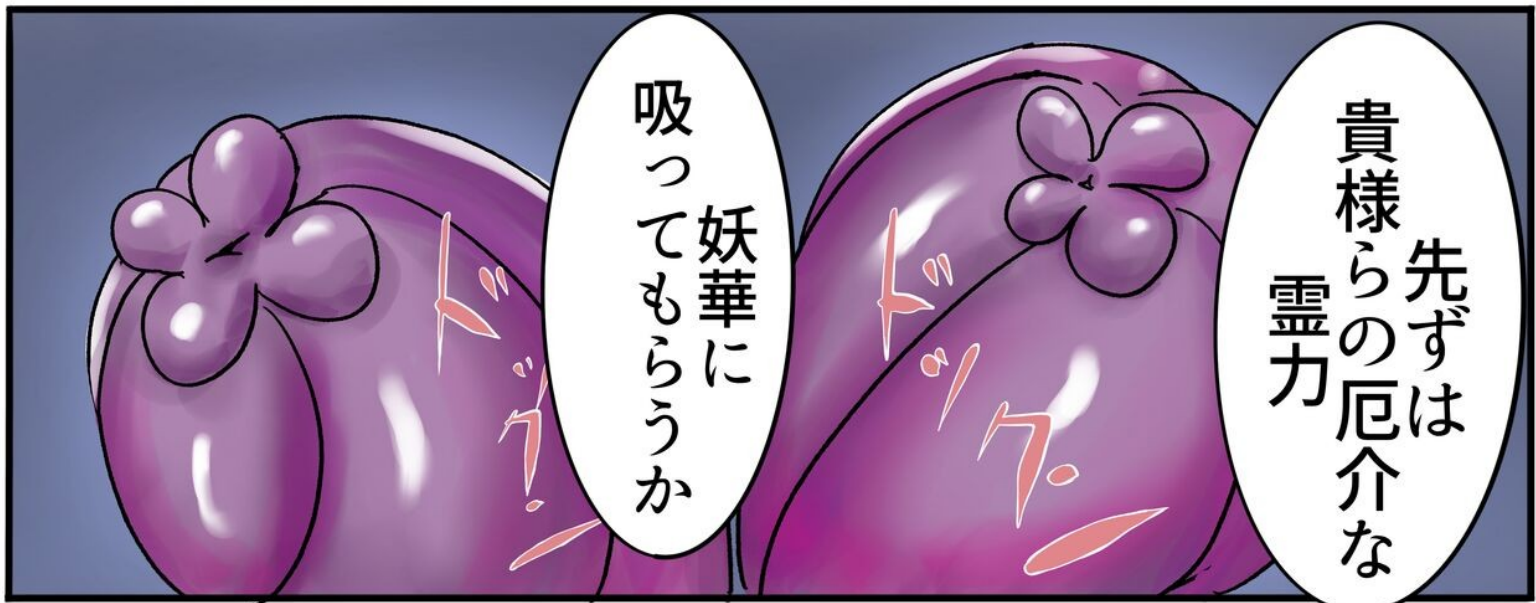
貴様が
当代の巫女か・





喰いごたえが
ありそうだ

威勢が
いいな



吸ってもらうか
妖華に

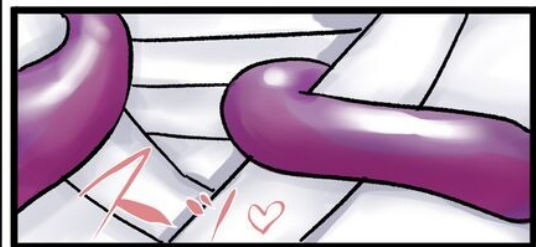
先ずは
貴様らの厄介な
霊力



妖華も
美しく咲き誇る
だろうなあ



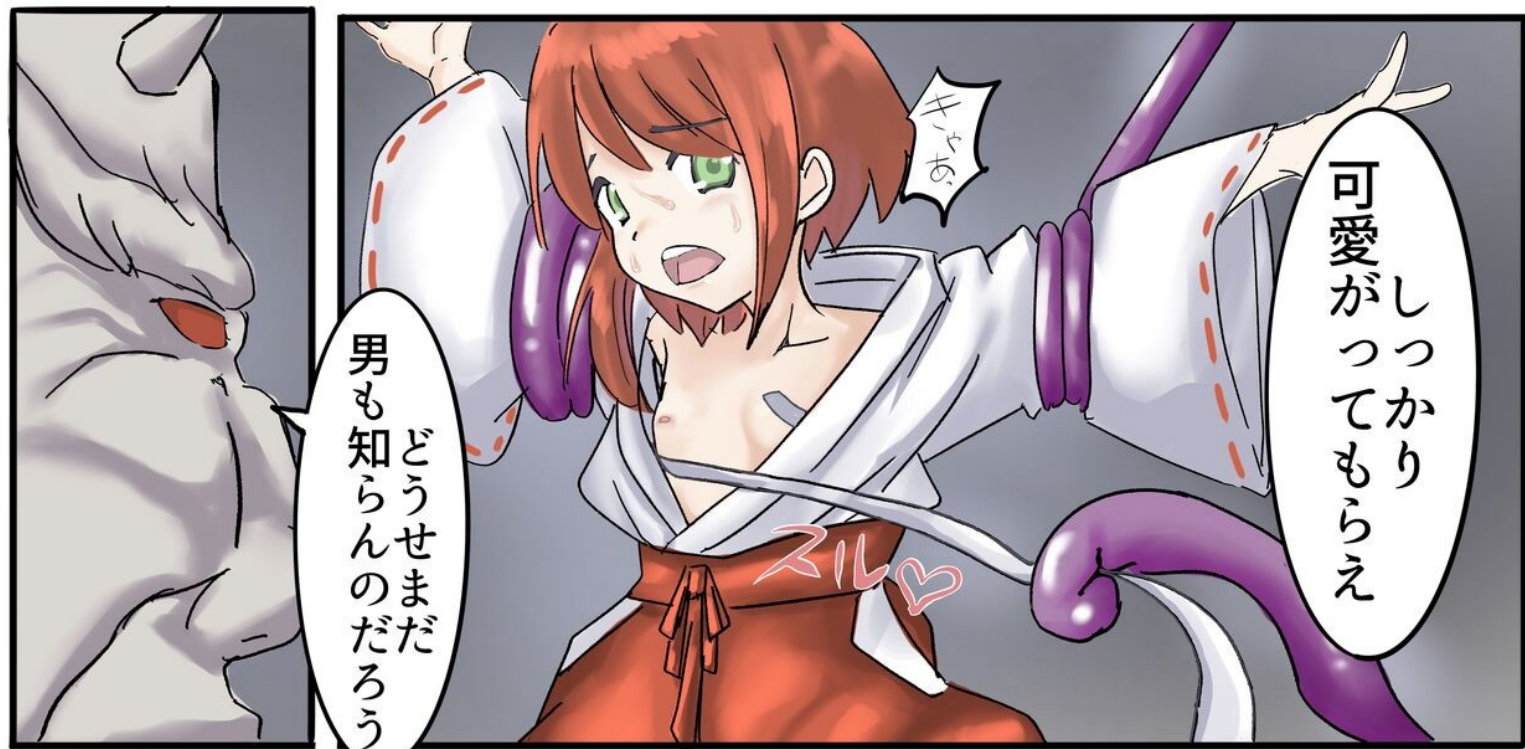
代々受け継がれる
阿部家の上質な霊力





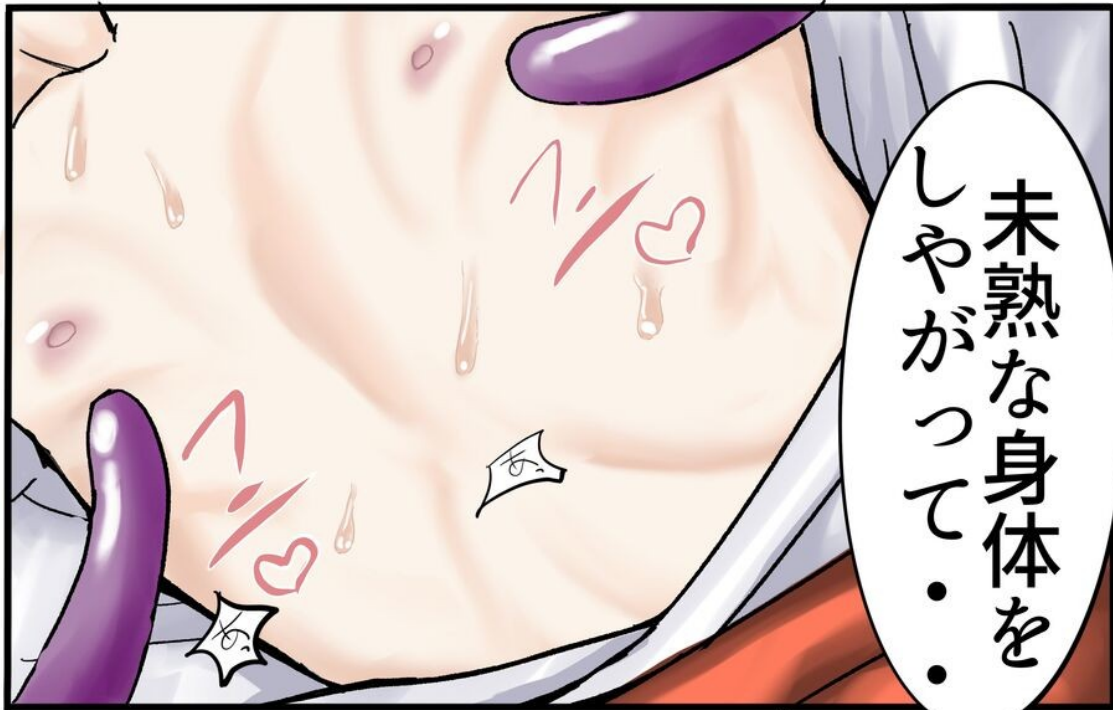
妖華は
靈力を吸い取り
快樂を送り込む

どうやらおまえの
靈力を気に入ったらしいな

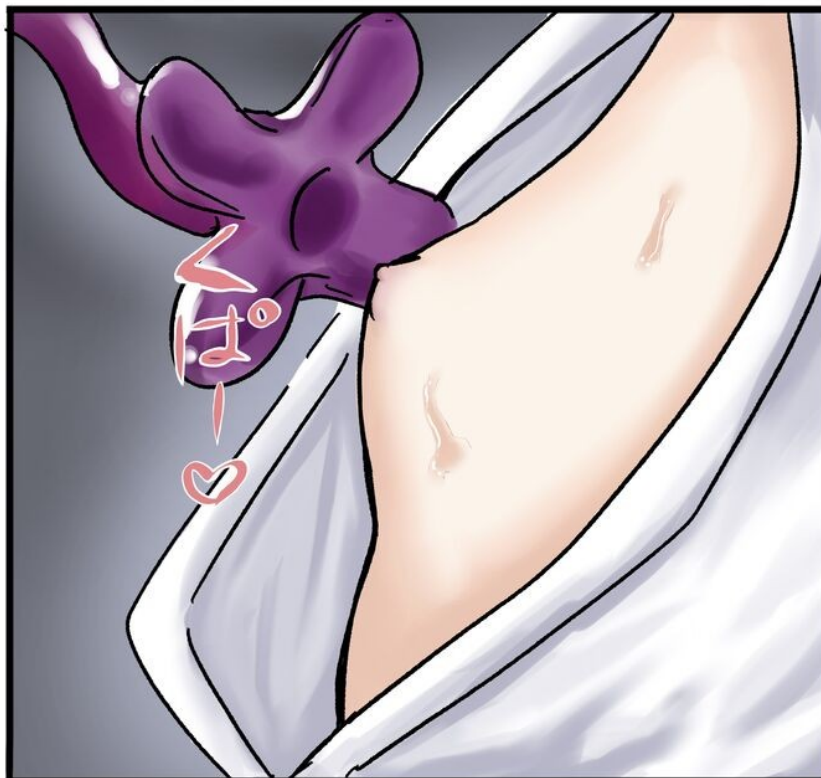
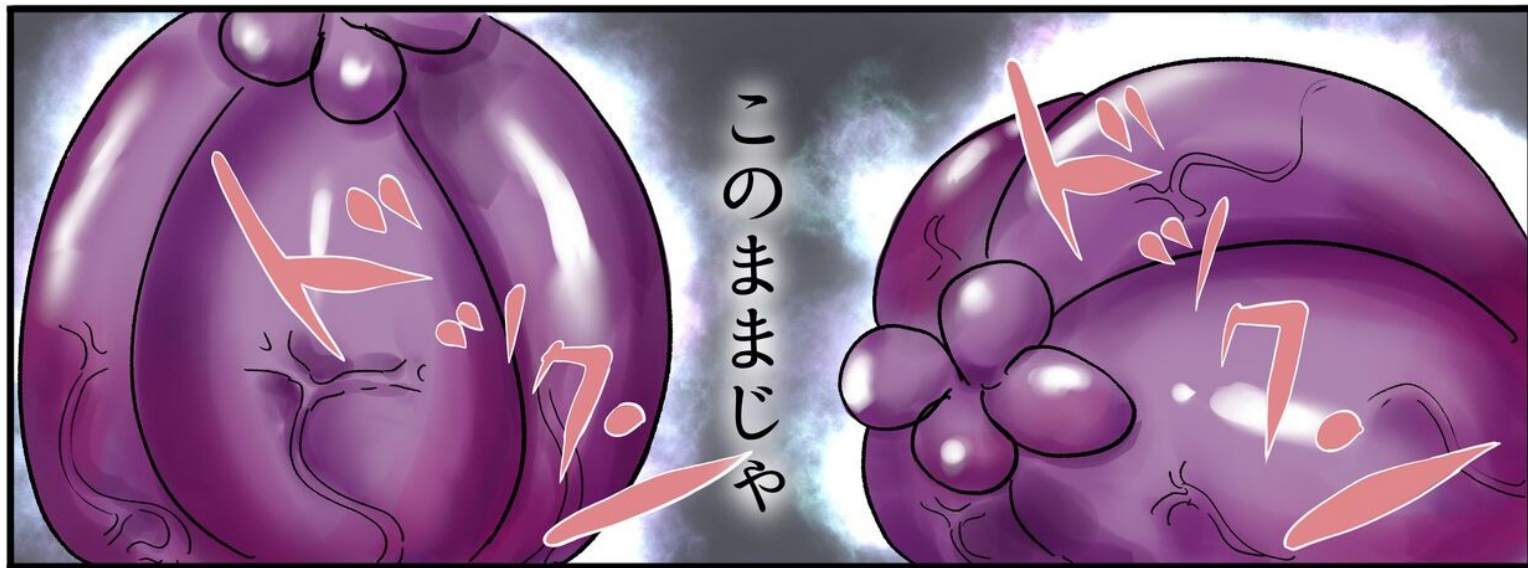
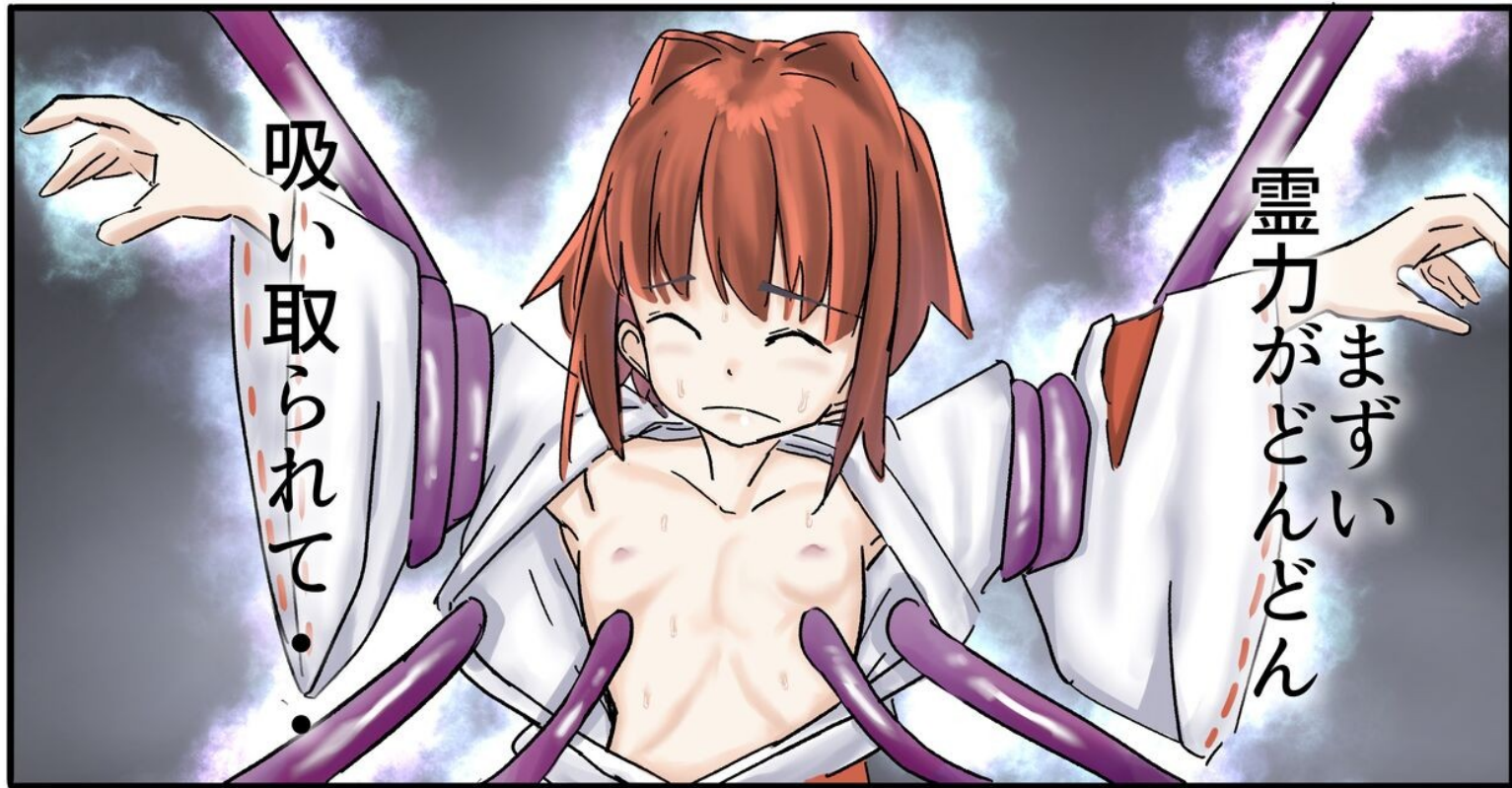


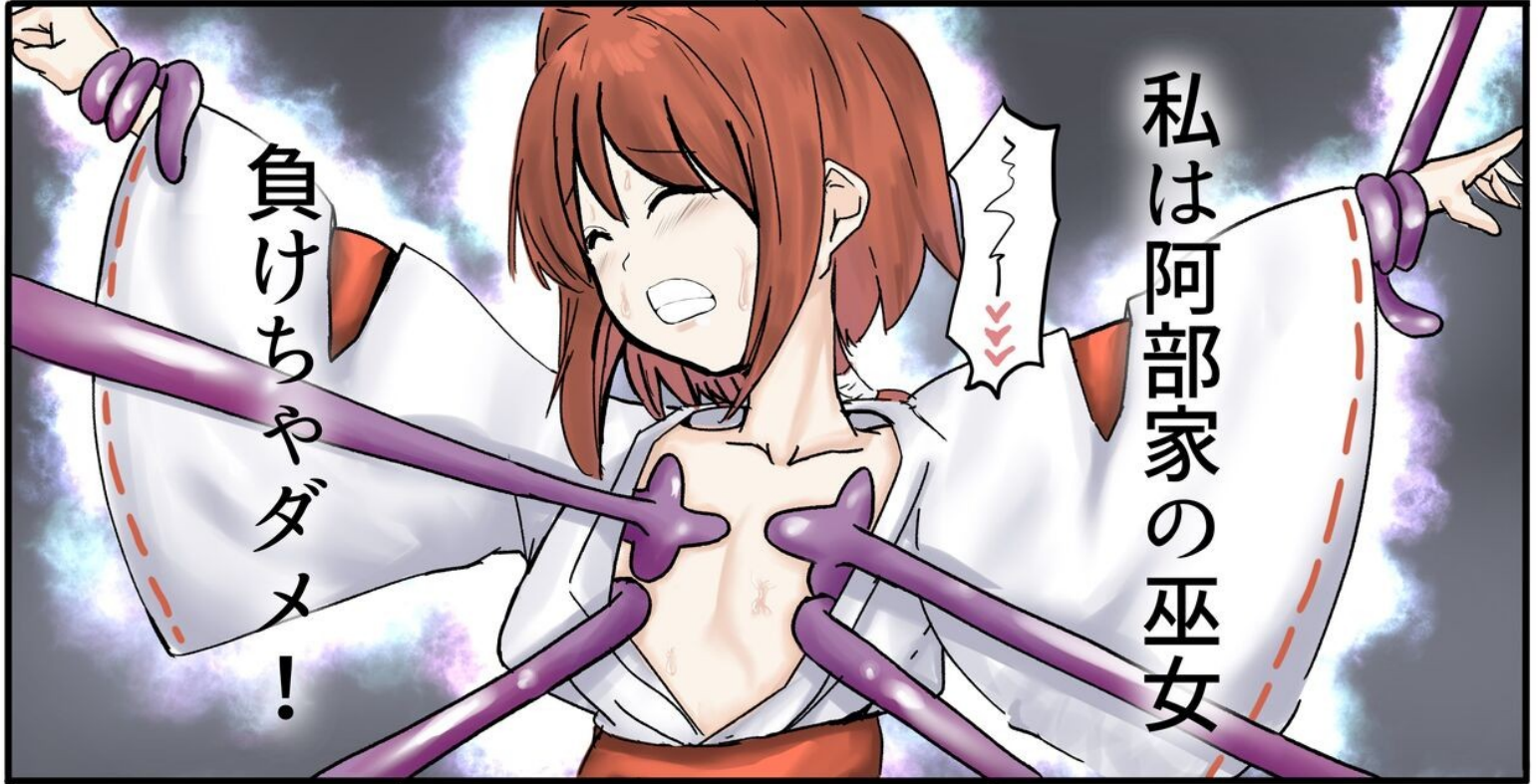
どうせまだ
男も知らんのだらう

しつかり
可愛がってもらえ



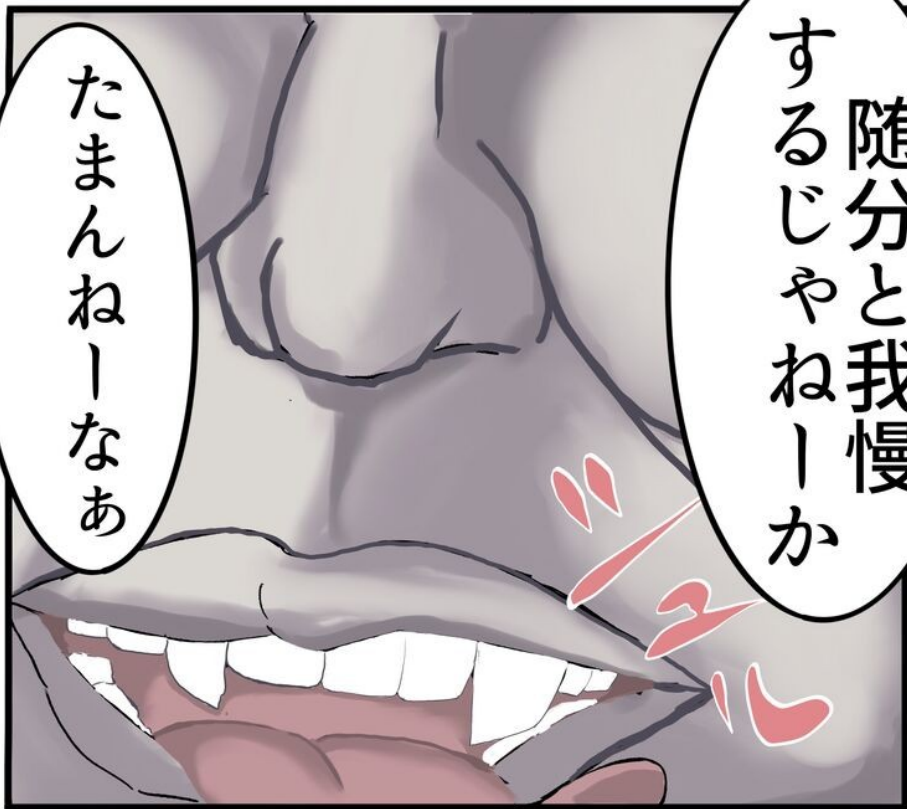
未熟な身体を
しやがって...





私は阿部家の巫女

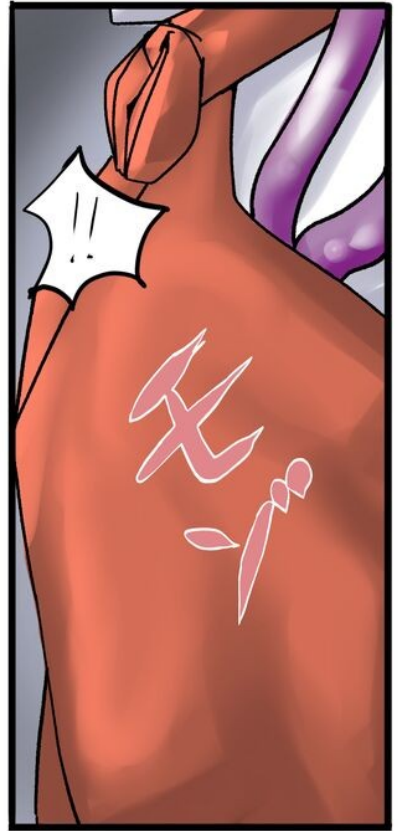
負けちゃダメ!



たまんねーなあ

随分と我慢
するじゃねーか





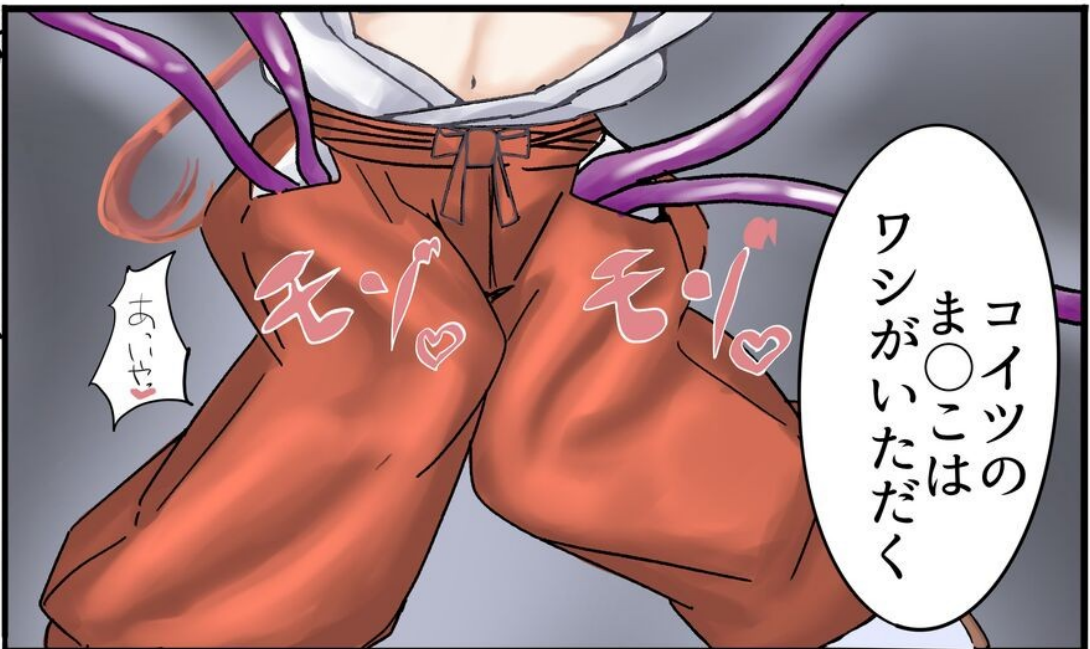
妖華よ
処女は奪うなよ



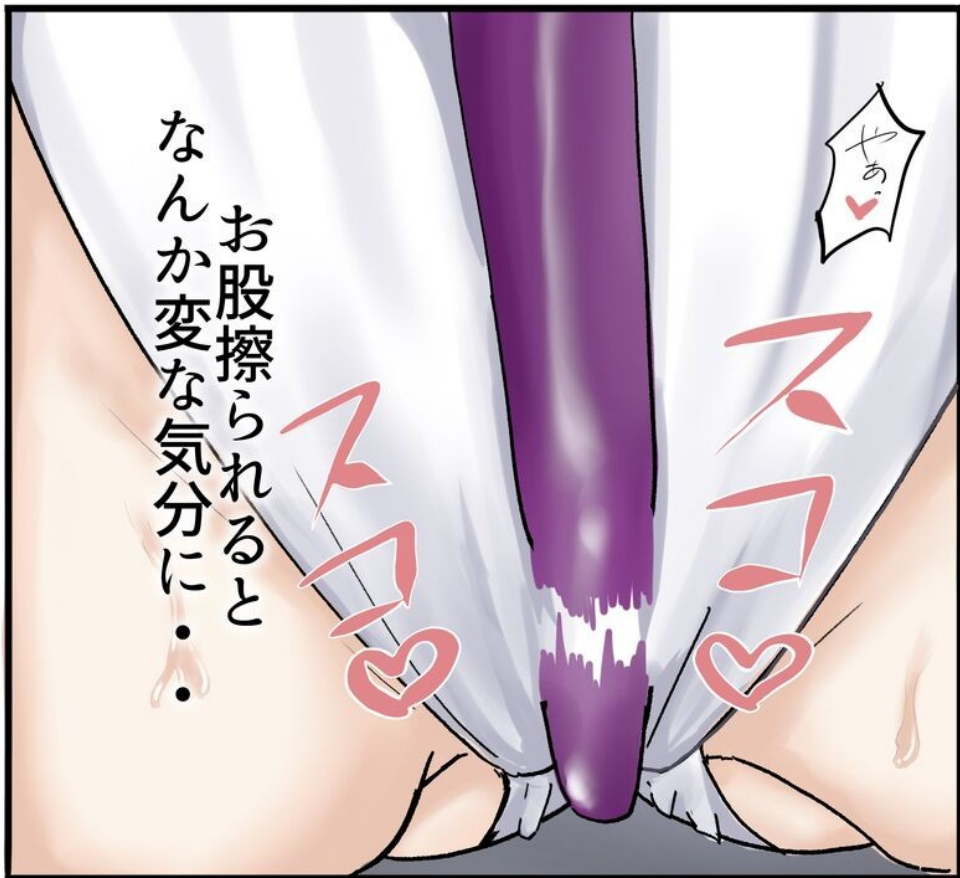
そ、そこは
ダメっ！



くすぐす
いやっ
たい！



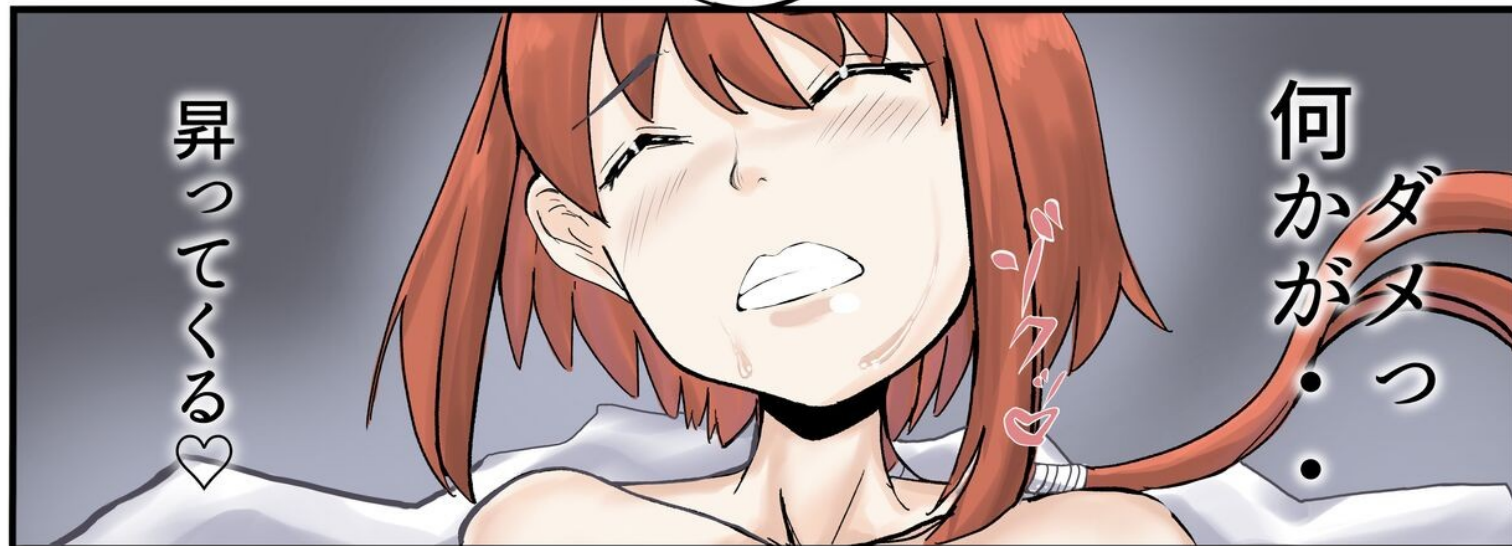
コイツの
ま〇こは
ワシがいたたく



お股擦られると
なんか変な気分になんか

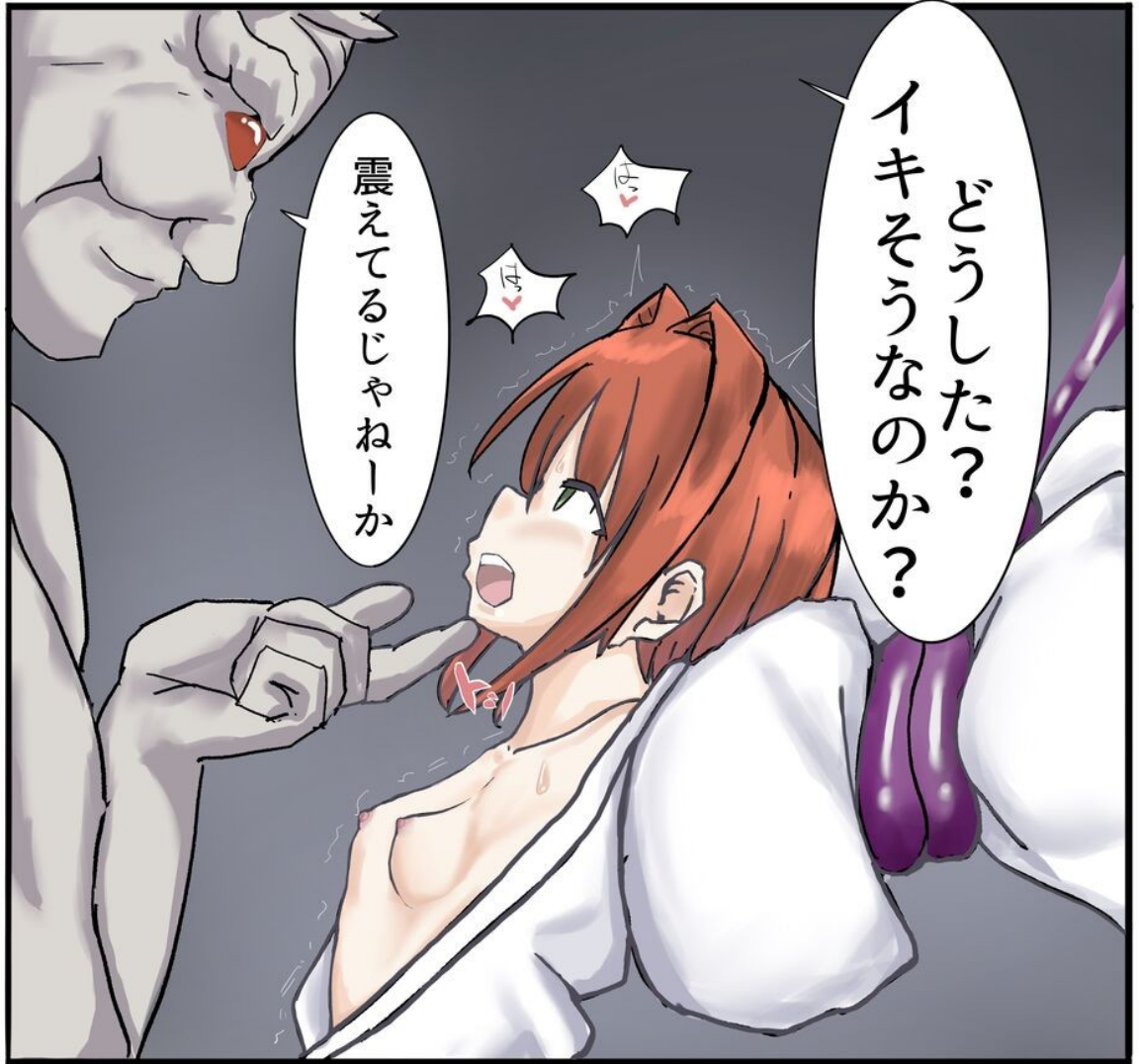


抗う必要など無い
そのまま
流されてしまえ



昇ってくる♡

何かダメっ



震えてるじゃねーか

どうした?
イキそうなのか?



正直になれ



気持ちいいんだろう?



我慢は
身体に毒だぜ



びるるる



お届けてやるぞ
お前のイキ顔





咲いたじゃないか

フツフツフツ
綺麗に妖華が

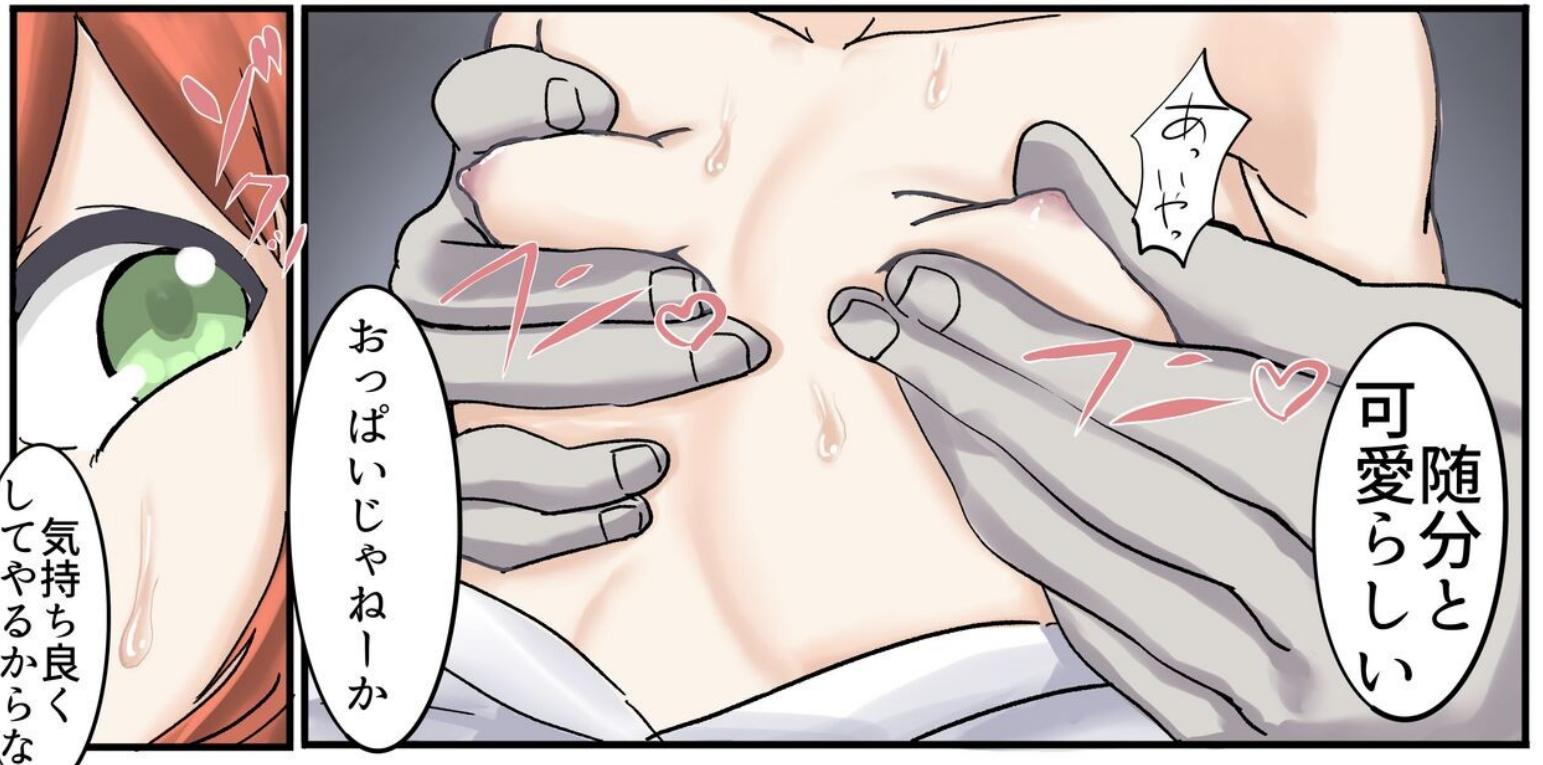


これでお前の
靈力は空っぽだな



久方ぶりの女だ
喰らう前に

たっぷりと
遊ばせてもらおうぜ



随分と
可愛らしい

おっぱいじゃねーか

気持ち良く
してやるからな



あつダメ!



味合わせてもらおう

巫女の肉体

あ、ダメ

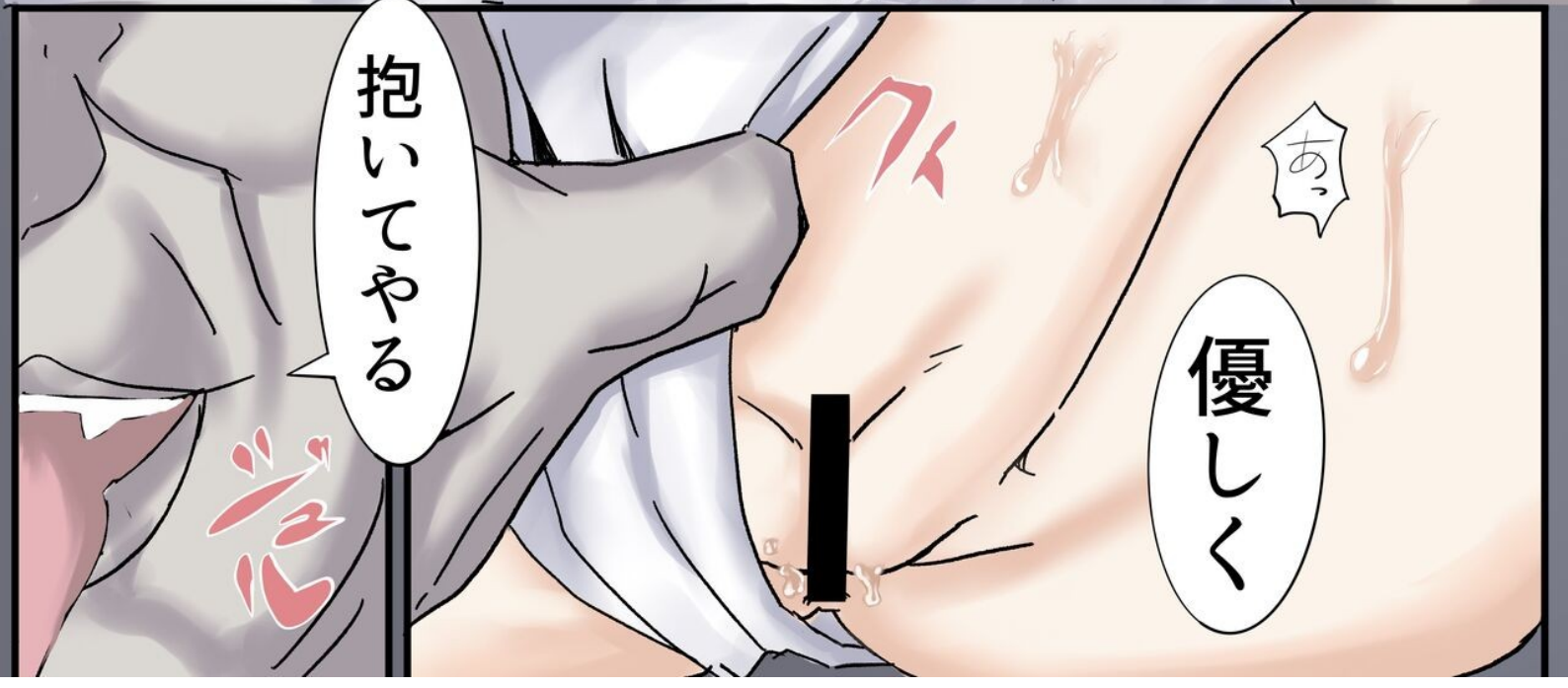
カママ

スッ



怖がる事はない

大人しくしていれば



抱いてやる

優しく

あ



中々
いい味だ

熟れる前の
未熟な果実・・・



そそ
甘い声が
唆るじゃねーか



痺れて・・・

やだっ
身体が



込み上げて・・・

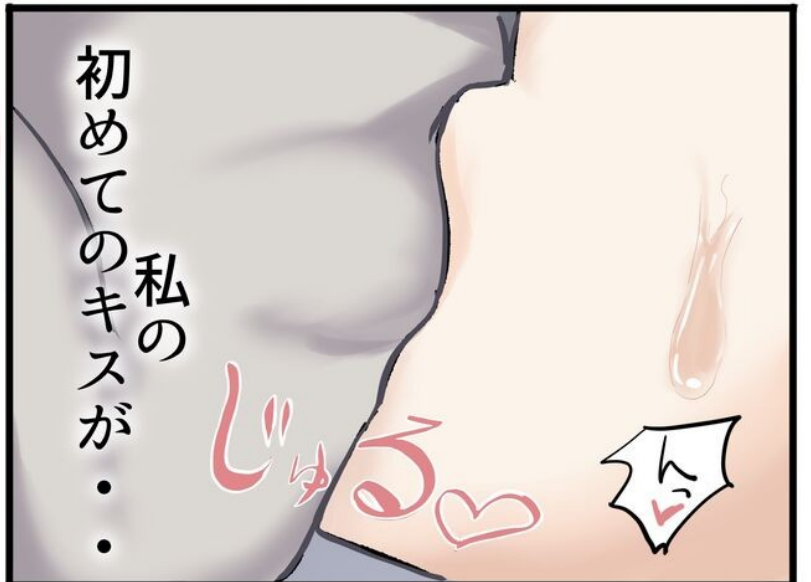
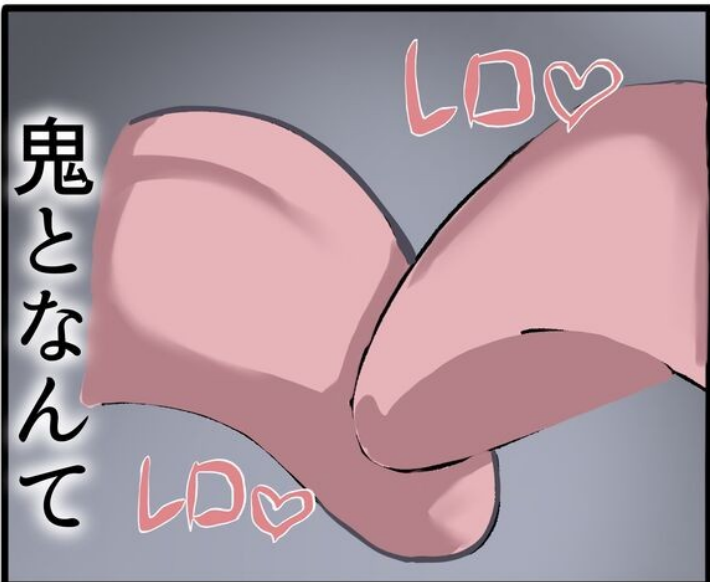
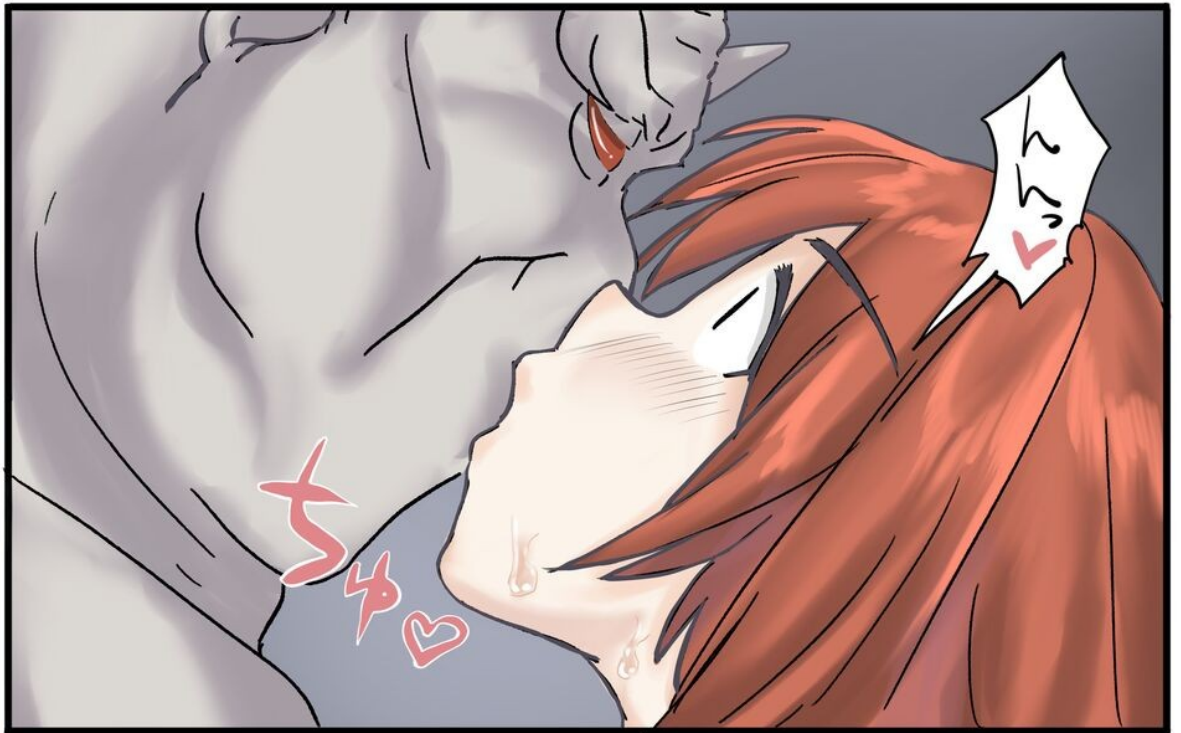
ああつ
また何か

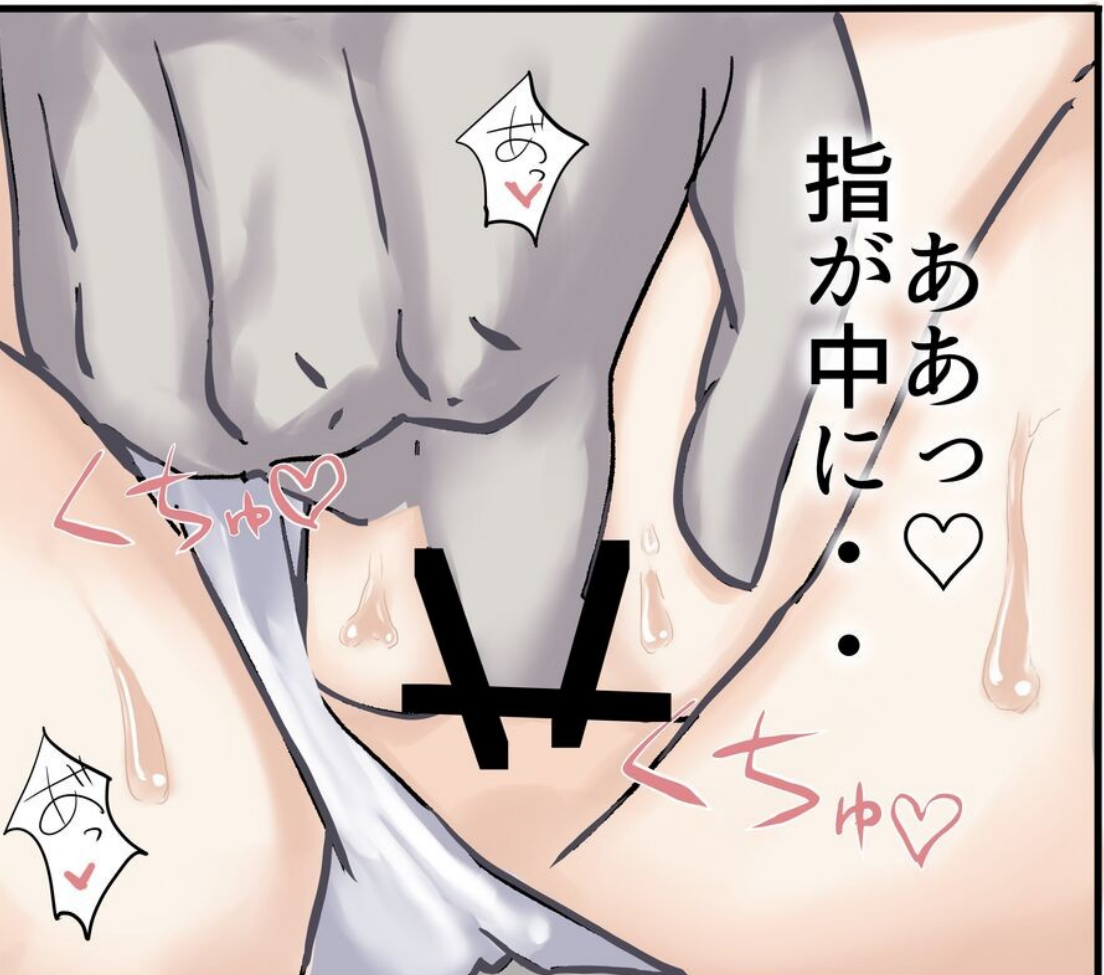
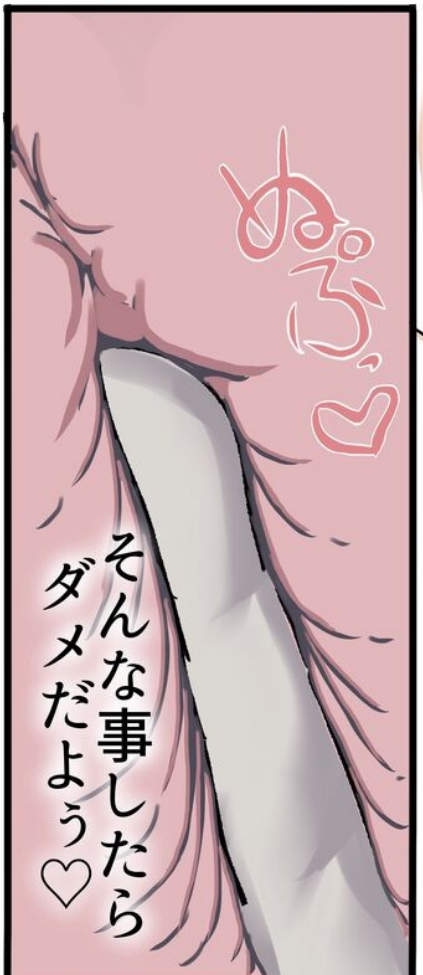


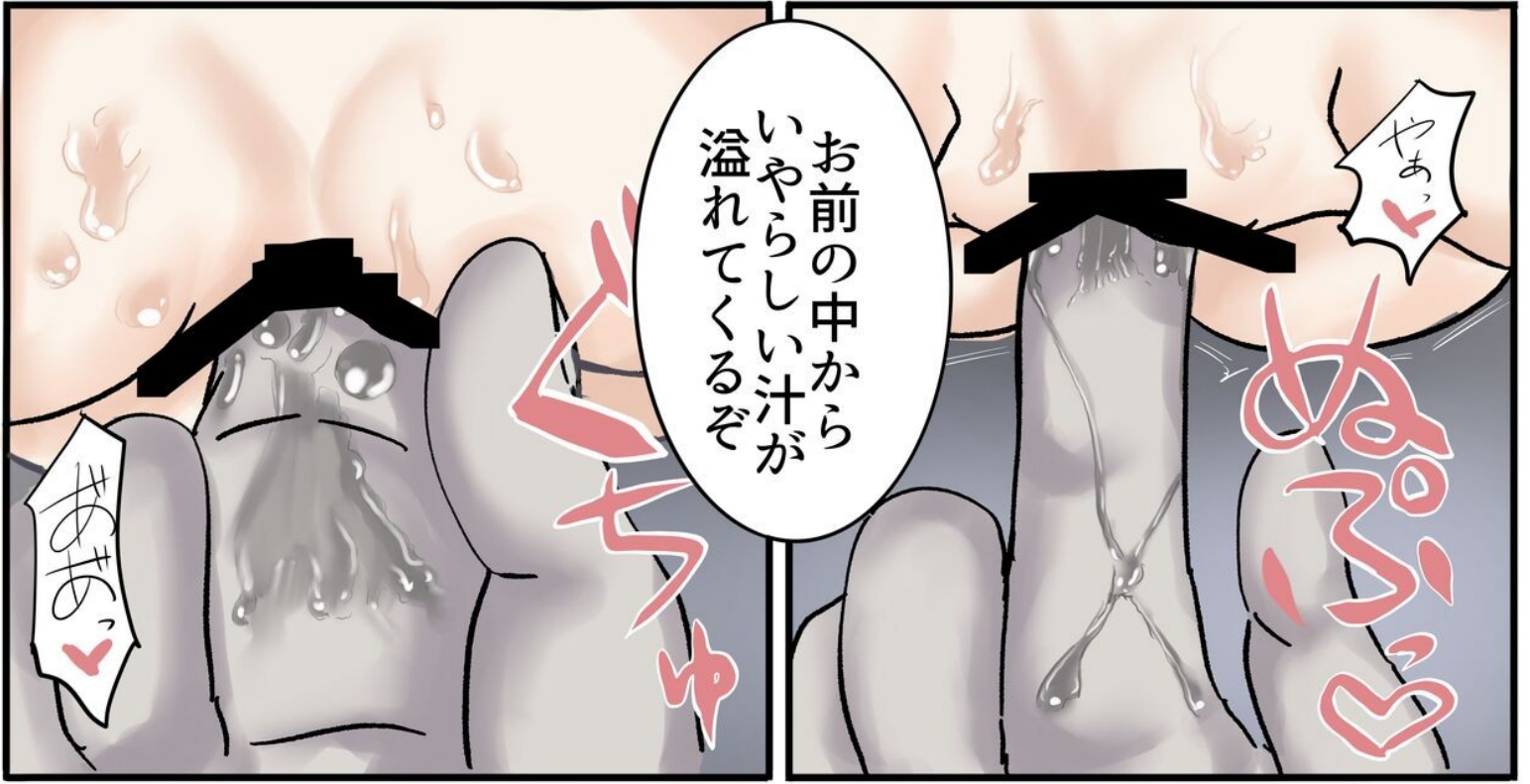
弾けるっ
♡

身体が

ああつ
♡







お前の中から
いやらしい汁が
溢れてくるぞ

やあ

くちゅ

ぬるぽ



そんなにか
気持ちいいの?

ワシの指が

はん

くちゅ



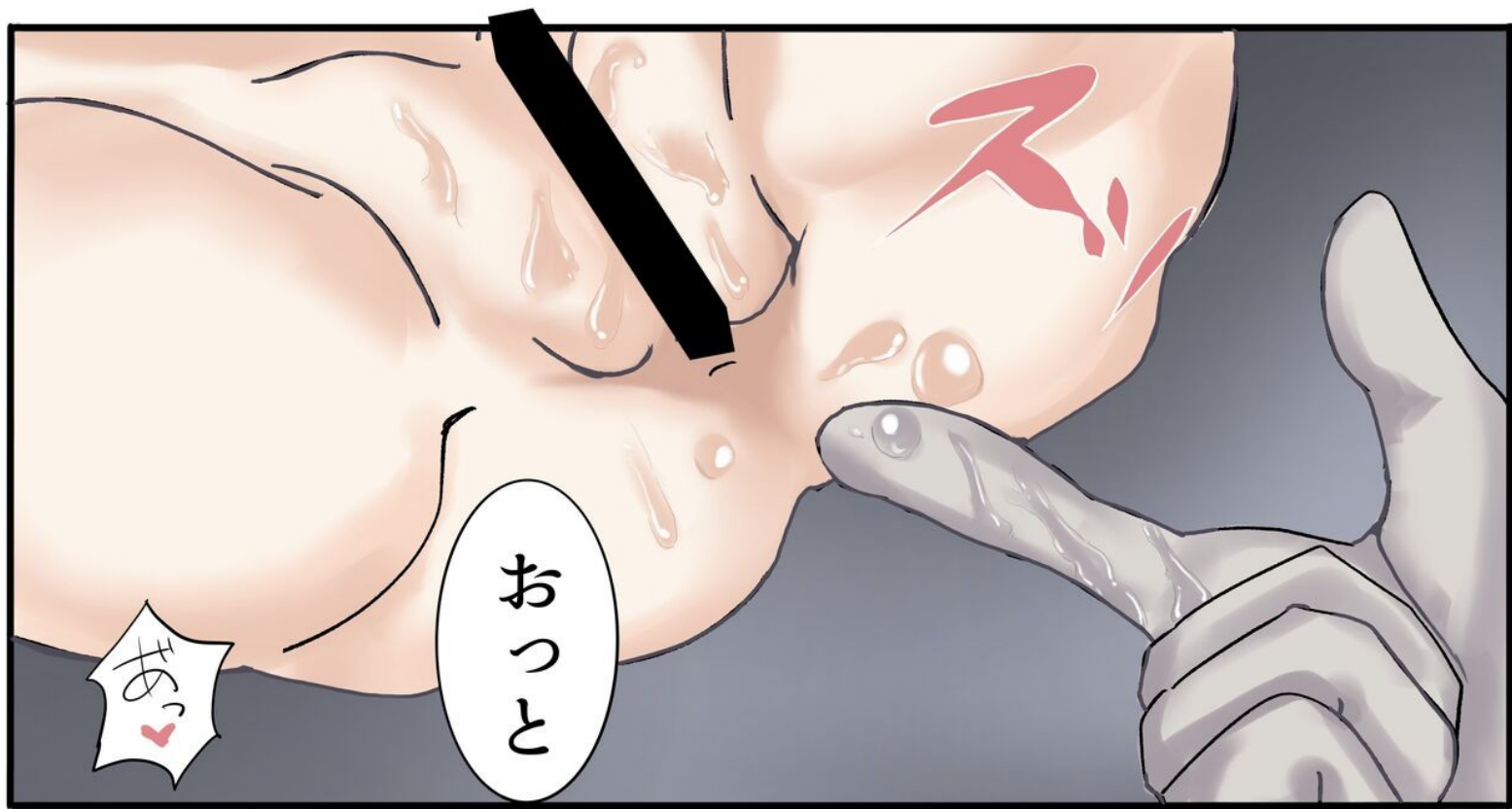
また凄いのが
来ちゃうの♡



ダメっ♡
そんなにか動かされると

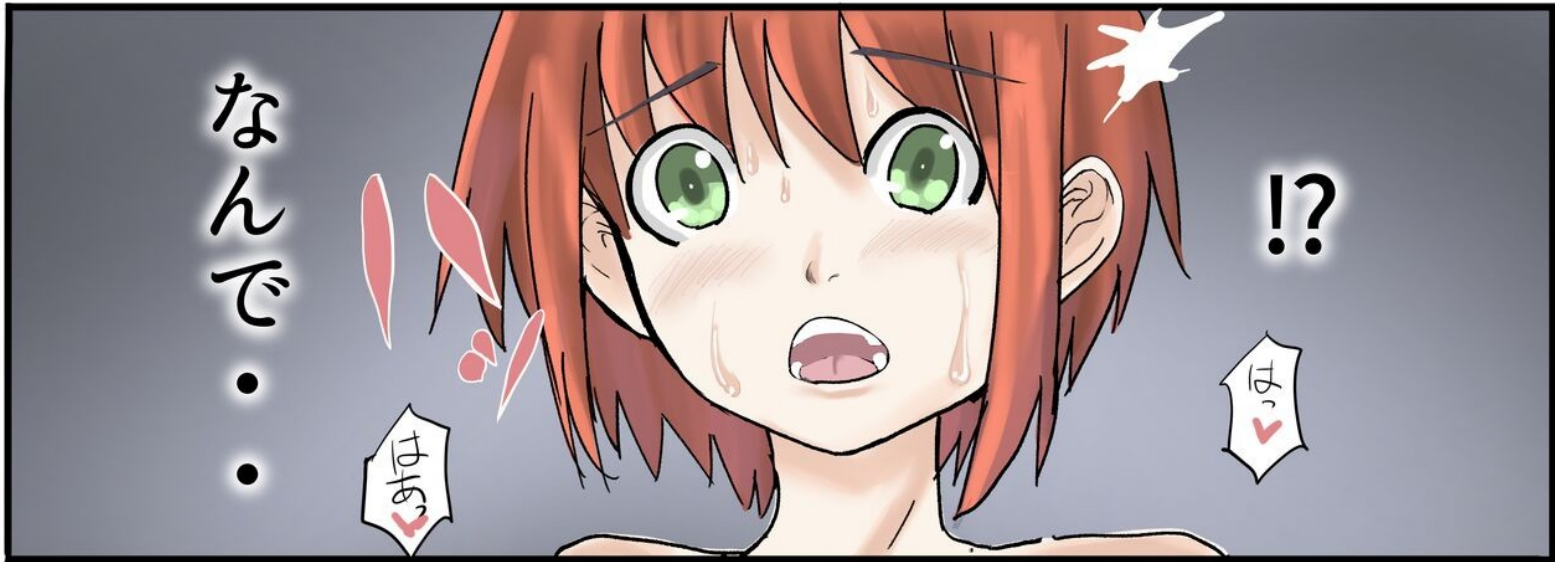
くちゅ

くちゅ



あっ♡

おっと



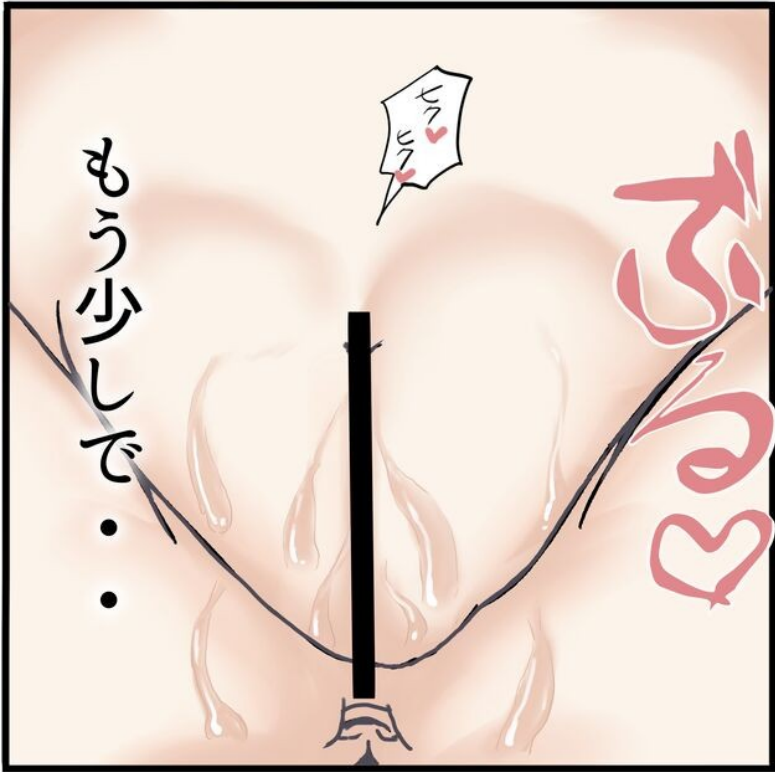
なんで...

あっ♡



どうした？

切なそうな顔をして



もう少しで...

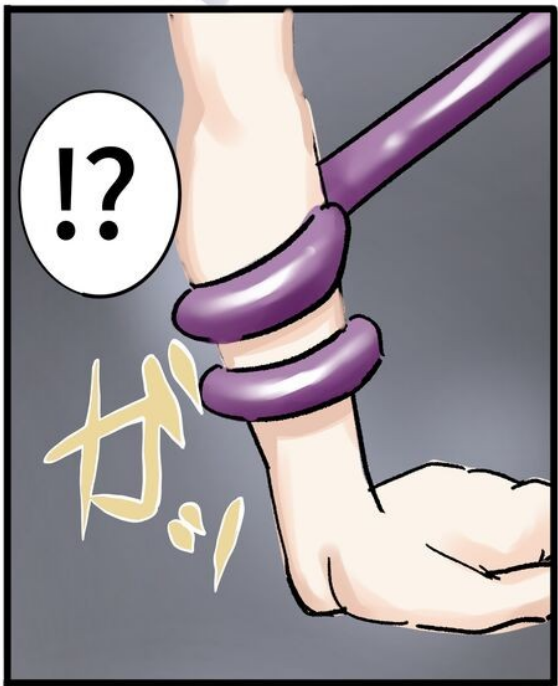
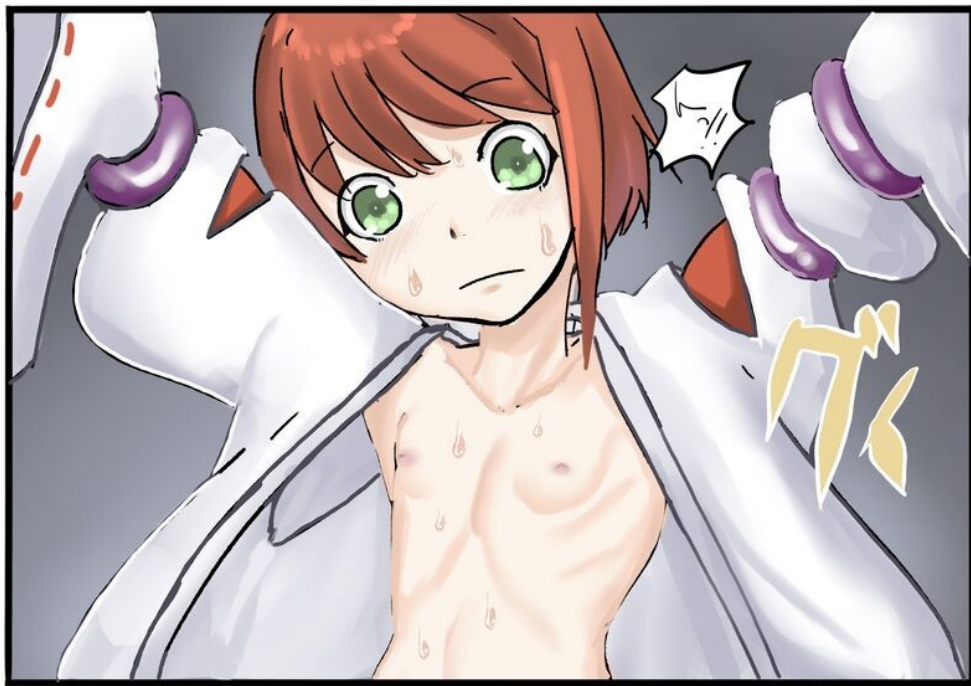
あっ♡

あっ♡

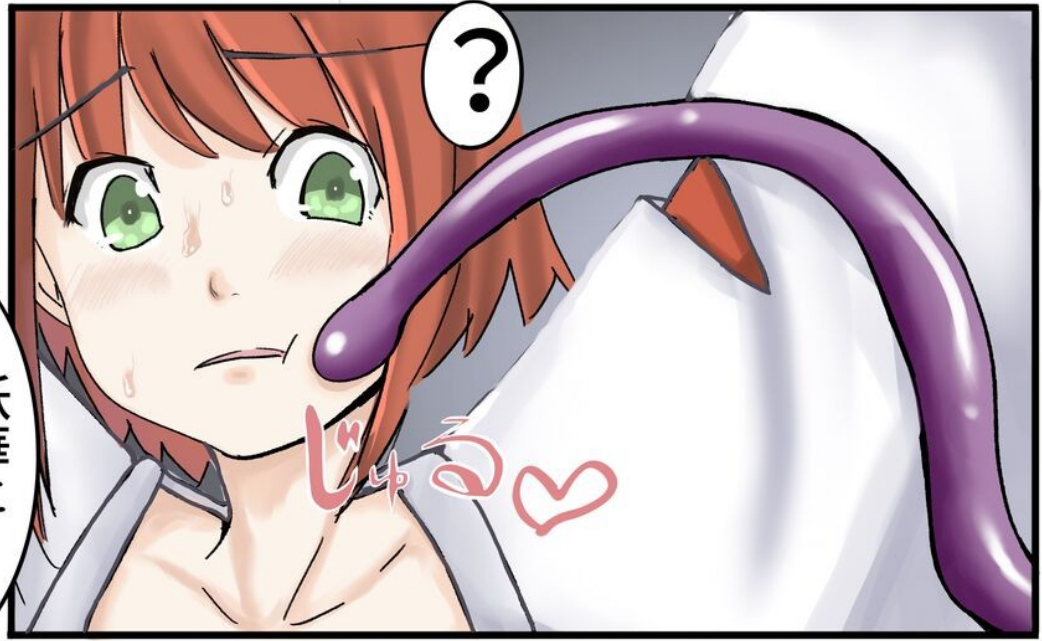


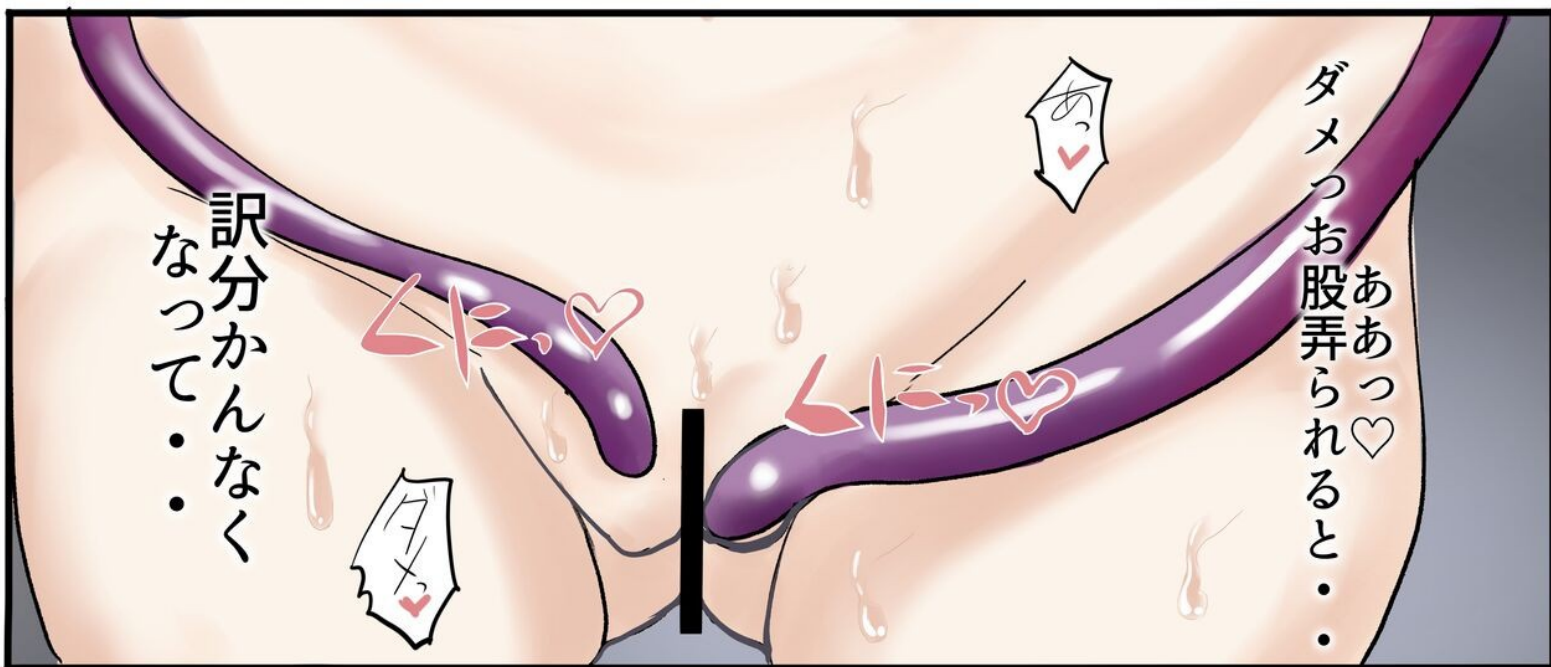
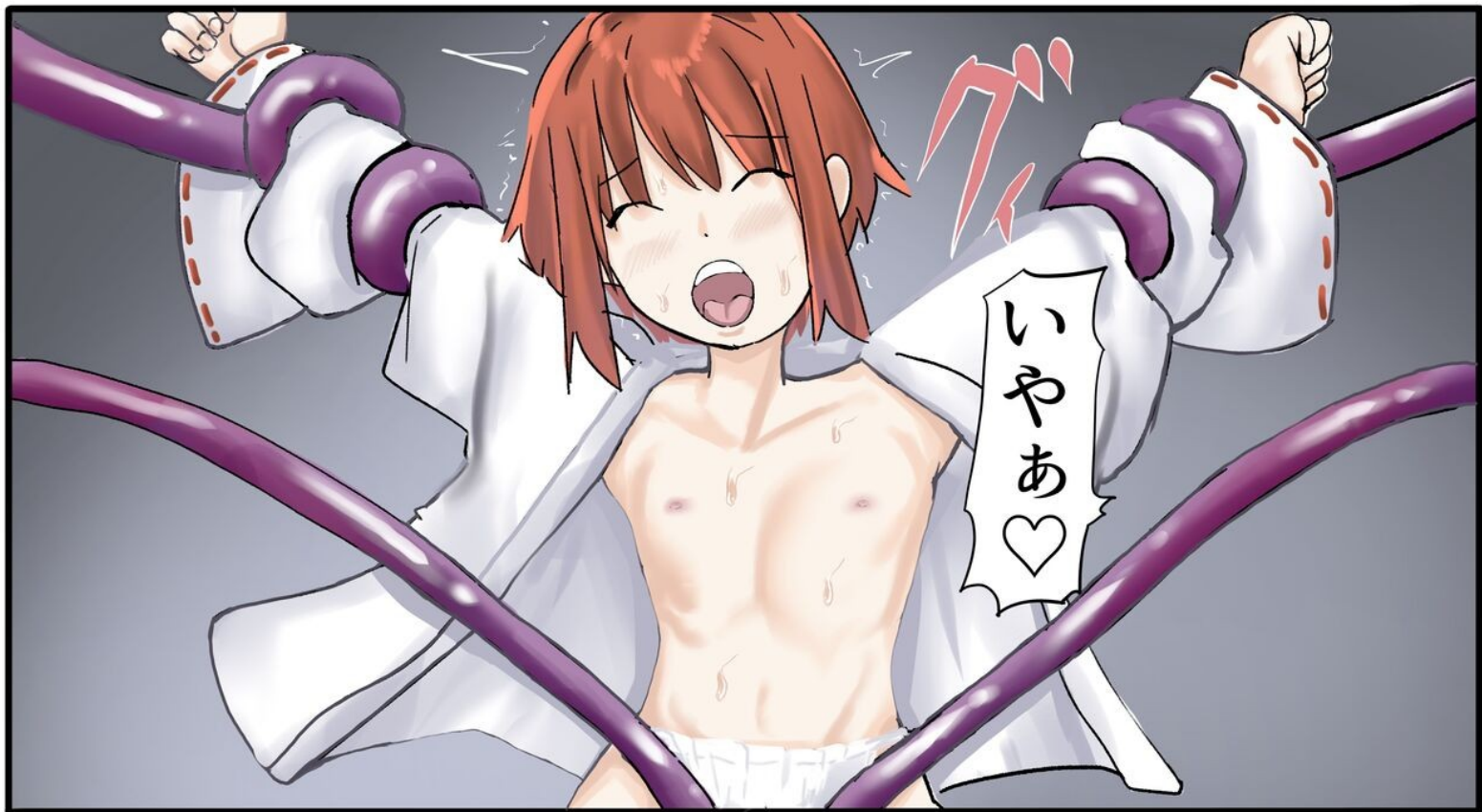
ち、違う...
私は別に...

もしかして
イキたかったのか？



妖華に
随分と
好かれた
様だな

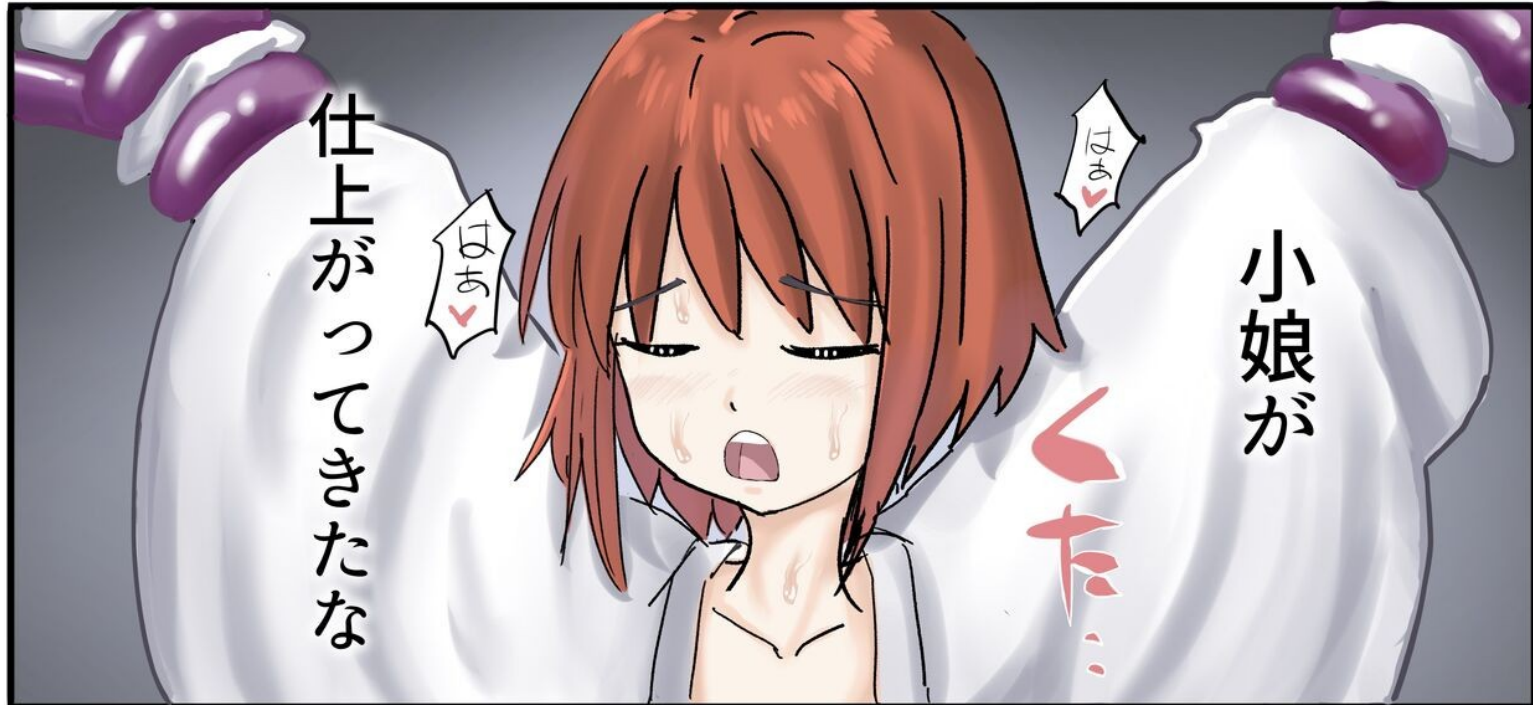






フツッ
フツッ
フツッ
中々良いだ
イキっぷりだ

フツッ
フツッ



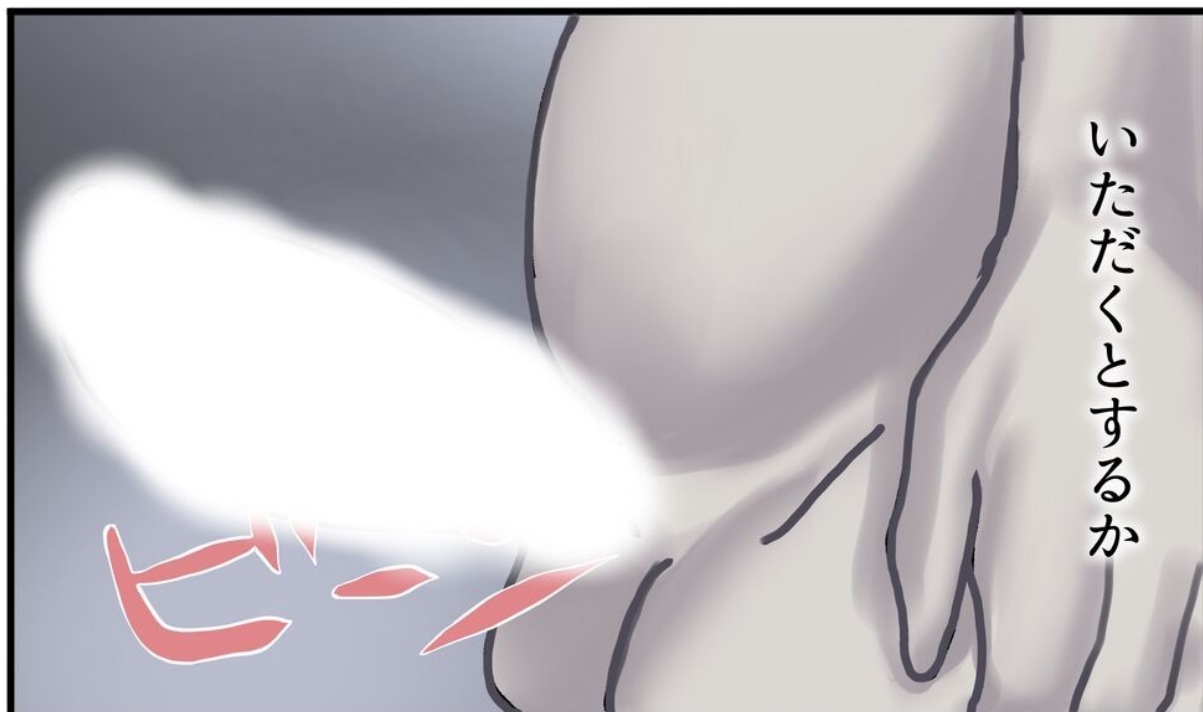
仕上がって来たな

はま

はま

小娘が

くた...



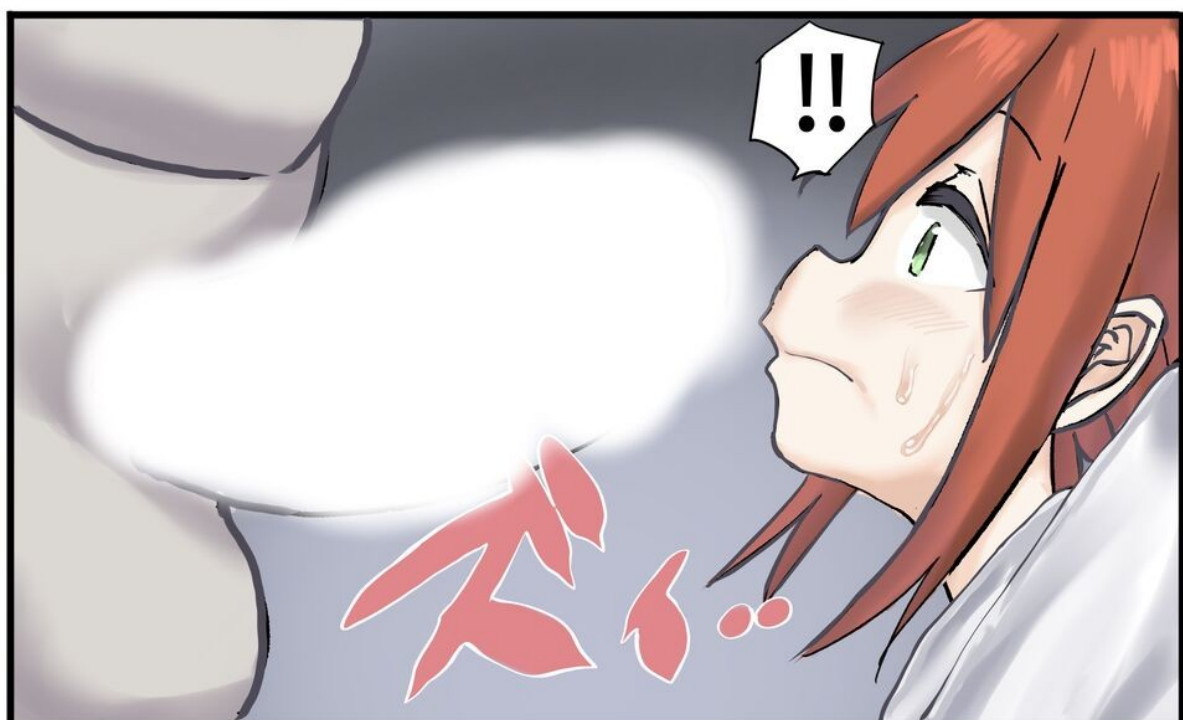
ただくとするか



そろそろ



タ...



!!

ズッ

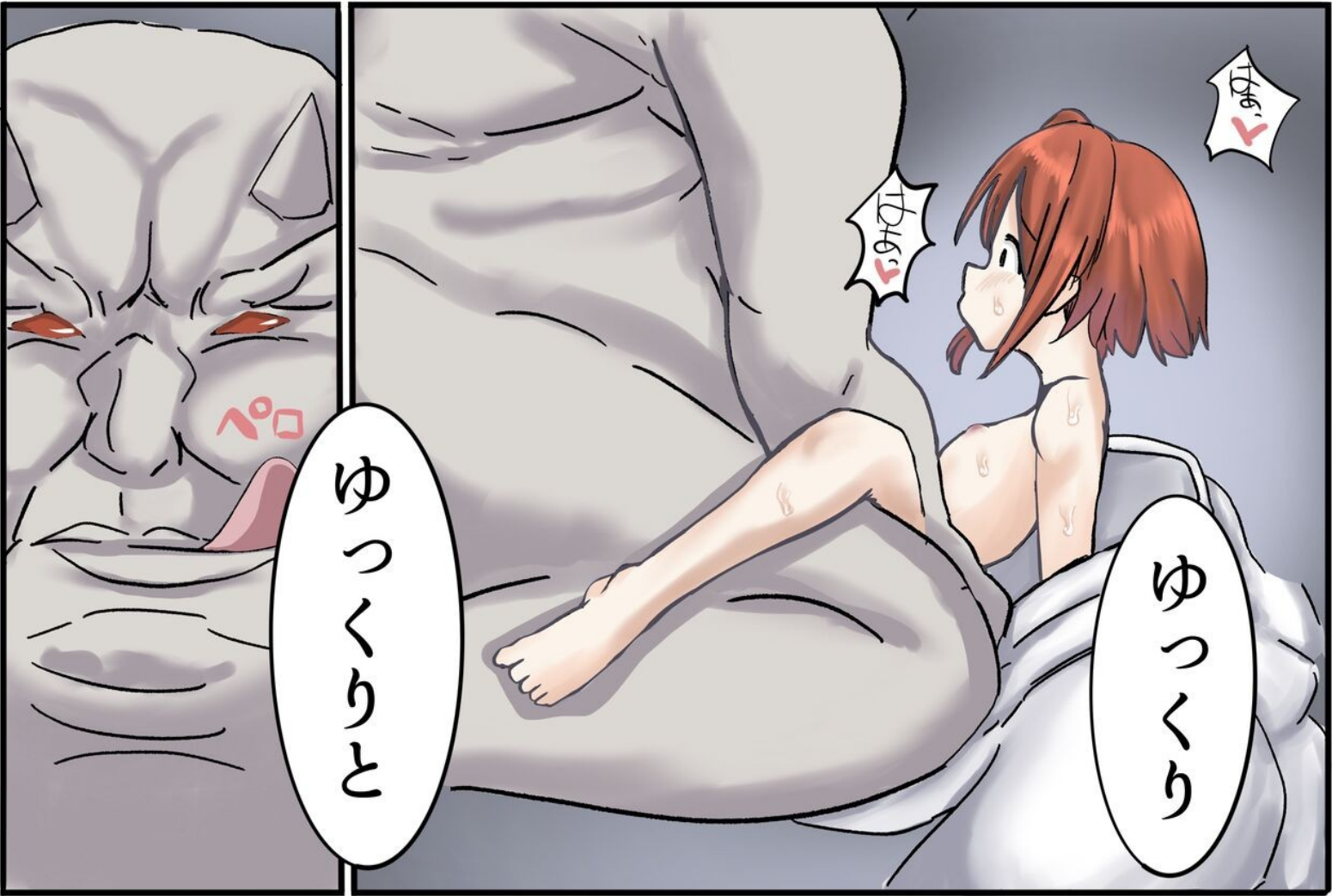
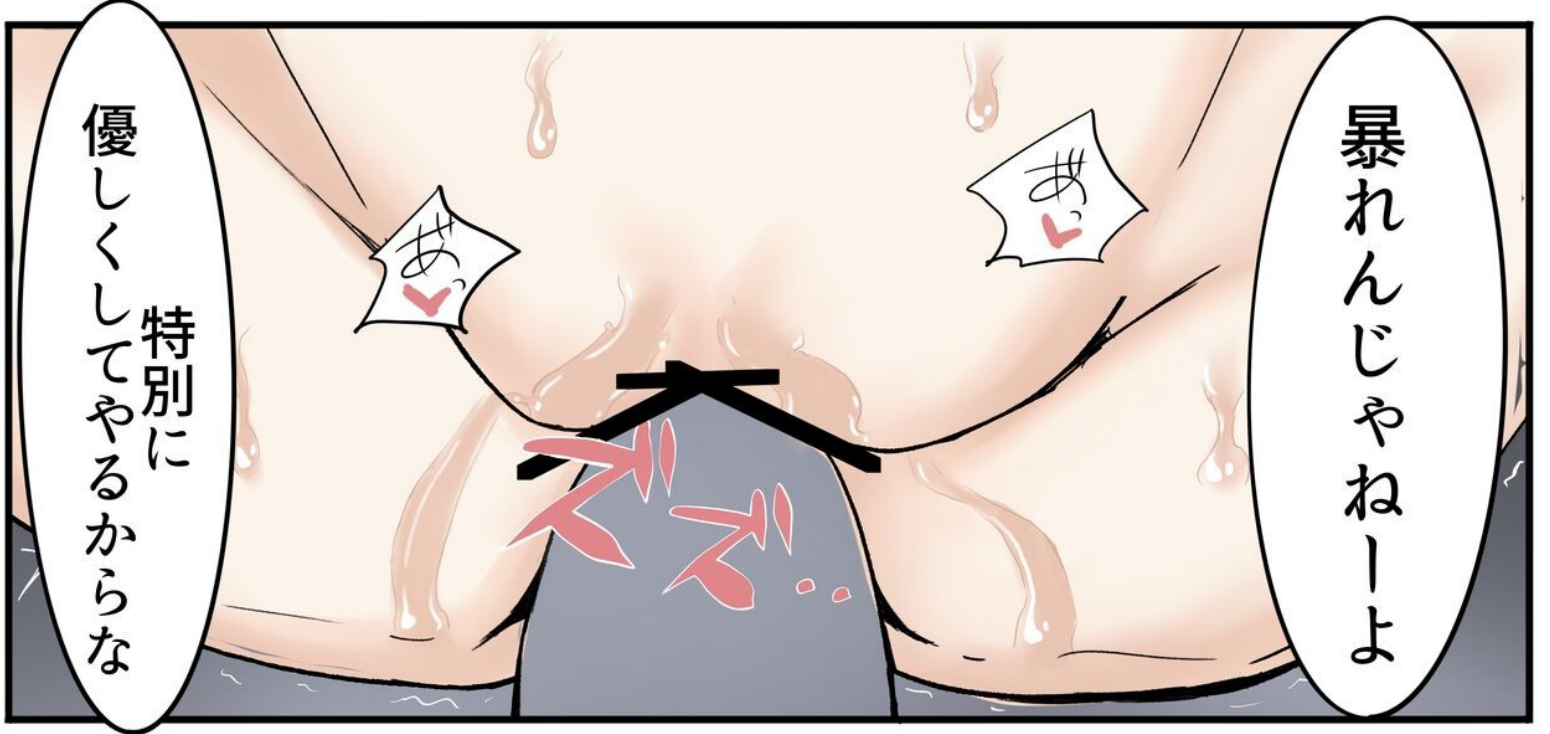
とつくりと
味合わせて貰うぞ

おち○ちん

巫女の肉壺を

お前の処女
貰うぞ

おち○ちん





アビイロ

アビイロ



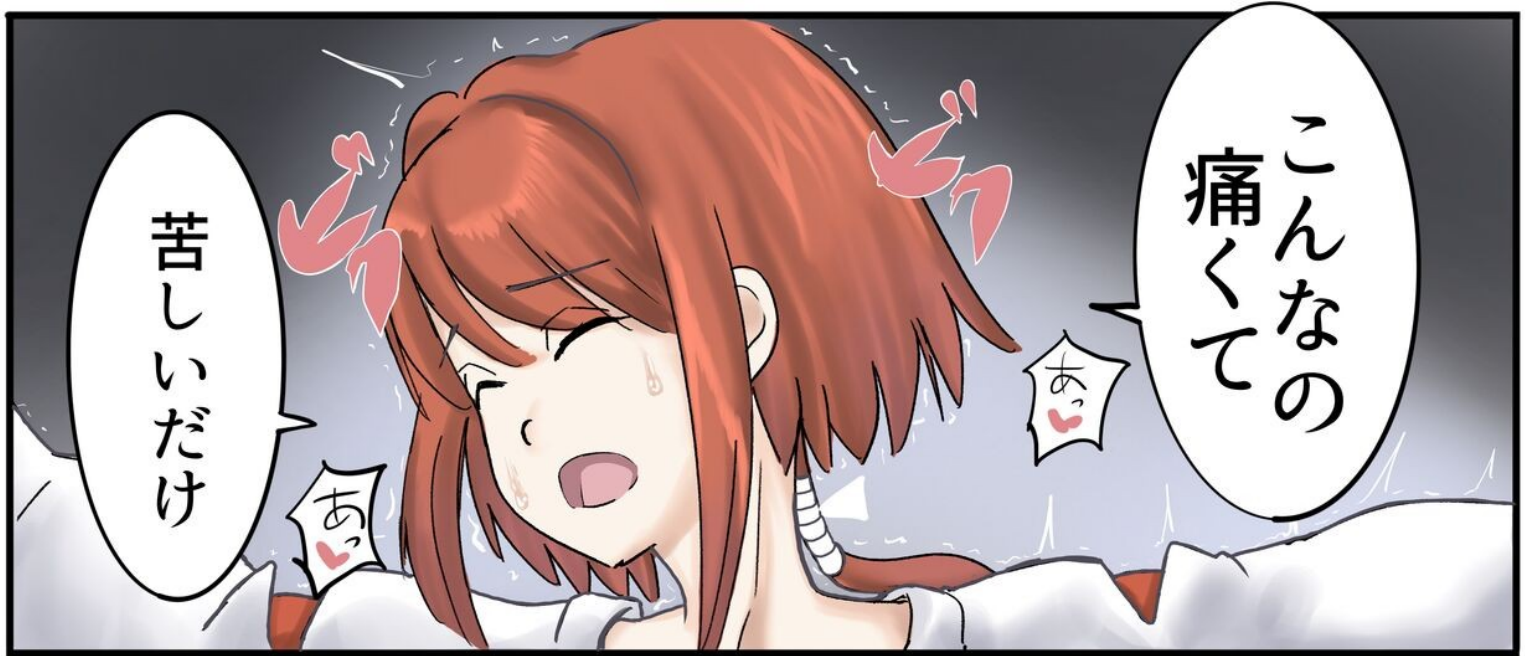
やはり
初モノはたまらんなあ

いやあ
私の中に
おち○ちんが



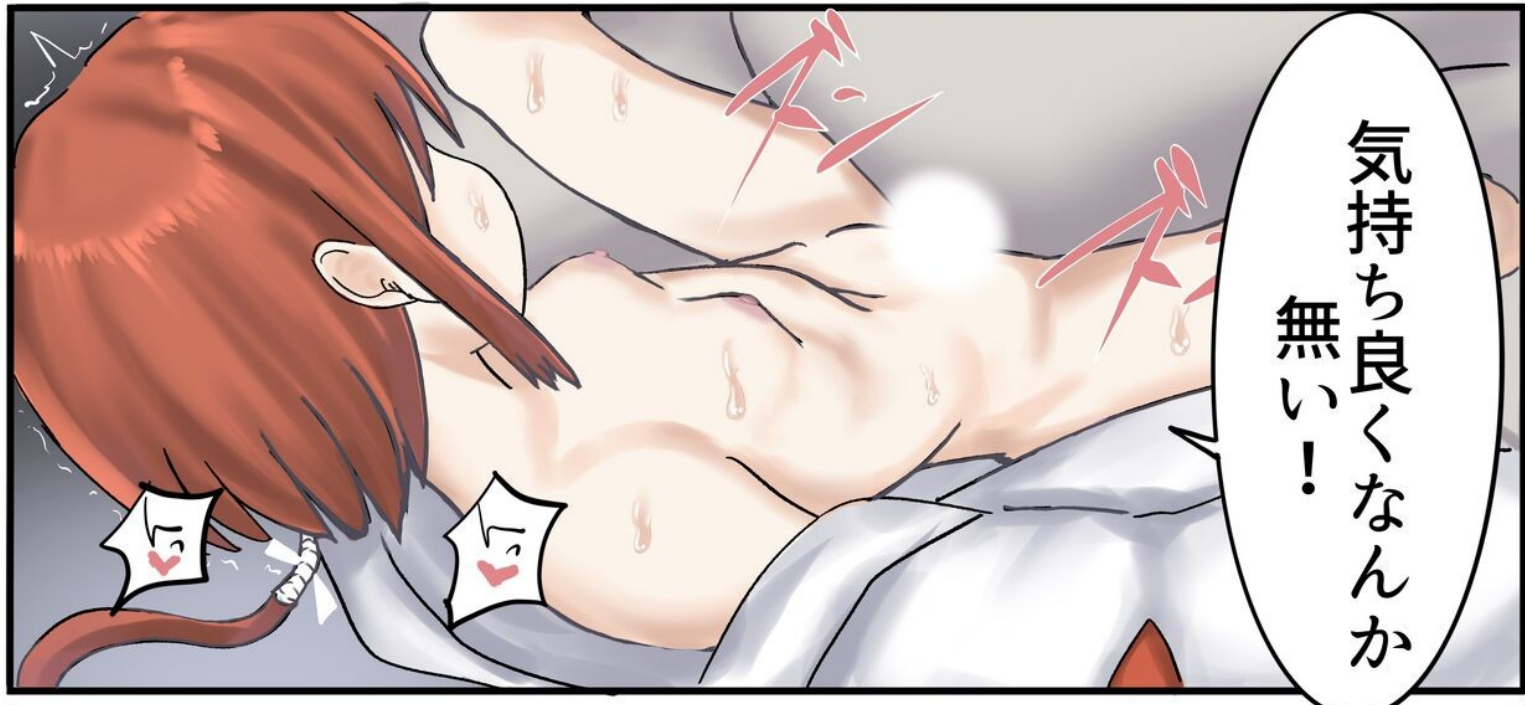
どうだ
ち○ぽで奥を
撫でられる感覚は？

堪らんだらう

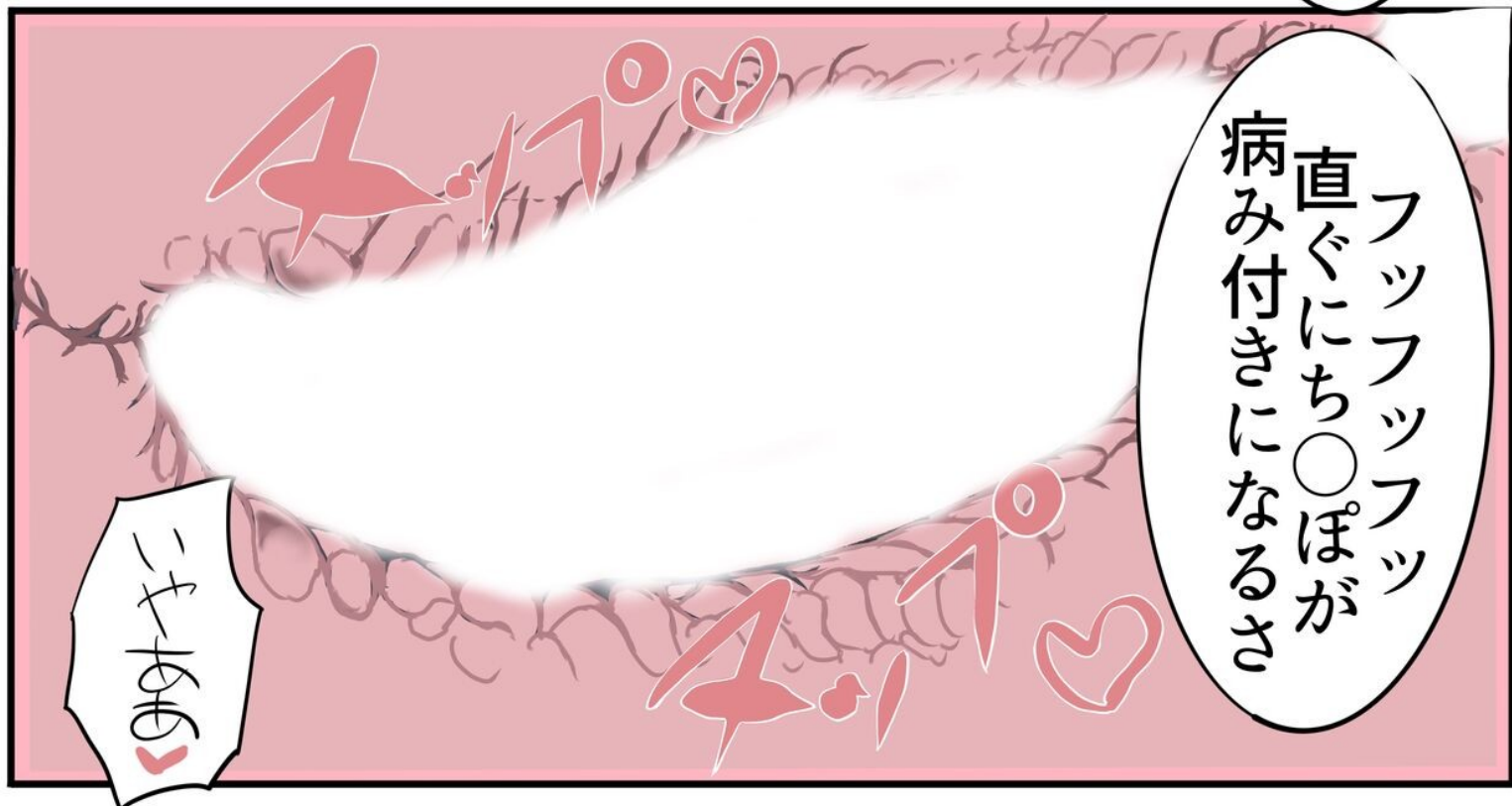


こんなもの
痛くて

苦しいだけ

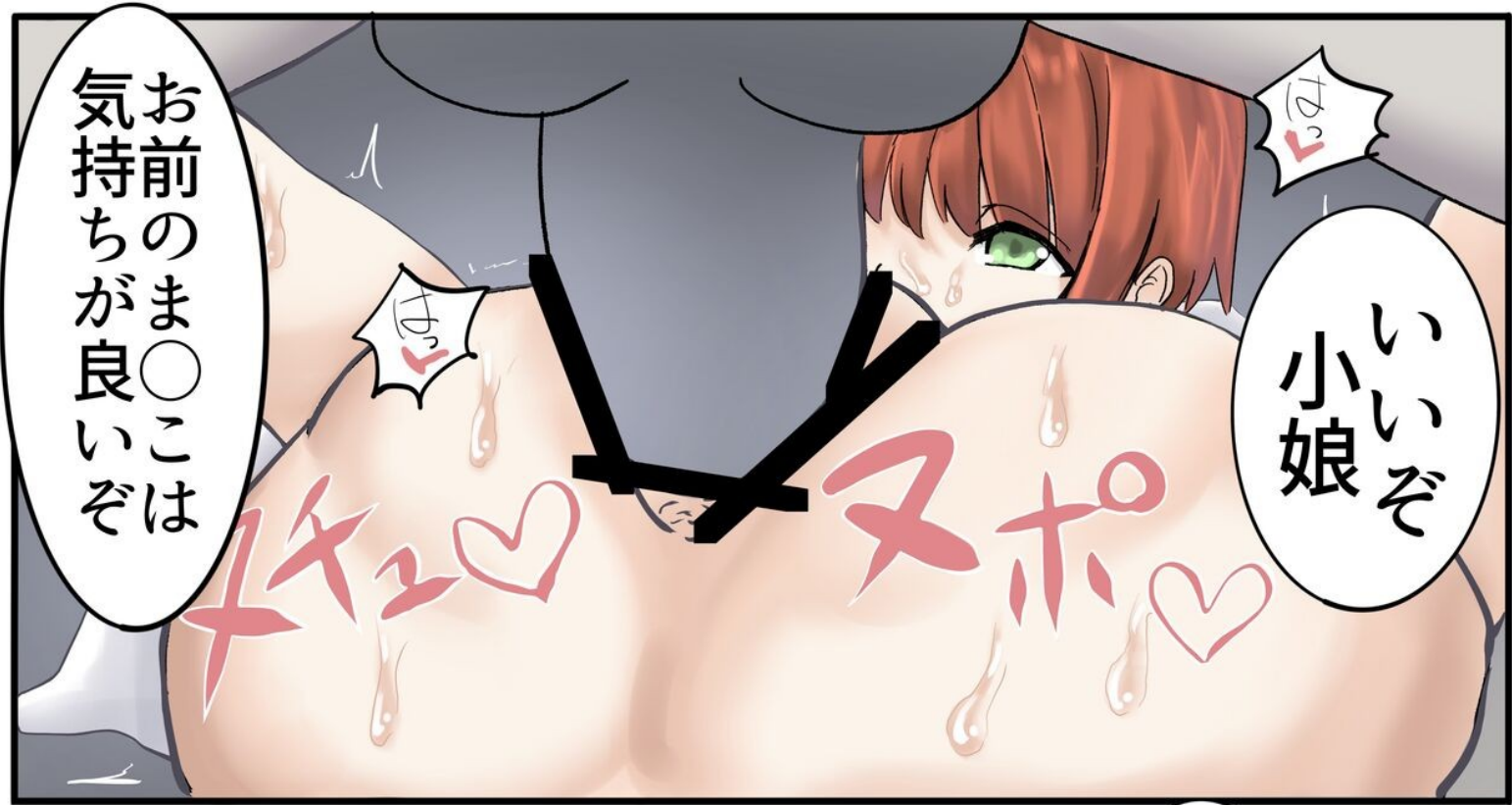


気持ち良くなんか
無い!



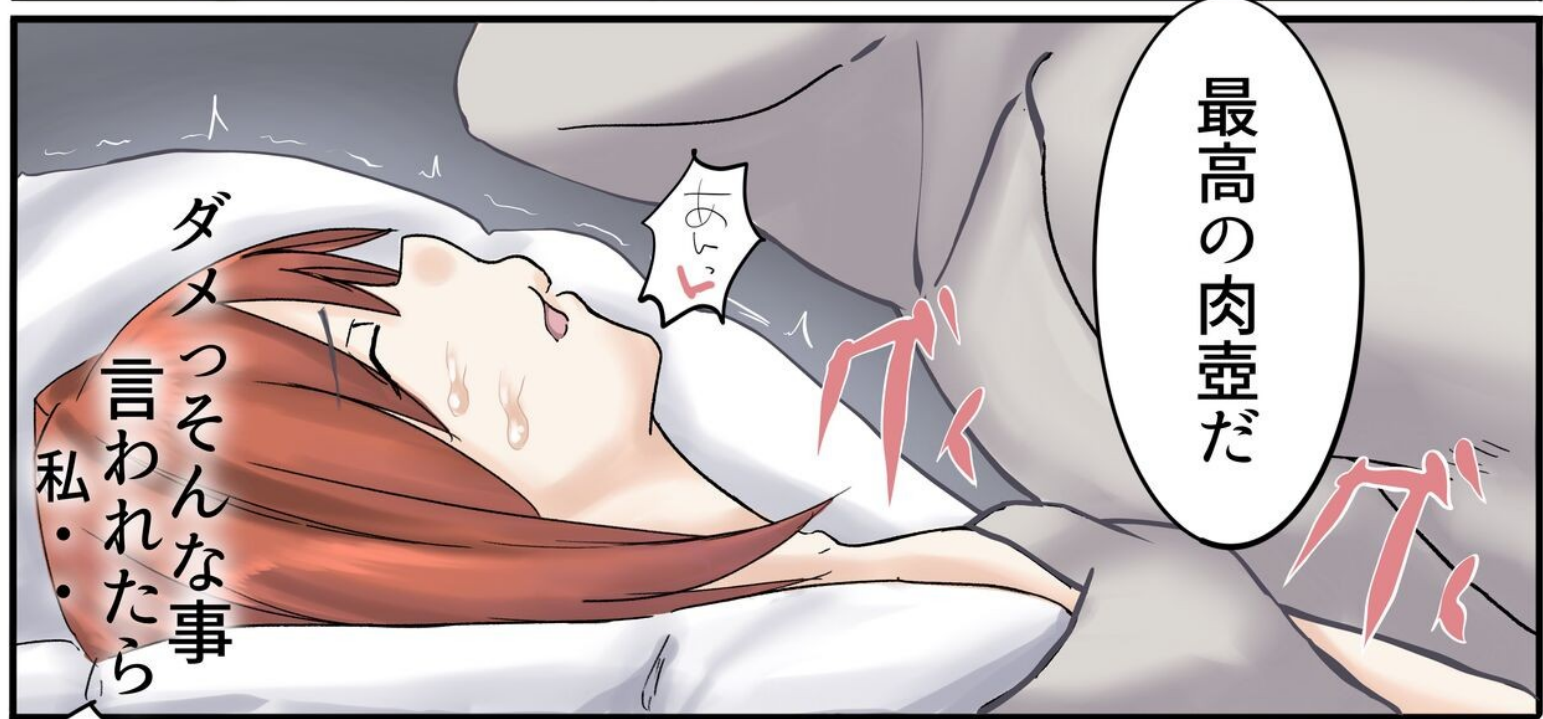
フツフツフツ
直ぐにち○ぽが
病み付きになるさ

あ



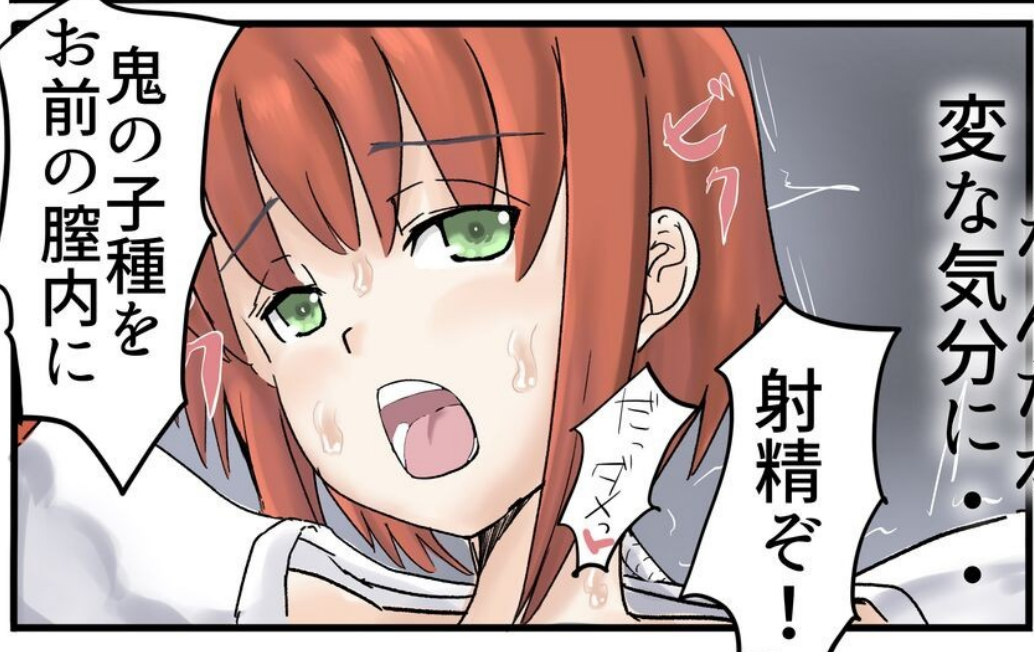
お前のま〇こは
気持ちが良いぞ

いいぞ
小娘



最高の肉壺だ

ダメっそんな事
言われたら
私・・



鬼の子種を
お前の膣内に

射精ぞ!



なんだか
変な気分になんか

トロッ



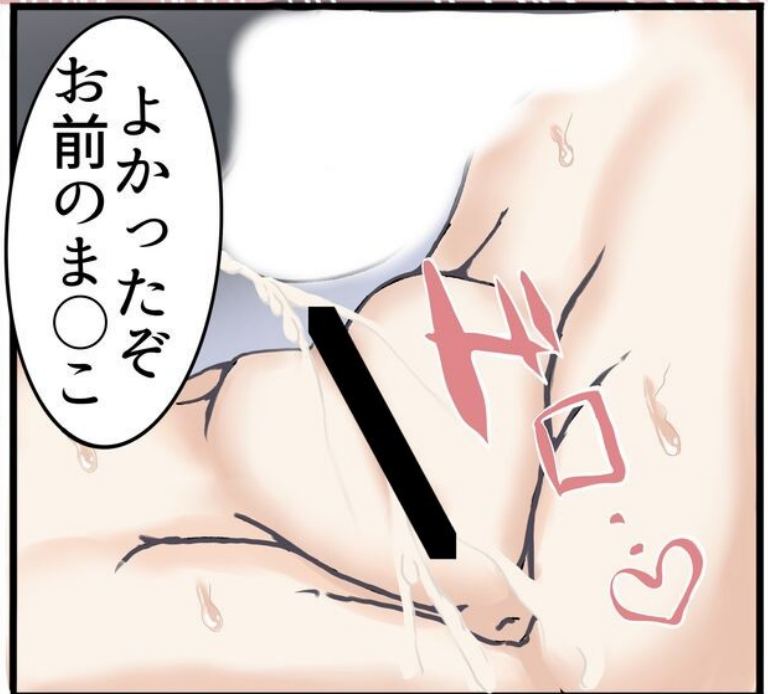
受け止める！

その未熟な身体で



まだまだ
たっぷり可愛がって
やるからな

ほま



よかったぞ
お前のま〇こ

数年前

この地は
代々阿部家が鬼より
守護してきた大切な場所

琴音
貴方もその使命を
継がなくてはなりません

琴音は
頑張ります

はい
お母様

負けては
なりませんよ

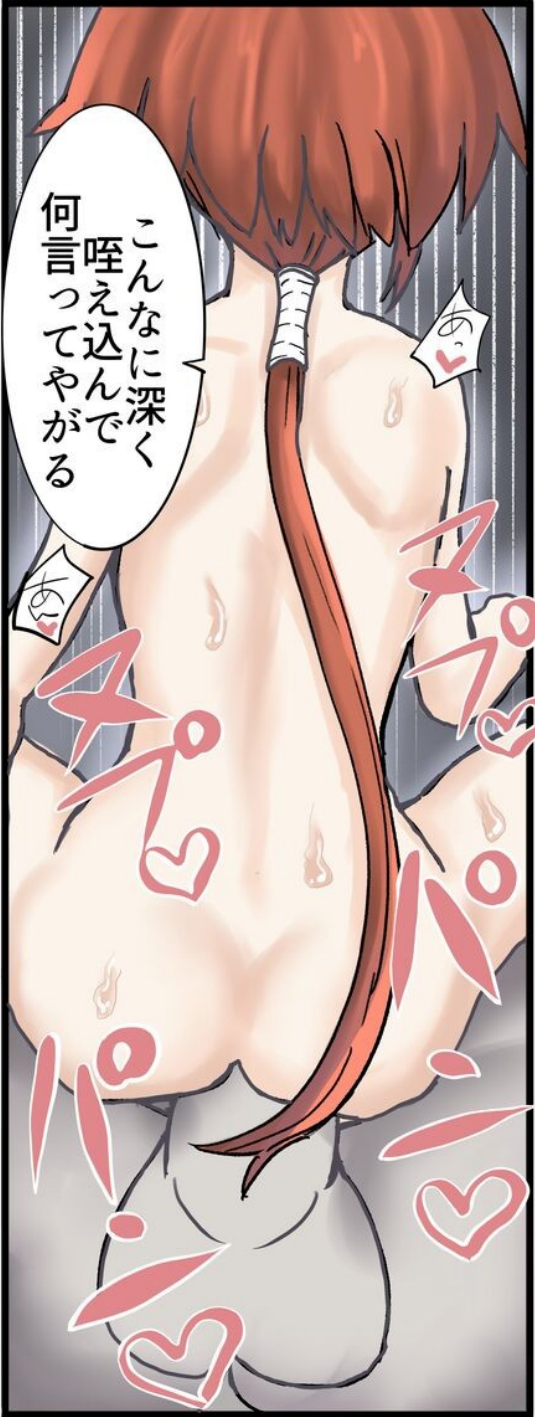
沢山の
困難が待ち受けるでしょう

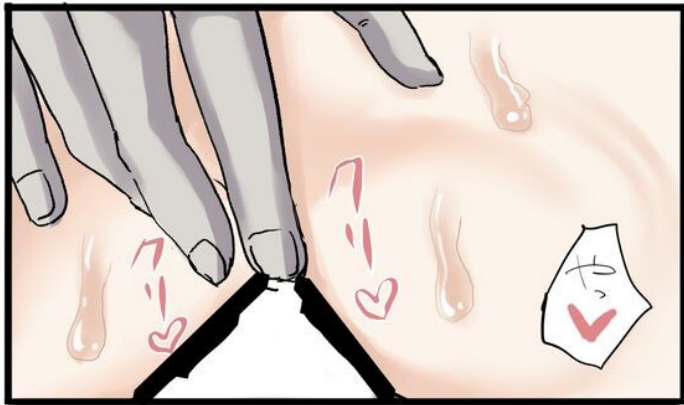
約束ですよ



ダメっ
もう許して♡

イイぞ琴音
もつと腰を振れ!





身体が「女」を
自覚した様だな

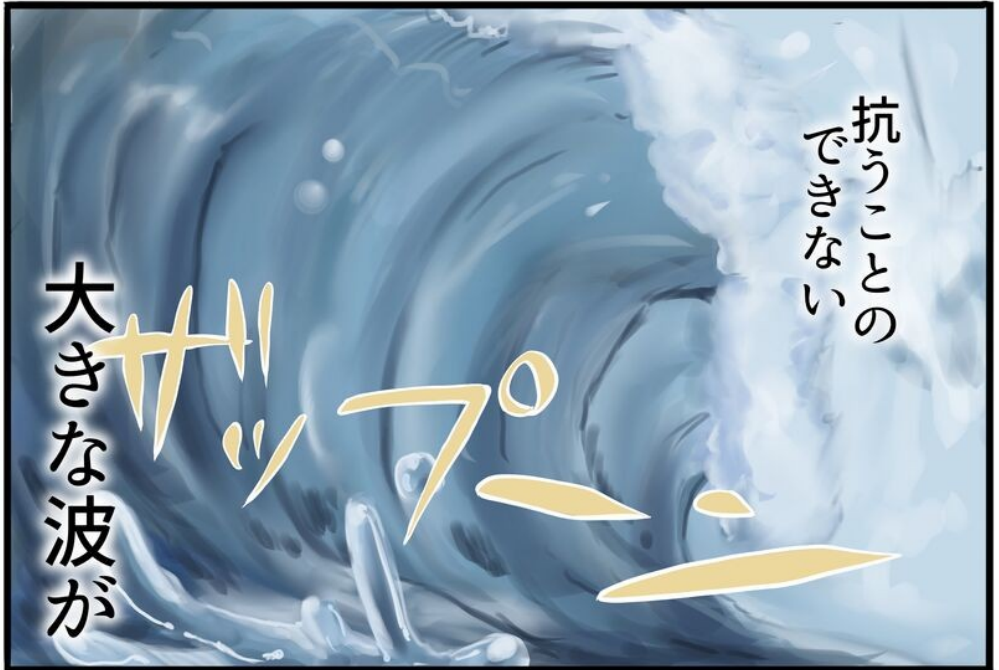


ああ来る...

凄いのが

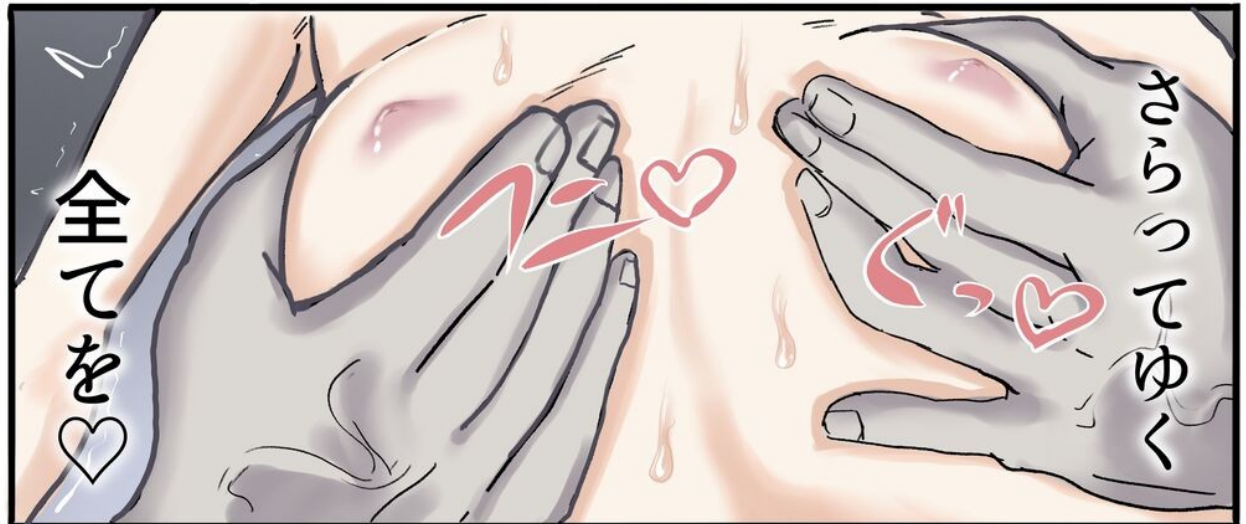


私を飲み込んで...



抗うことの
できない

大きな波が



全てを♡

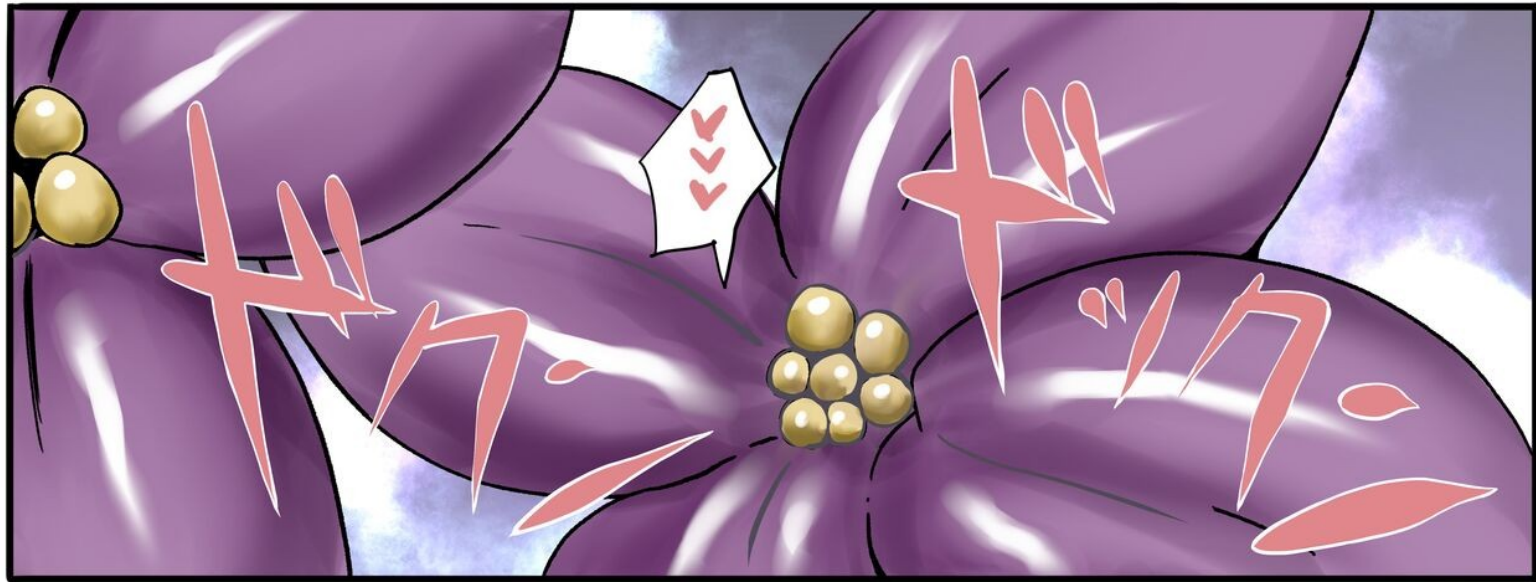
さらさらゆく



肉の悦びを

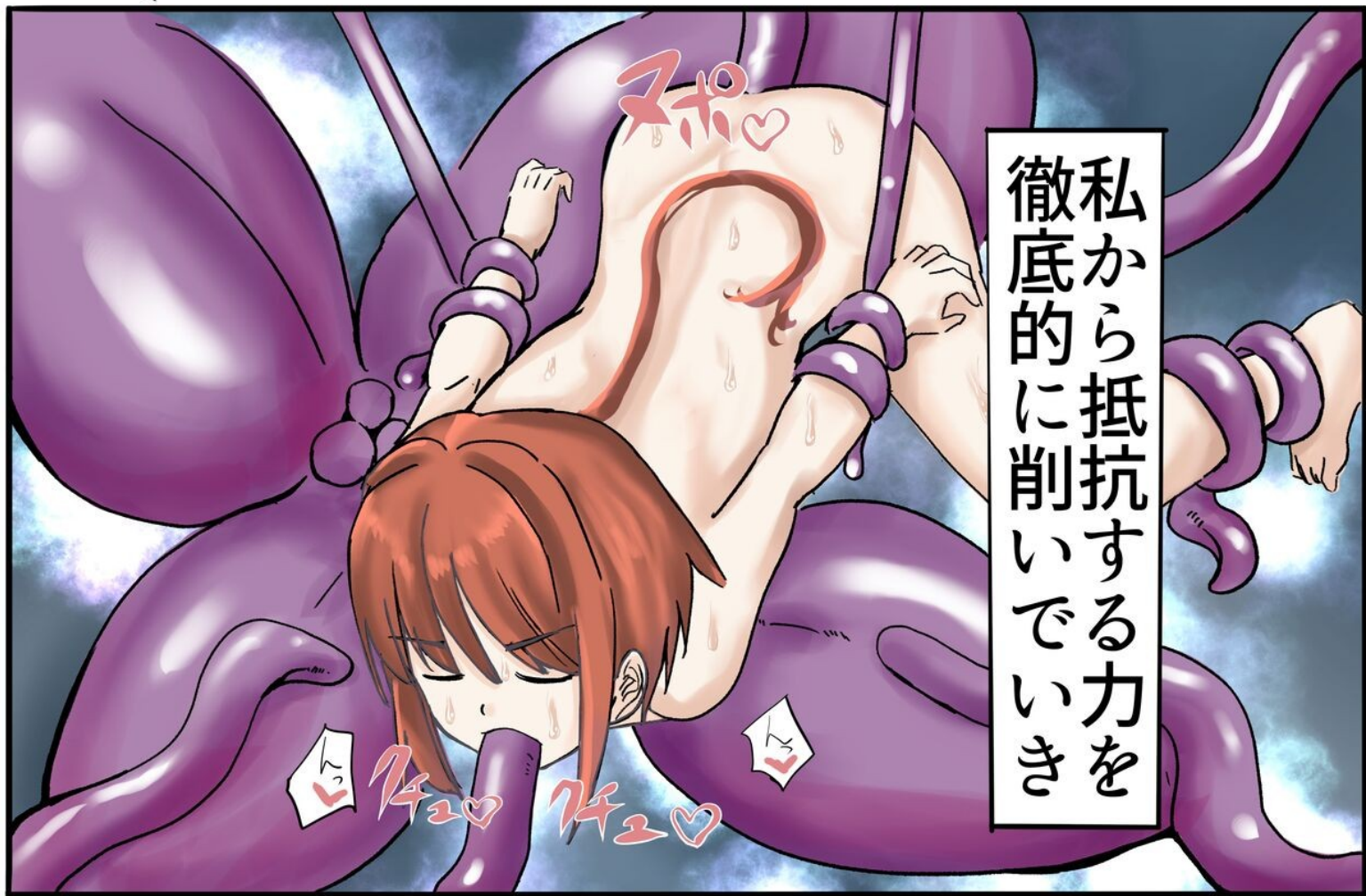
その身に刻み込め!





その後も
鬼の調教は続き

私の霊力が回復
しない様妖華に
霊力を吸わせ



私から抵抗する力を
徹底的に削いでいき

アポ♡ アポ♡

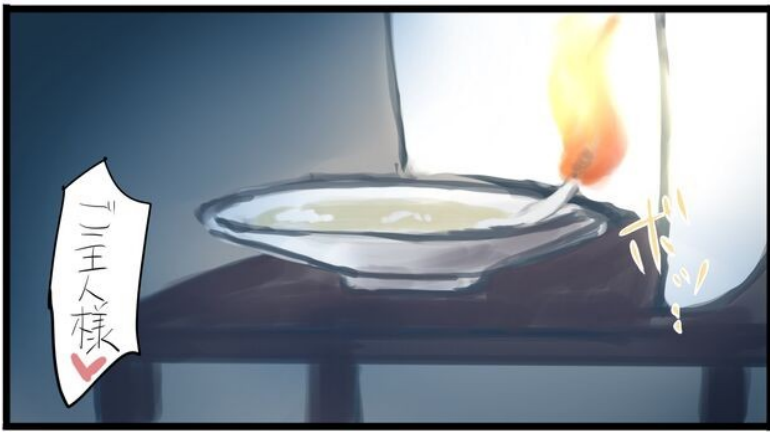


犯すまでも
す様にも



快楽を止めどなく
送り込む

アポ♡ アポ♡





毎晩抱いているうちに
お前の事が
気に入ってな



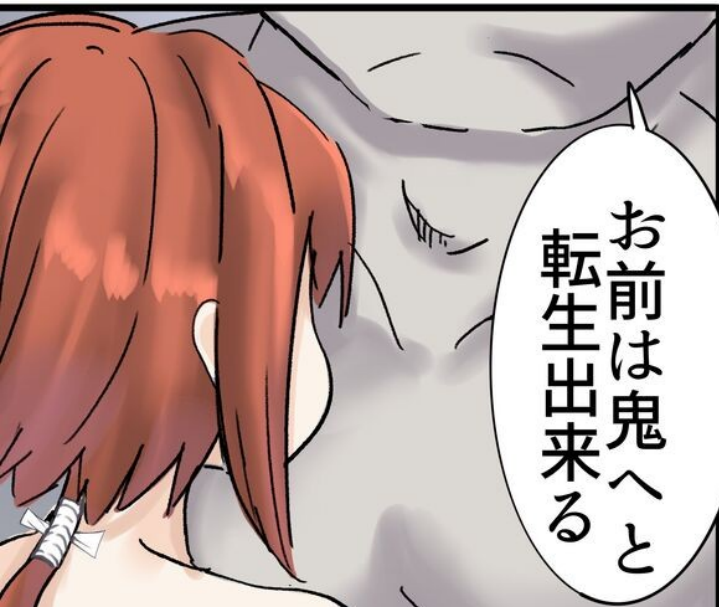
最初は
遊び終わったら
喰っちまうつもりだったが



琴音

鬼にならないか？

へ？



お前は鬼へと
転生出来る



我が牙を
受け入れれば



死にゆくのは
嫌であるろう

お前とて
このまま喰われて



きゃあ



琴音

ワシのモノとなれ



鬼となれ

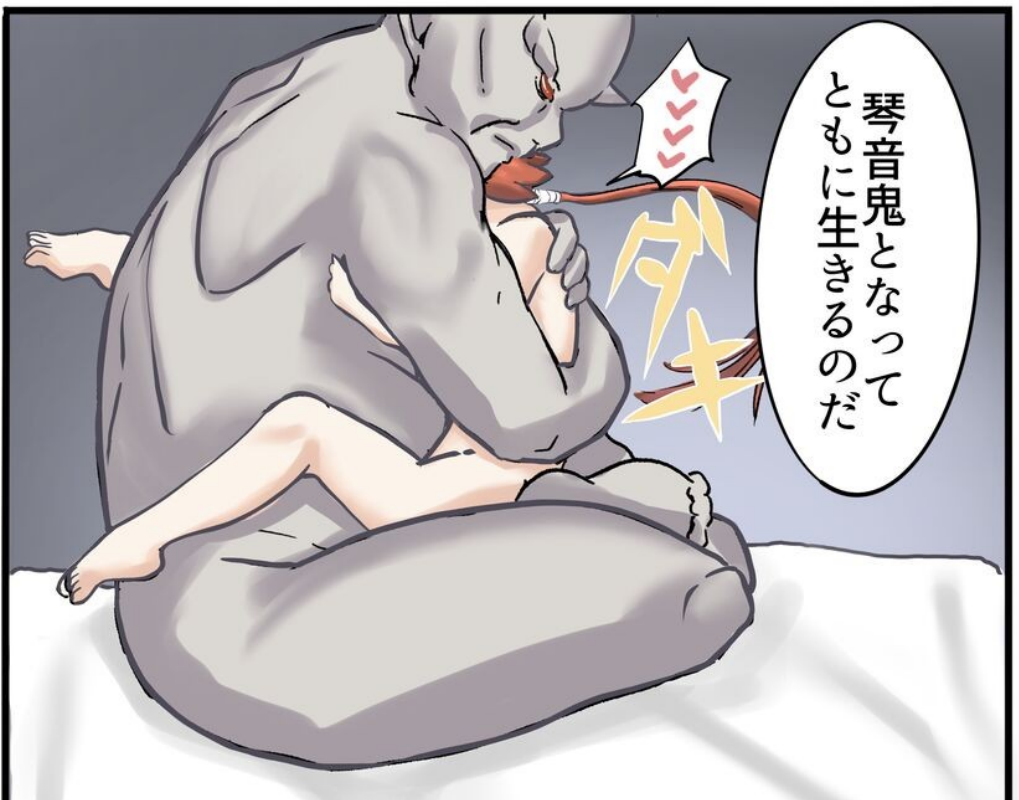


おち○ちんで
言いなりにするなんて

私にこんな
気持ちいい事教え込んで

ずるい♡

あっ♡



琴音鬼となつて
ともに生きるのだ



いやあ
死にたくない

それとも
ワシに喰われて
死を望むか？

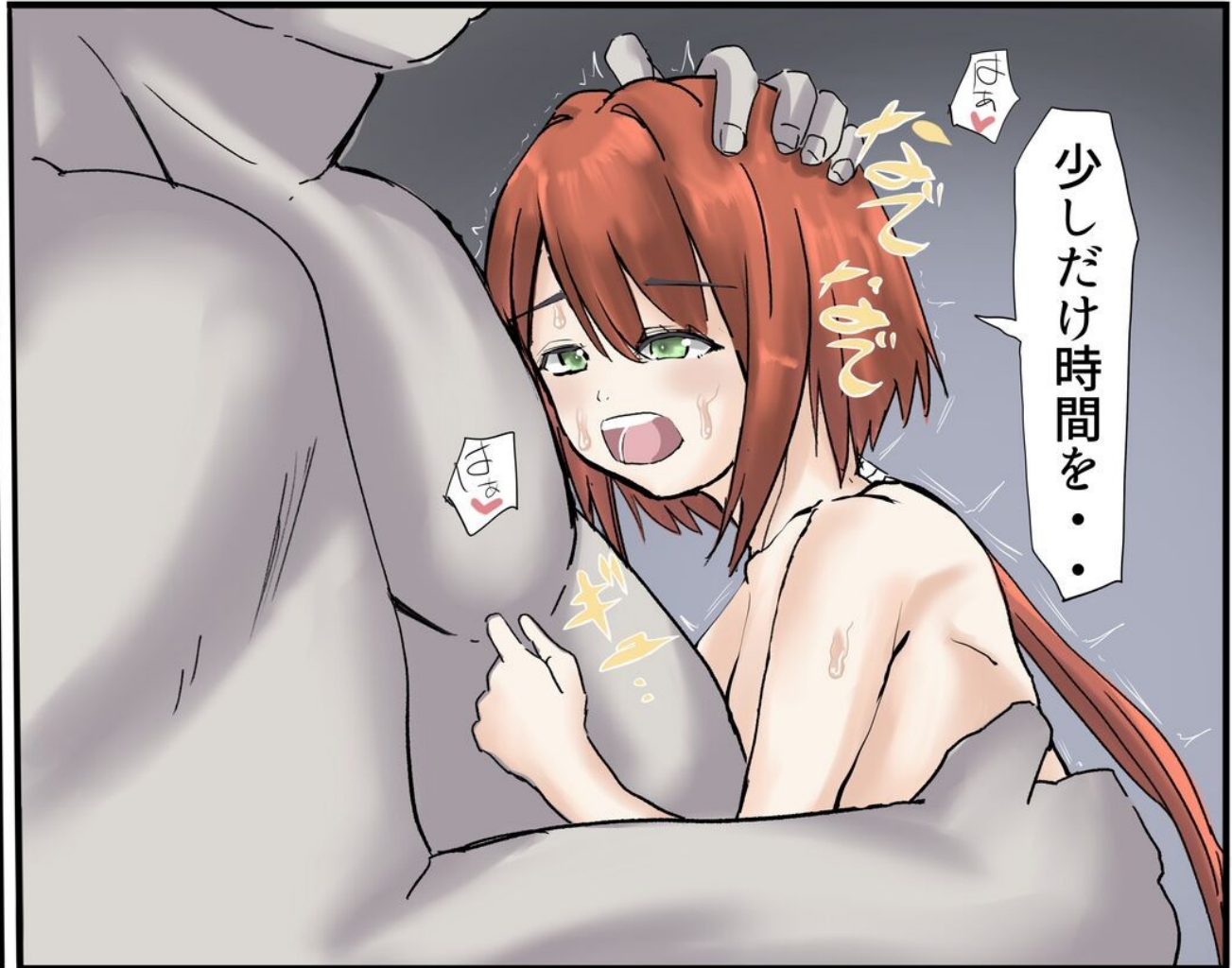


このままじゃ
確実に...

お母様
琴音はどうすれば...



素直になれ



一族のお役目を
果たす為に

今日まで修行を
積んできた

霊脈である
この地と

そこに住まう
人々を守護する為に

鬼に負けちゃダメ

肉欲に溺れるな

お母様との誓いを
果たすんだ!



琴音



聞かせてもらおうか

さて
答えを



選択は

私の



歩みをとものにします

シキ様と



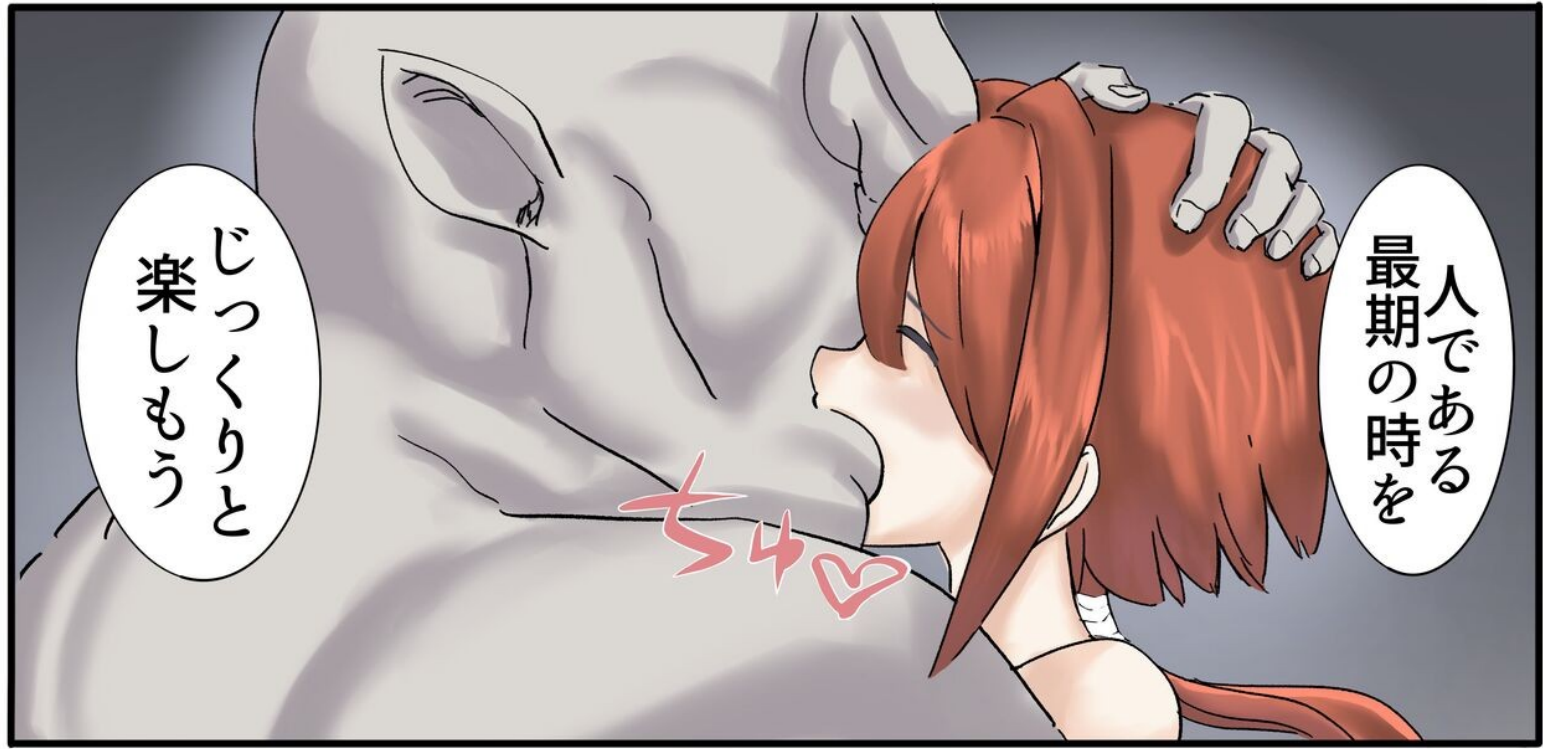
鬼に

どうか私を



お慕い申し上げます
ご主人様





人である
最期の時を

じゅくりと
楽しもう

ちゅ♡



待ってて
くださいね♡

キユウウ♡

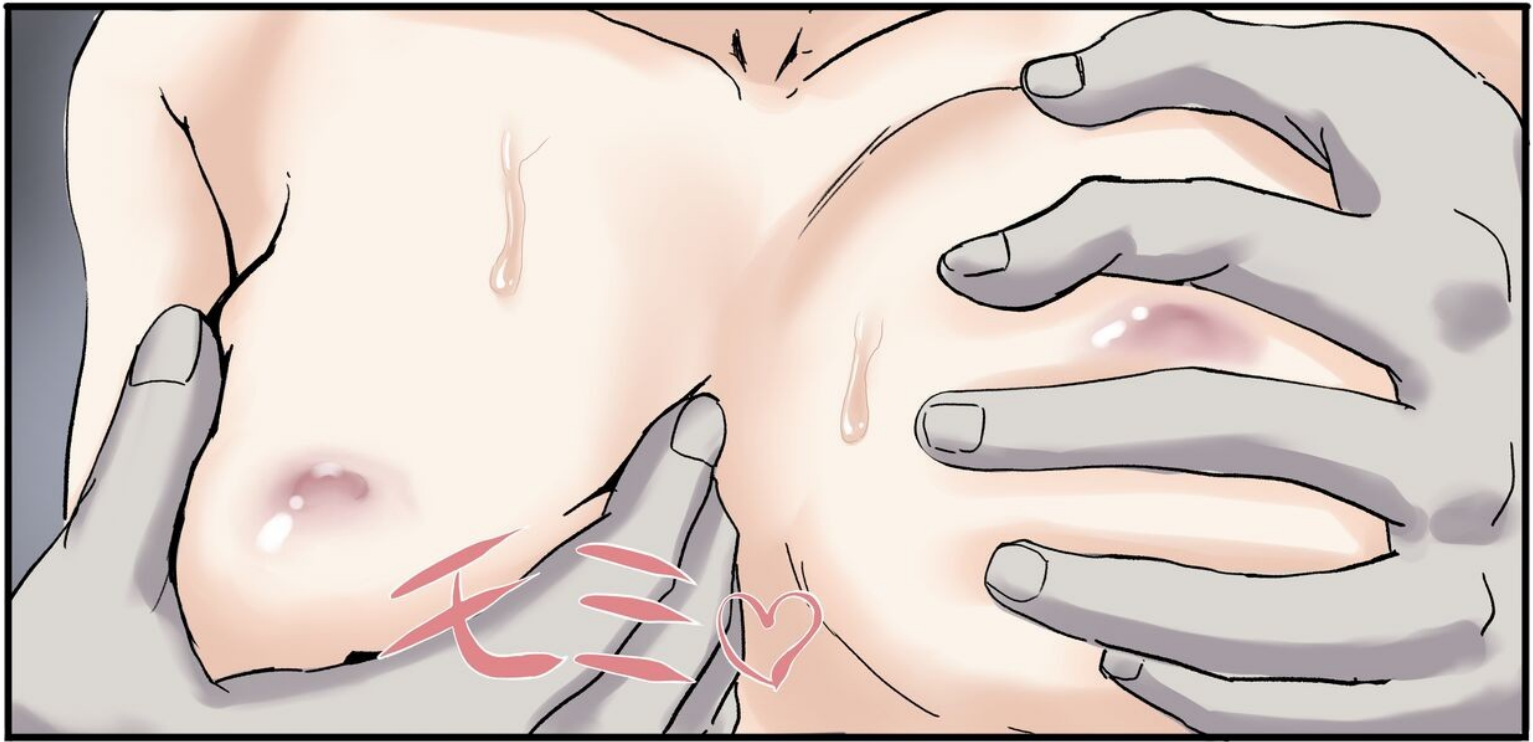


シキ様♡

シキ様♡

直ぐに
そちら側に
いきますから♡

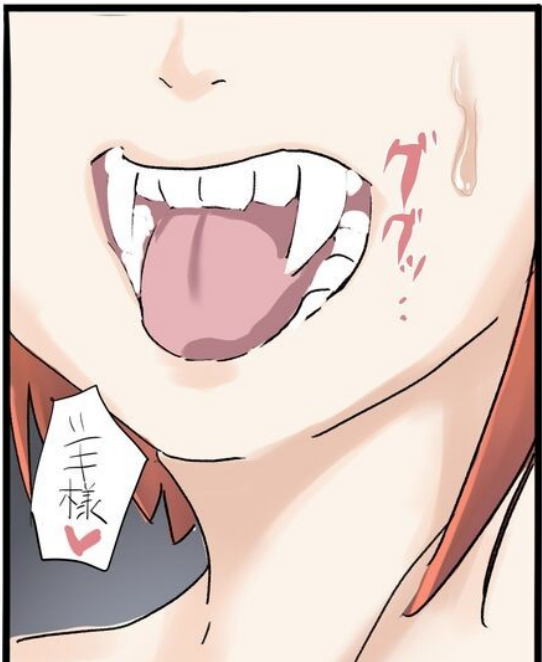
アピ♡



フツフツフツ
肉体の変化が
始まった様なな

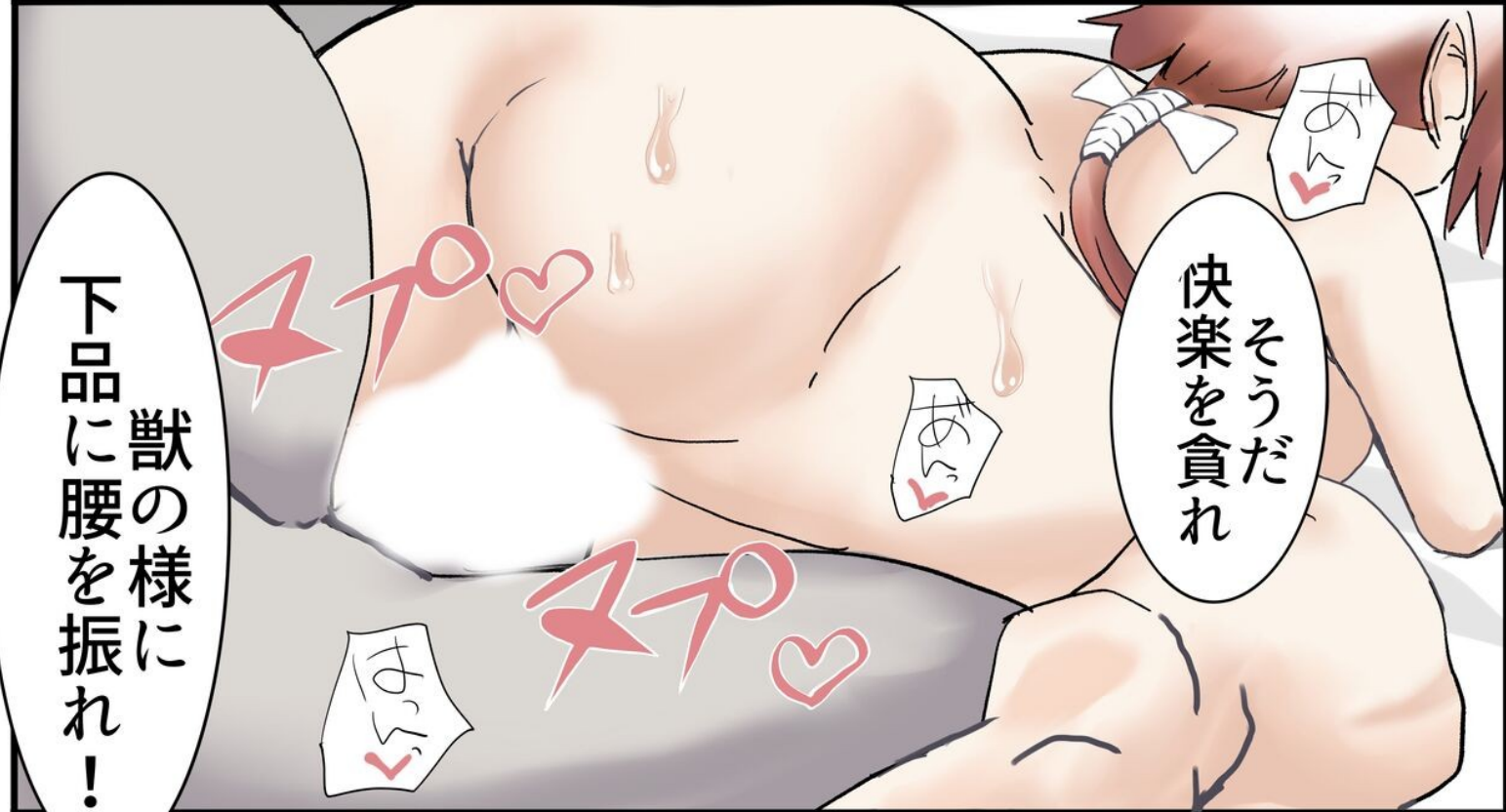


胸が・・・
大きくなって



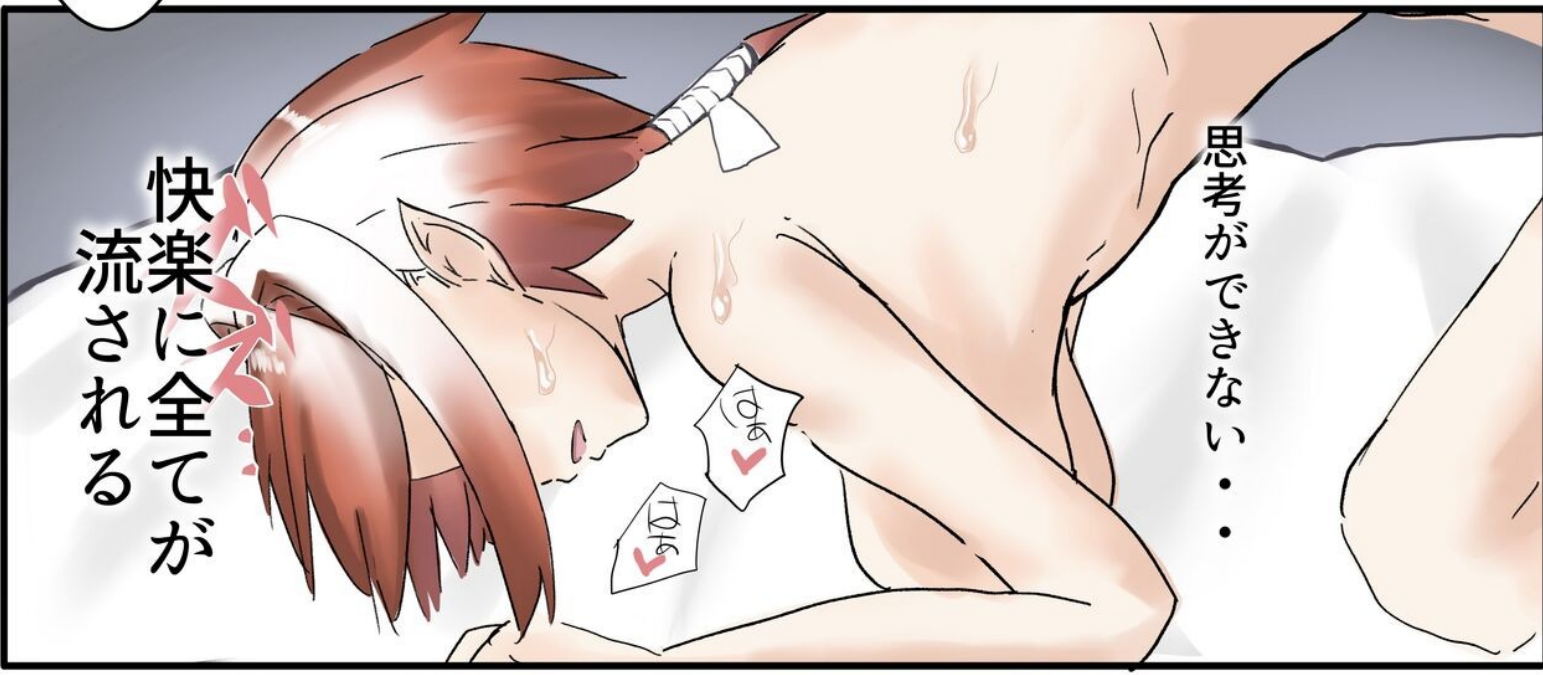
お前はただ
楽しんでいいのだ

気を楽しにして
全てを受け入れる



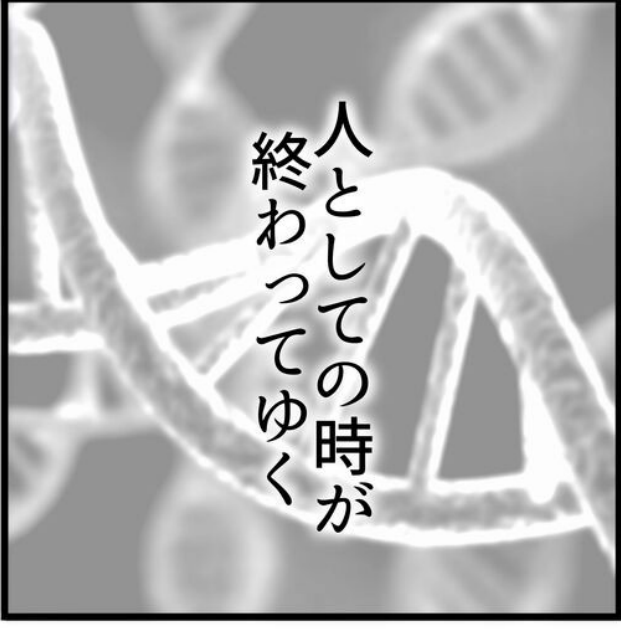
そうだ
快樂を貪れ

獸の様に
下品に腰を振れ！



思考ができない・・・

快樂に全てが
流される



人としての時が
終わってゆく



人としてのあり方が
崩れてゆく



私は鬼に成るんだ



ようこそ
我々の世界に

歓迎するよ

もう
戻る事はできない

三三様



気分はどうだ？
琴音

とても素晴らしい
気持ちです♡



心も身体も
羽の様に軽い


人の命などまるで
塵の様に感じます



素晴らしい

ではお前に
ワシが
望む事は分かるな

はい



シキ様の子を
鬼の子を孕みます



鬼の繁栄のために

私の身体で
存分に



子種を注ぎ
下さい♡

ああ
では遠慮なく

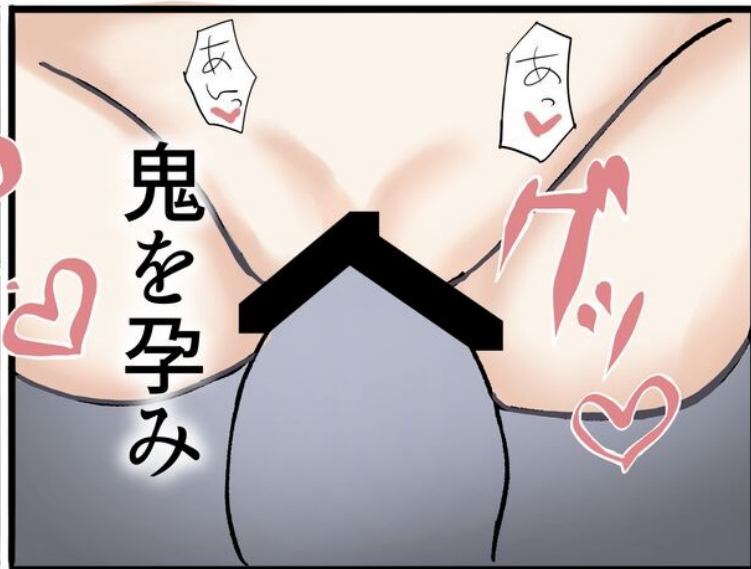


人の世を捨て

これからは鬼の世の為



鬼を産み



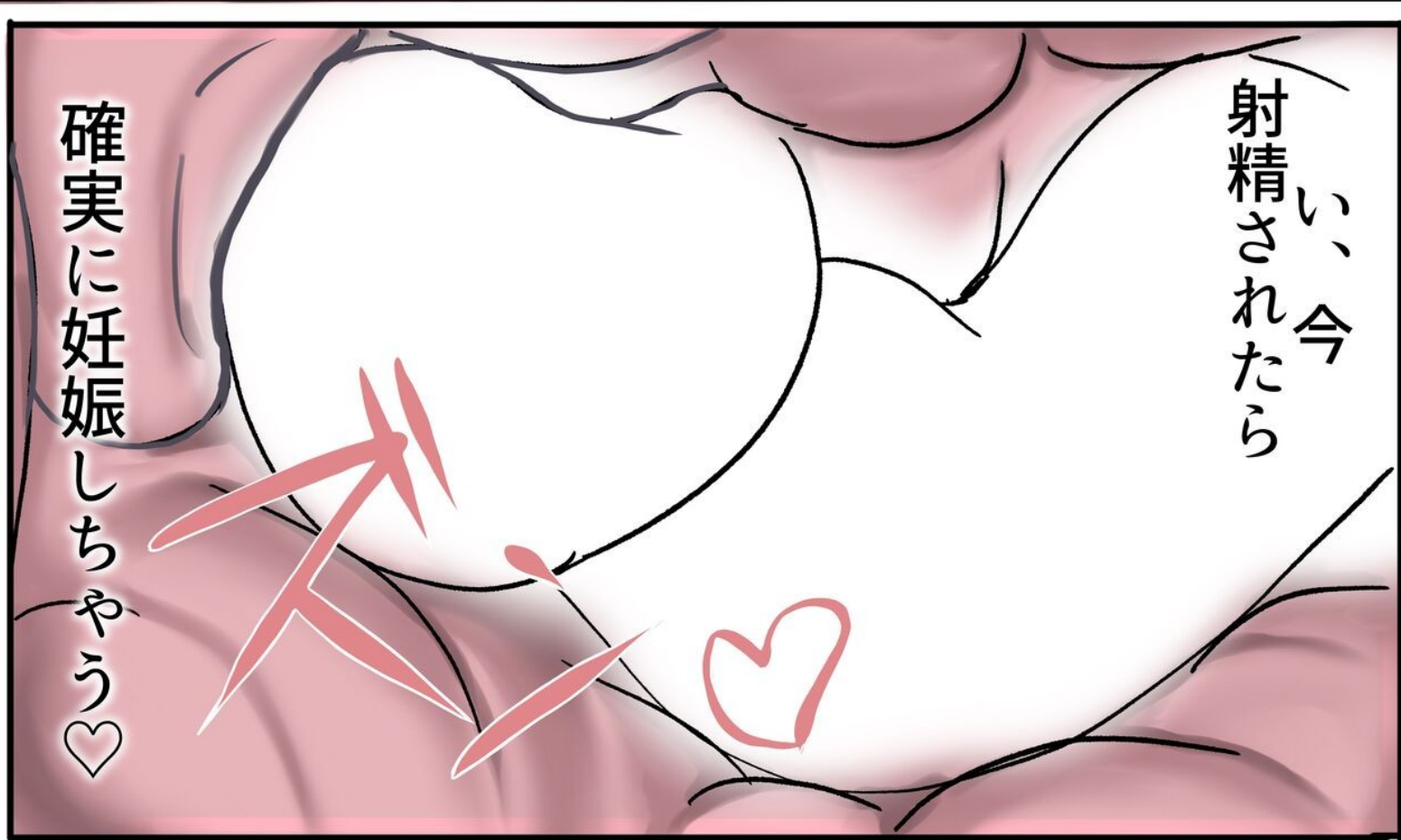
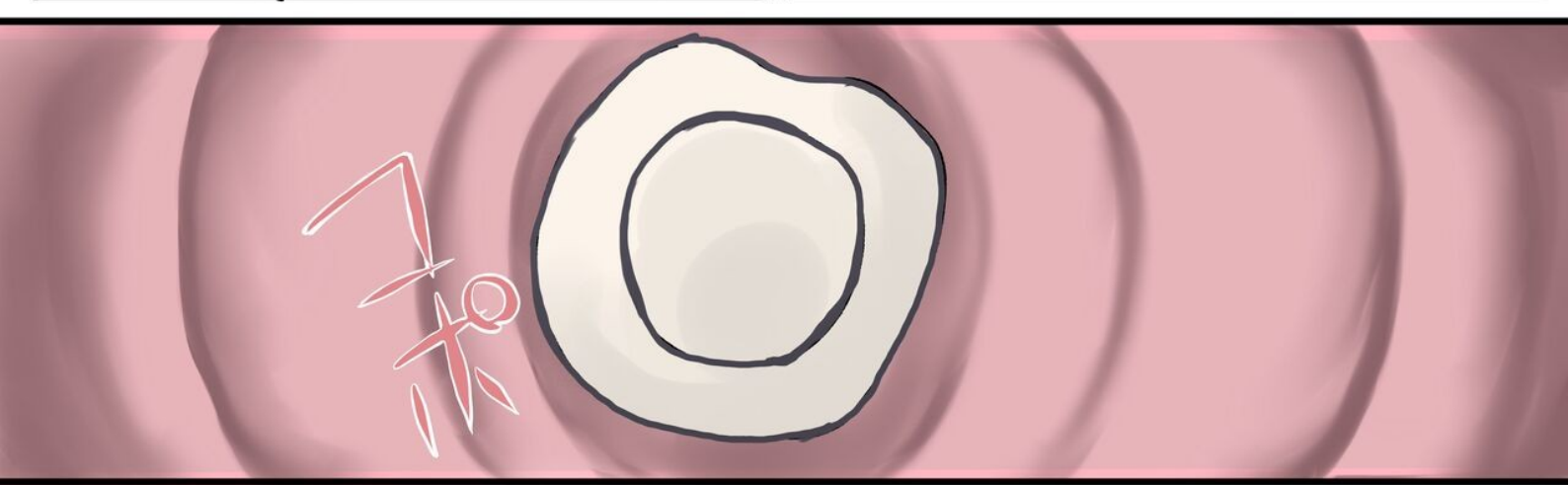
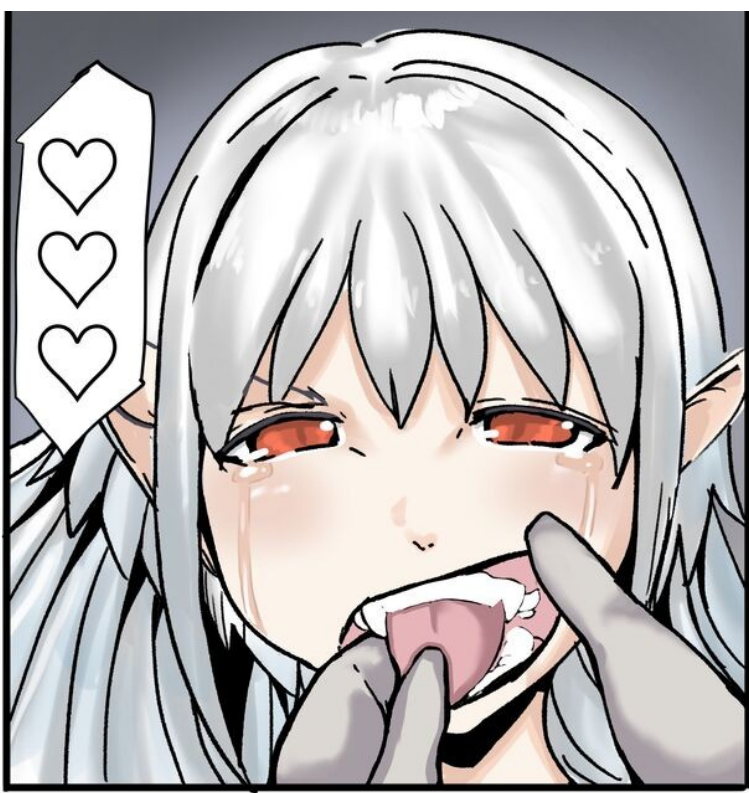
鬼を孕み



鬼に繁栄を



鬼を育てる





私に鬼の子を♡

射精ぞ！
しっかり孕めよ！

はい♡
来てくださーい♡
シキ様の子種♡



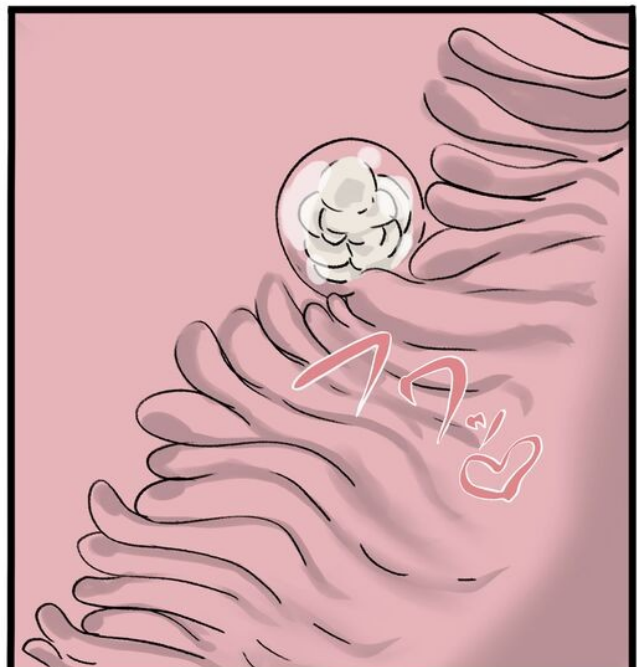
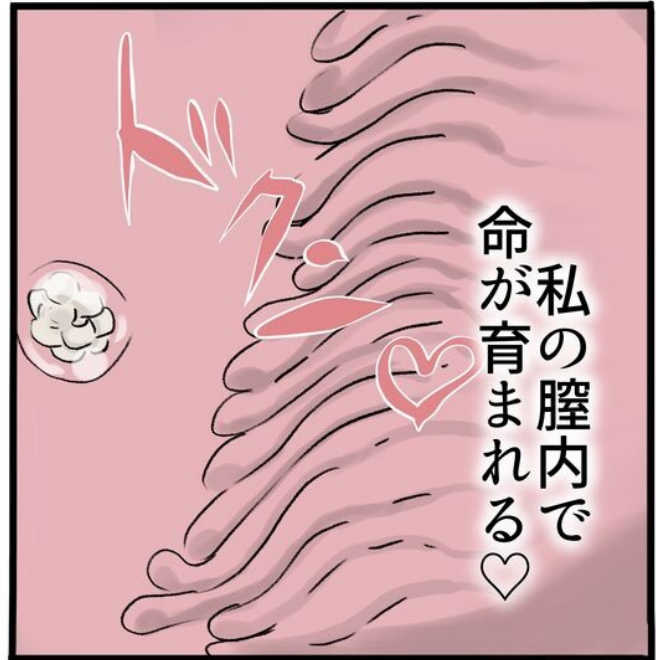
おおおう



鬼の精子が

私の卵を取りあって





数ヶ月後

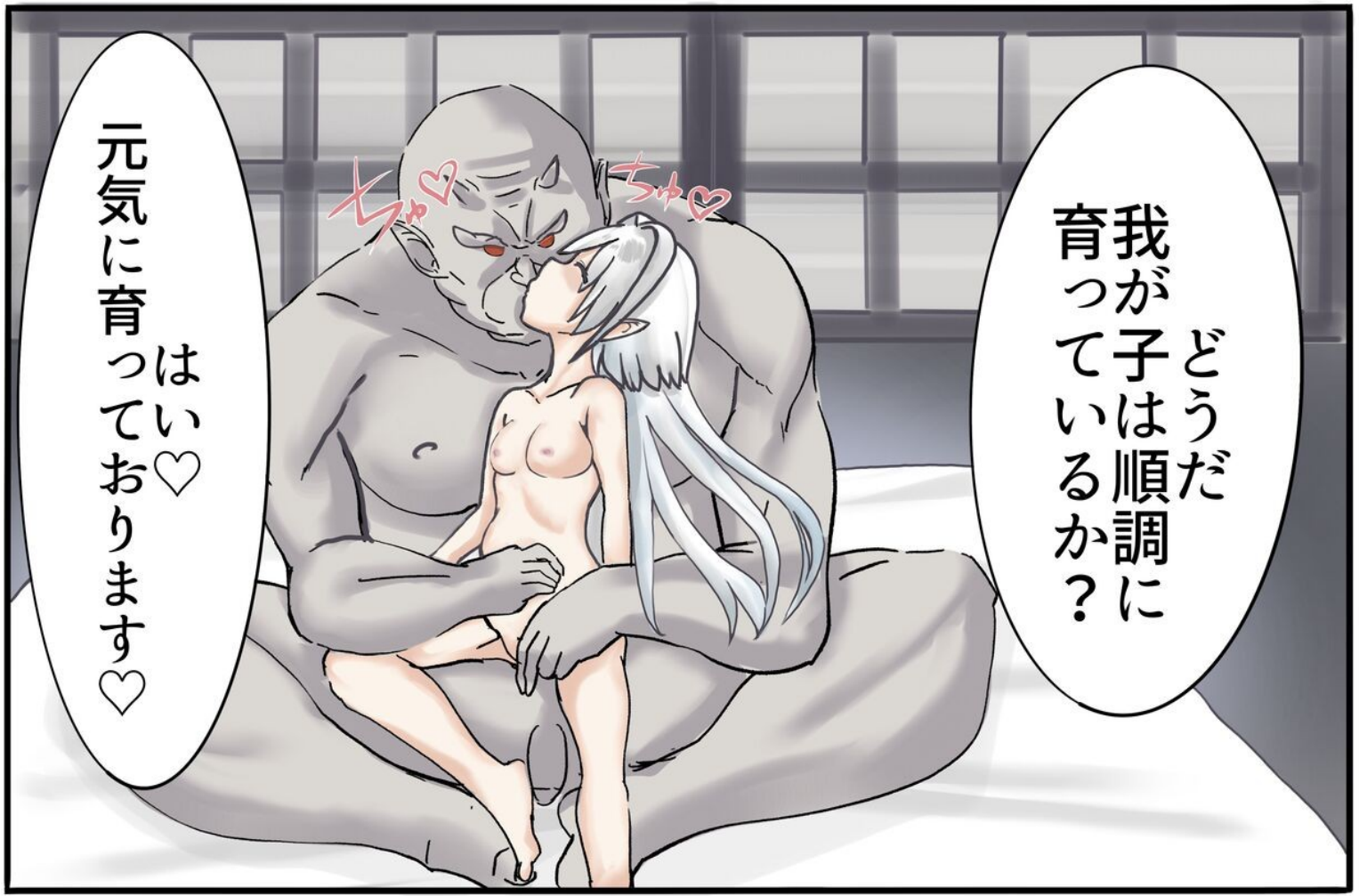
大きくなってきた

お腹

カアア

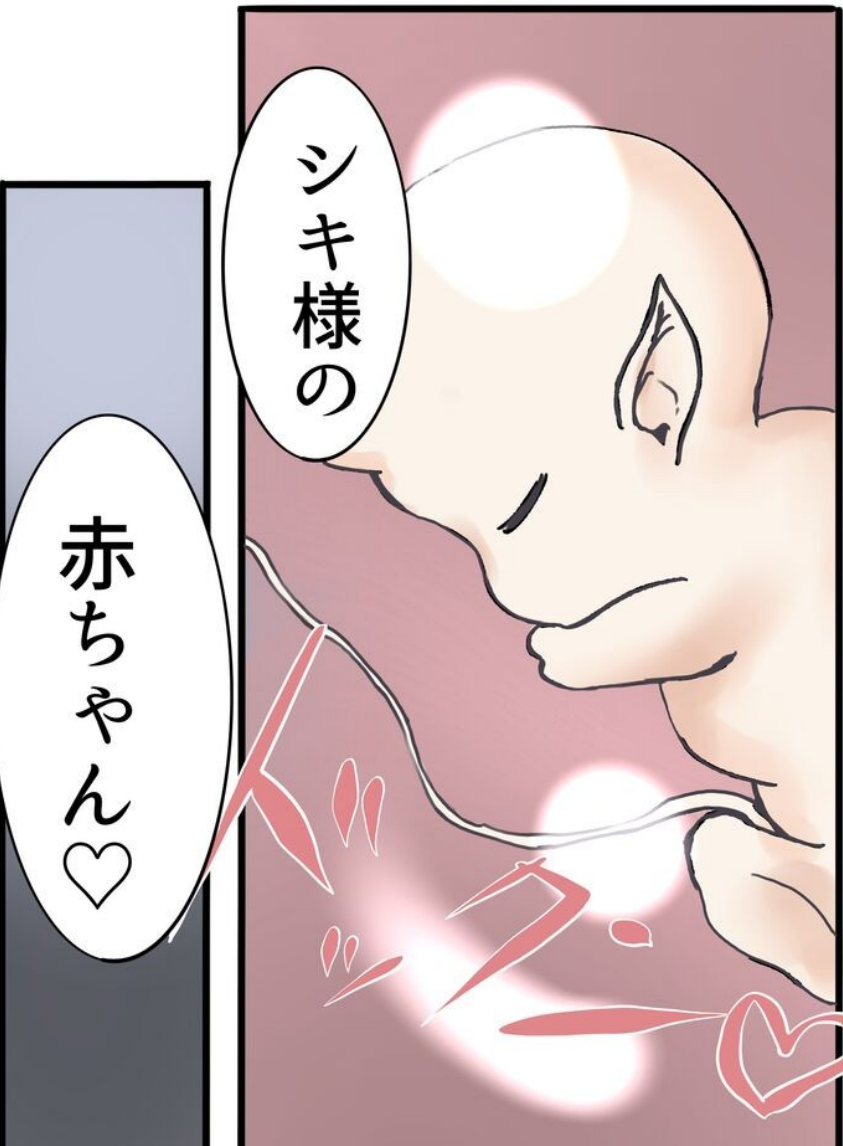
私の膈内で
鬼の子が♡

育つて
元気に♡



我が子はどうだ
は順調に
育っているか？

はい♡
元気に育っております♡



シキ様の

赤ちゃん♡



もう直ぐ
会えますよ♡



シキ様♡

シキ様♡

シキ様♡

シキ様♡

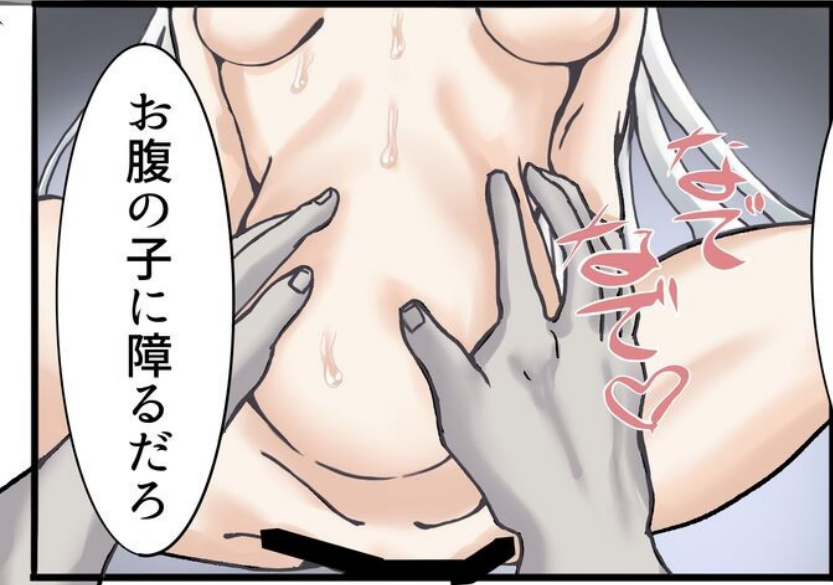
アサ♡

♡

ホテ♡

アサ♡

♡



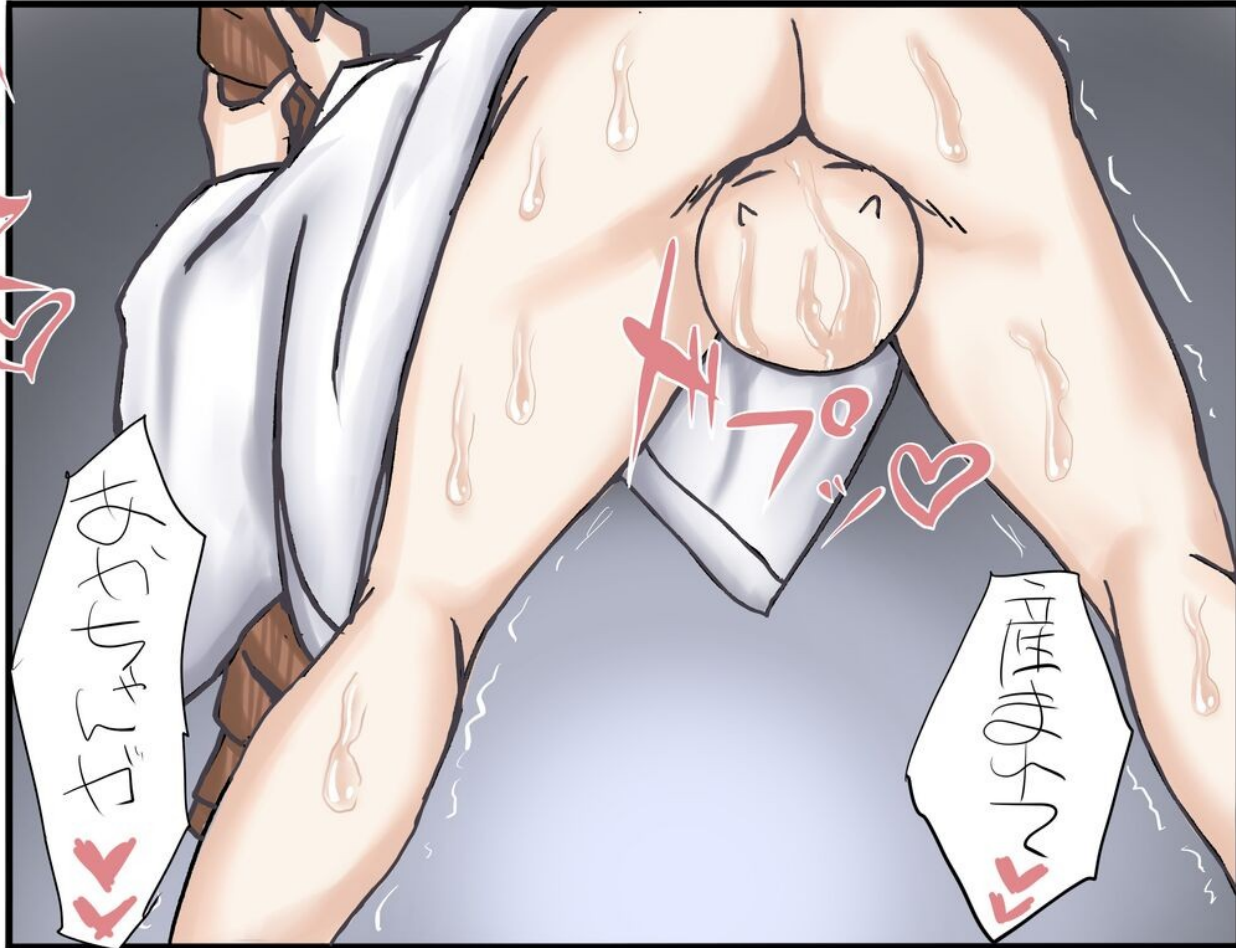
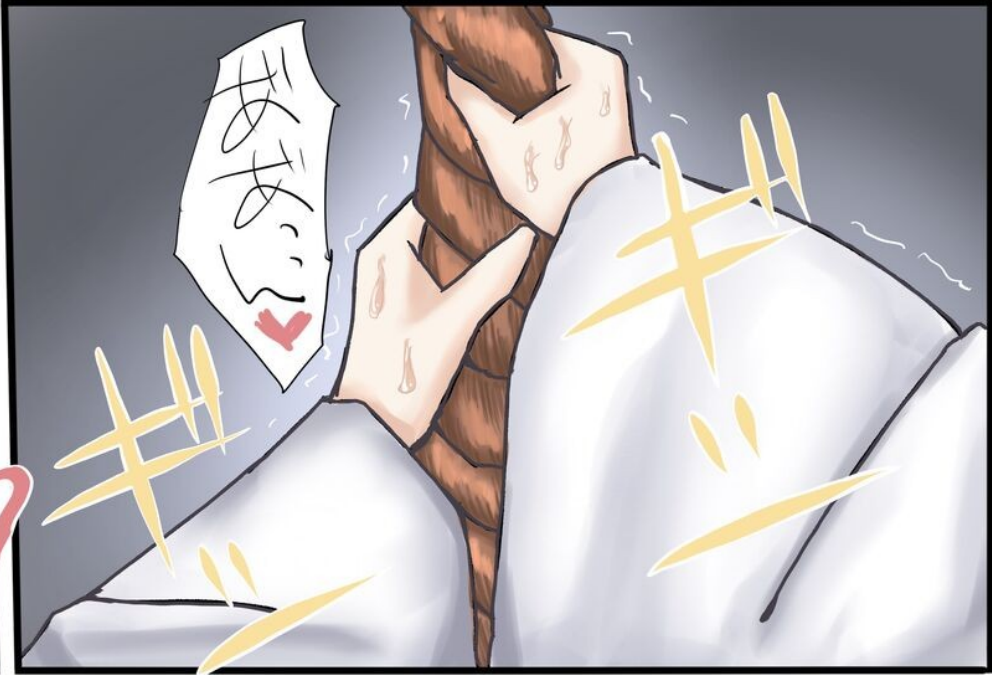
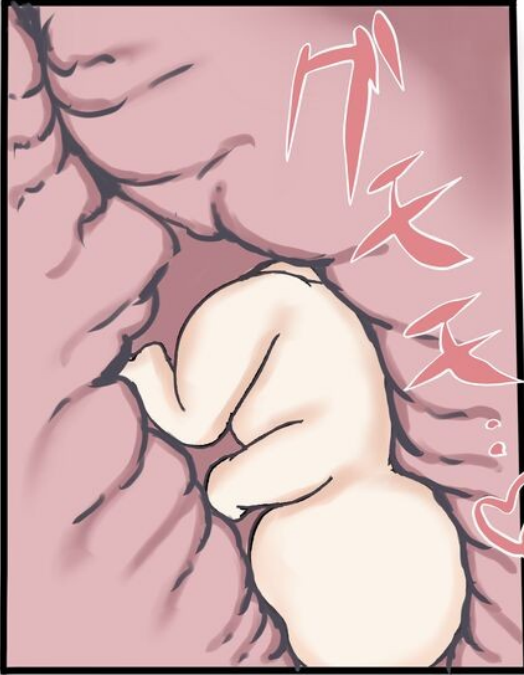
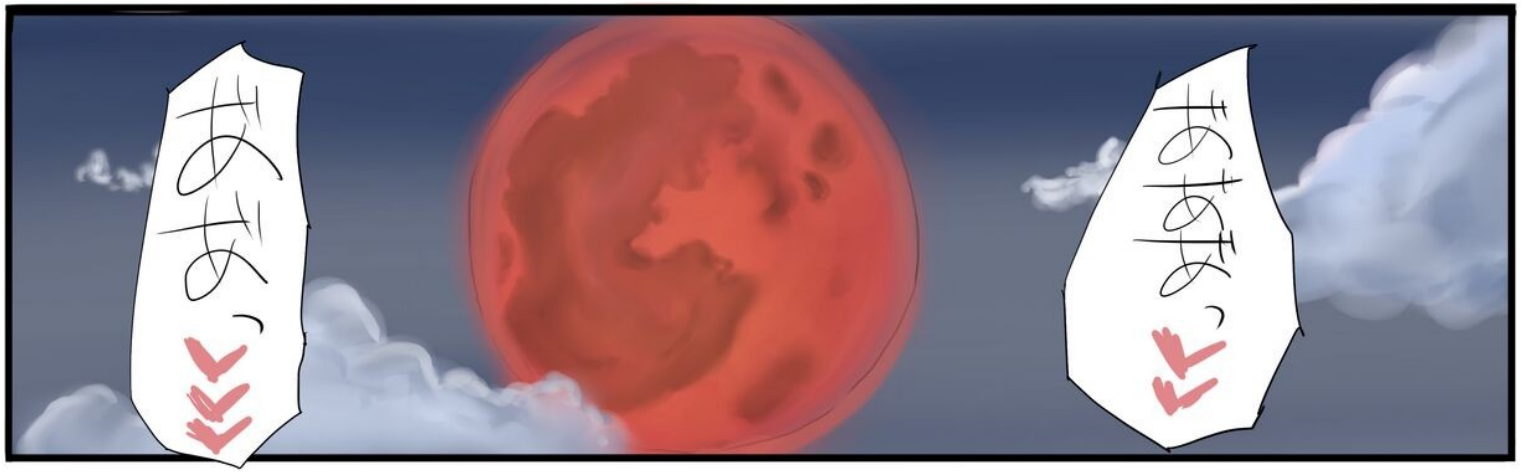
お腹の子に障るだろ

アサ♡



そんなに激しくしたら

シキシキ



ここより鬼の楽園を築く

鬼の世はここより始まる

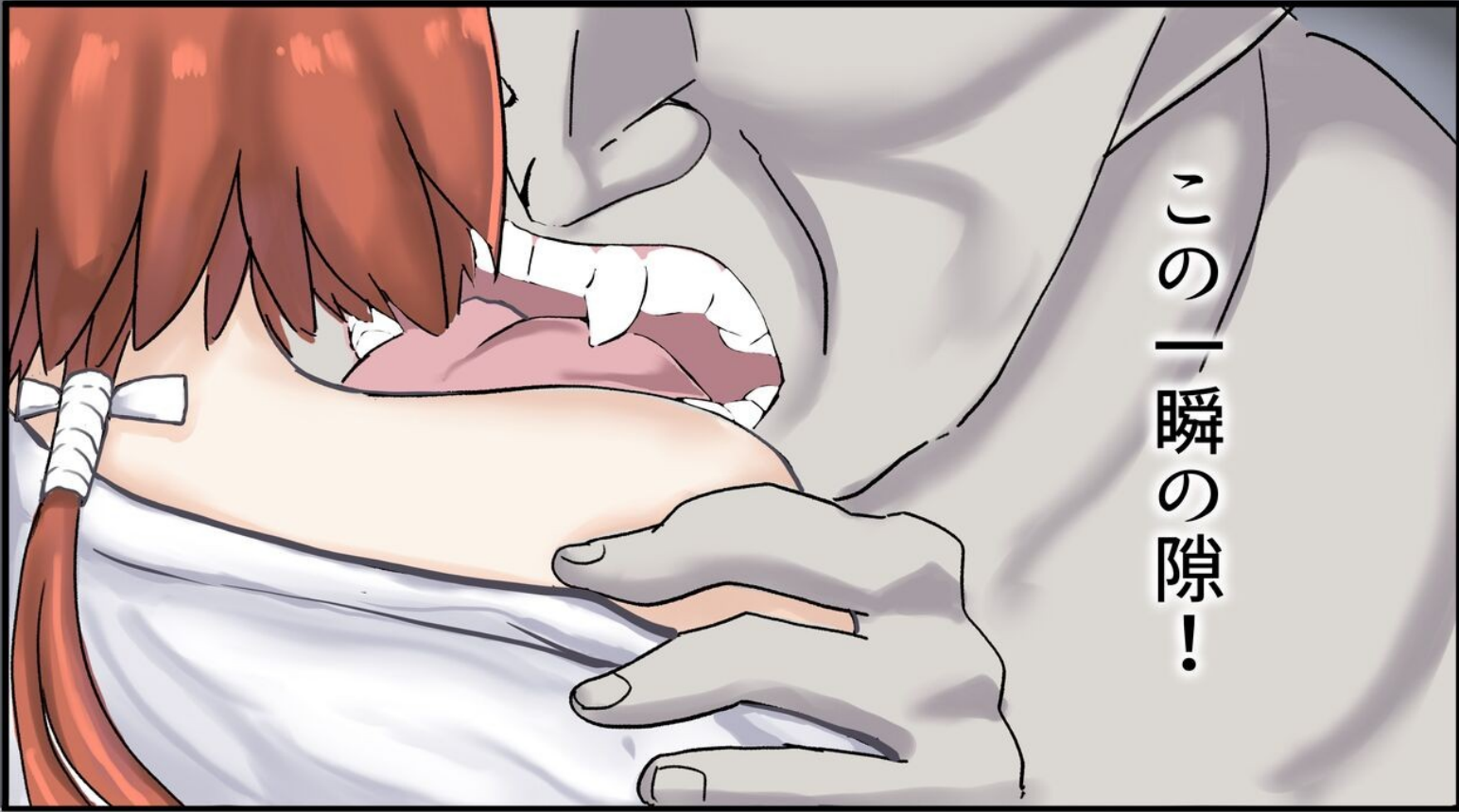
まだまだ
産んで貰うぞ

お任せください
シキ様♡

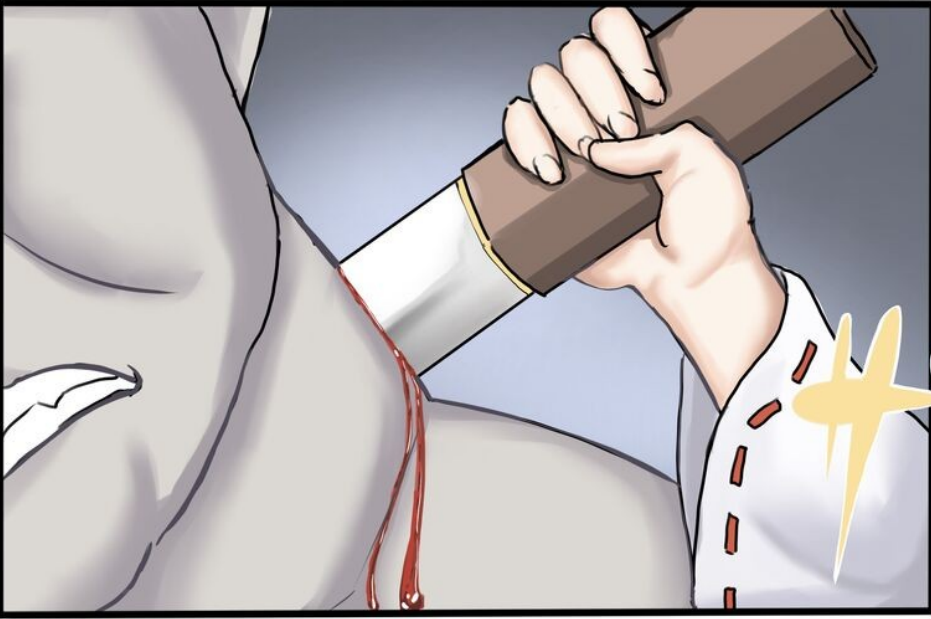
BAD END

IF STORY





この一瞬の隙！



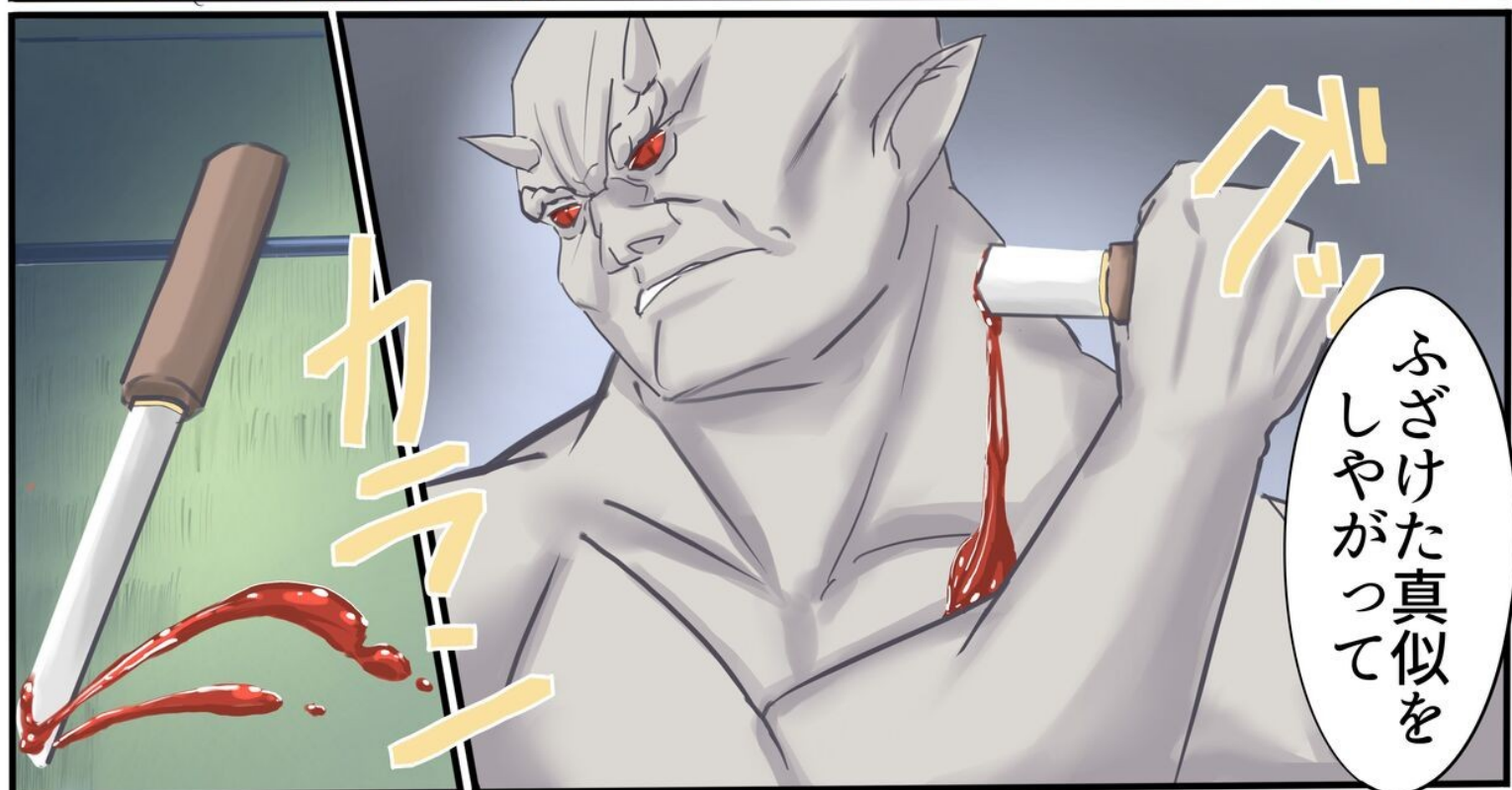
鬼になんか
成るものか！

私はこの地を
守護する巫女！



きゃあ

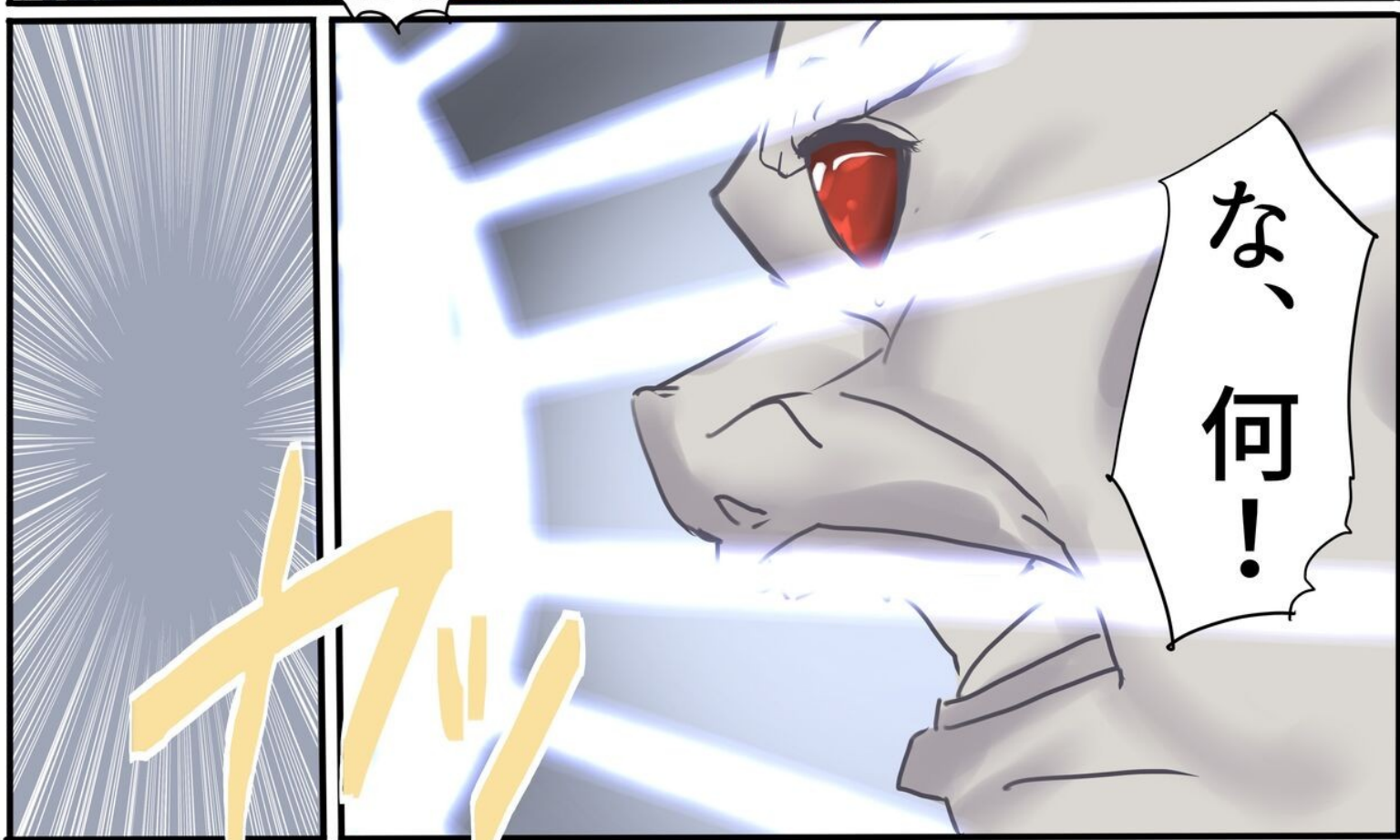
おのれ
この小娘が！

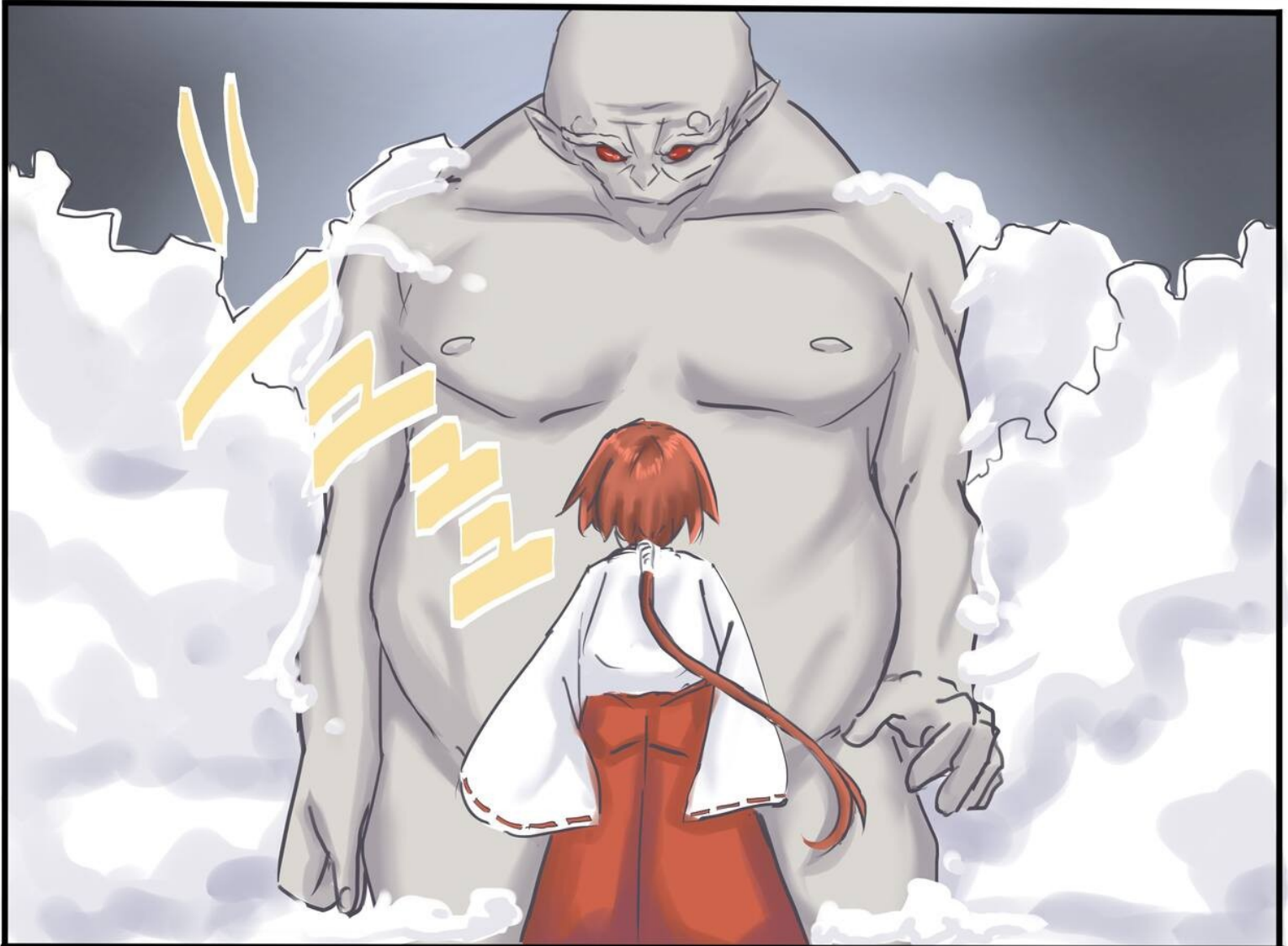
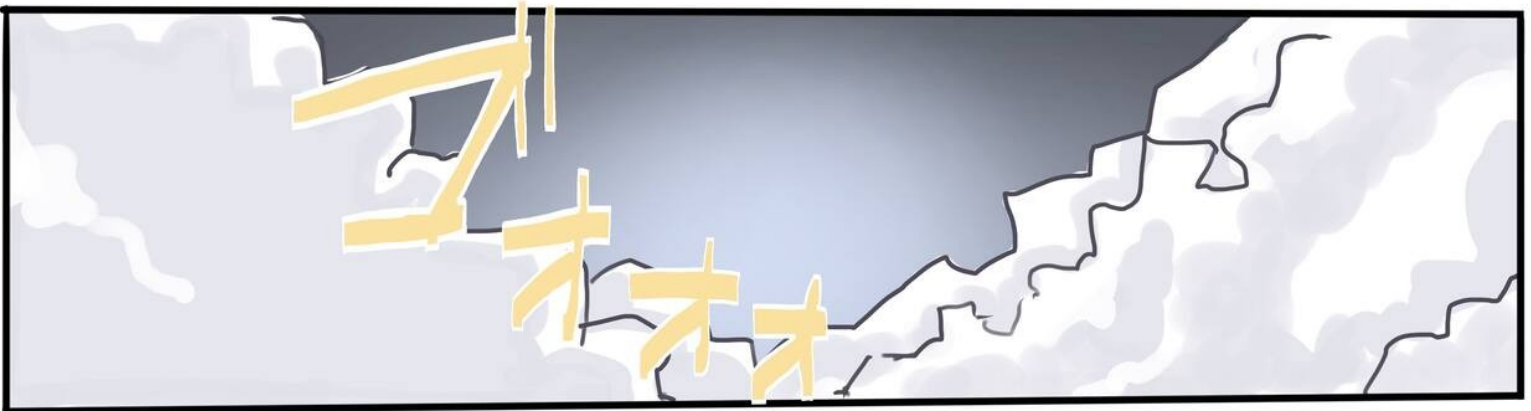


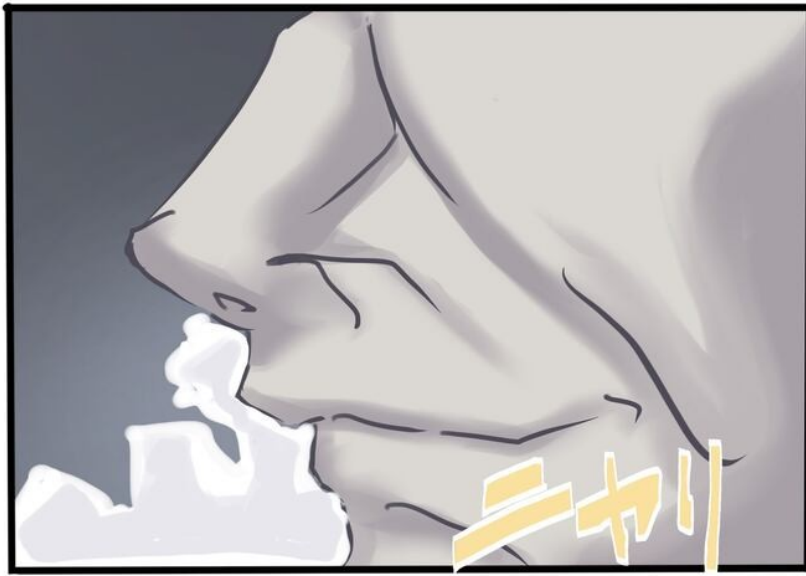
ふざけた真似を
しやがって



喰らってやるは！
—思いには







はあああ



小娘が・・・いや
阿部の巫女よ

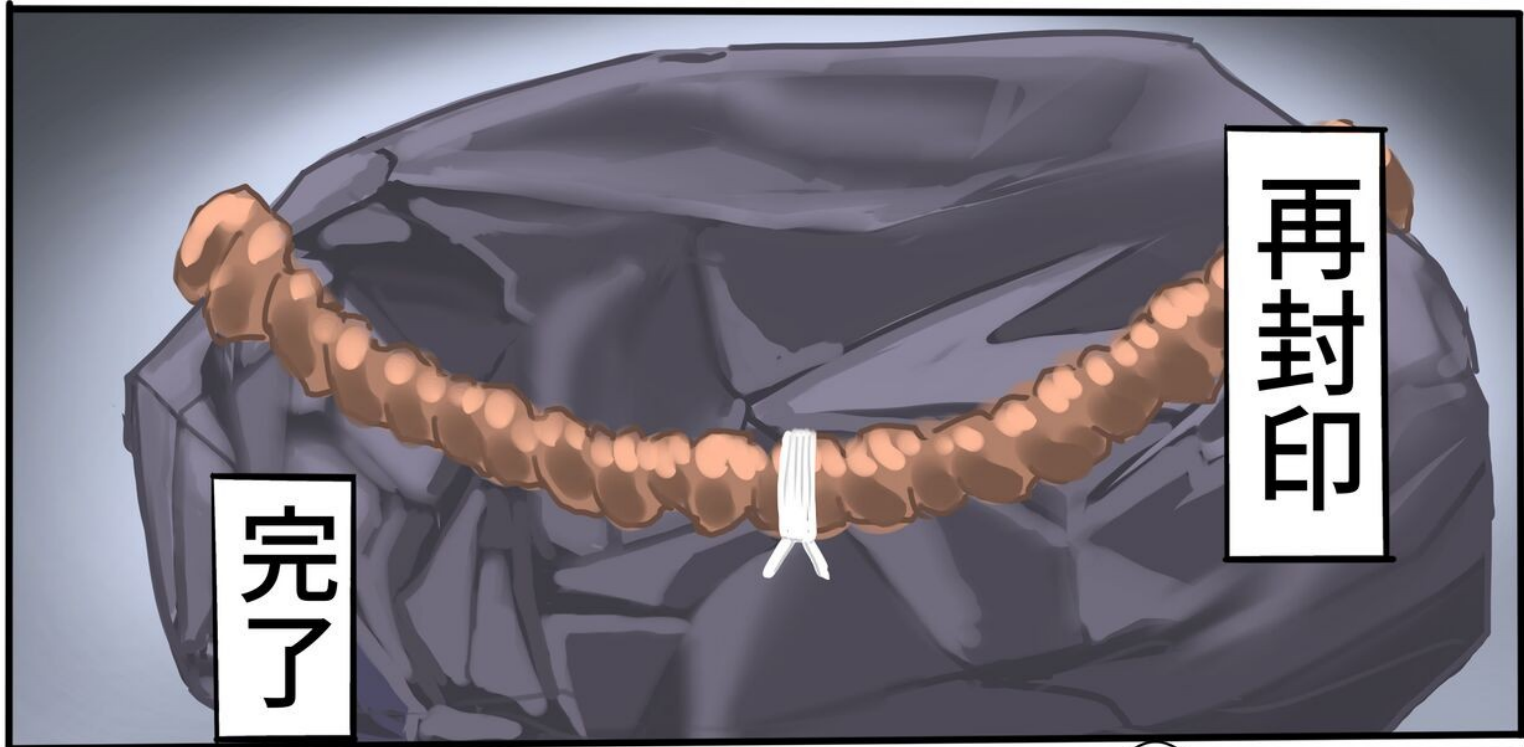
いい腕してるじゃねーか



今回は
負けといてやるよ

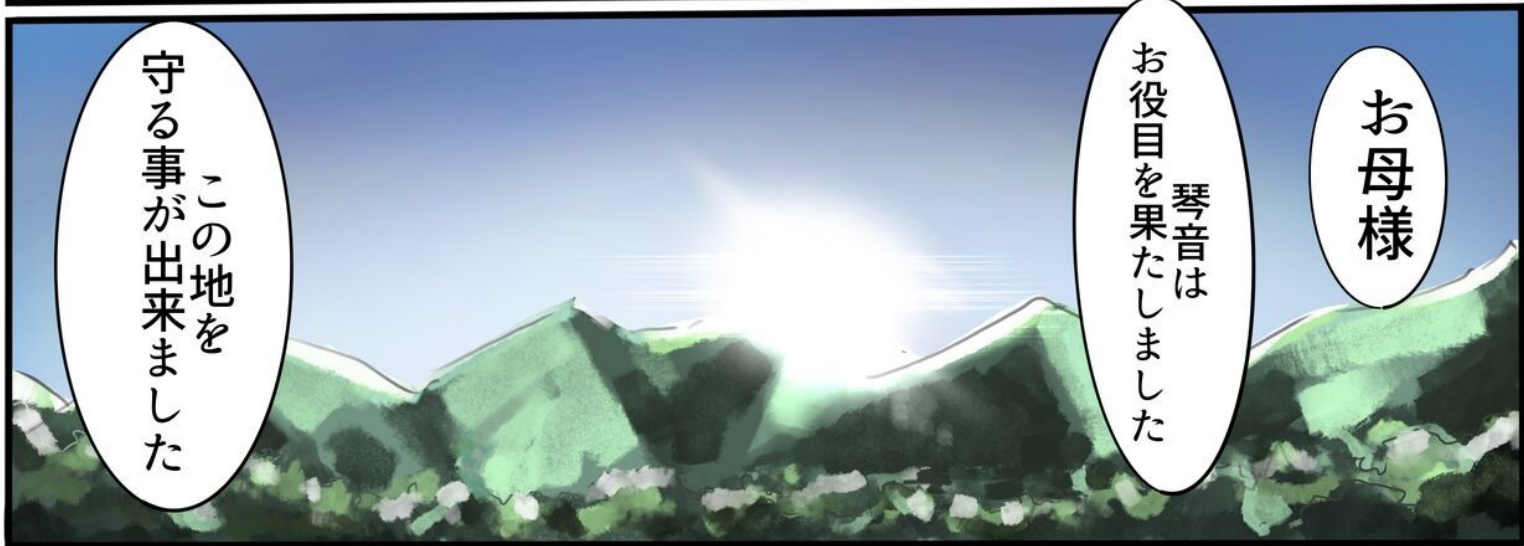
だが俺は
また戻って来るぜ

血を絶やさな
いで
置くんだな



再封印

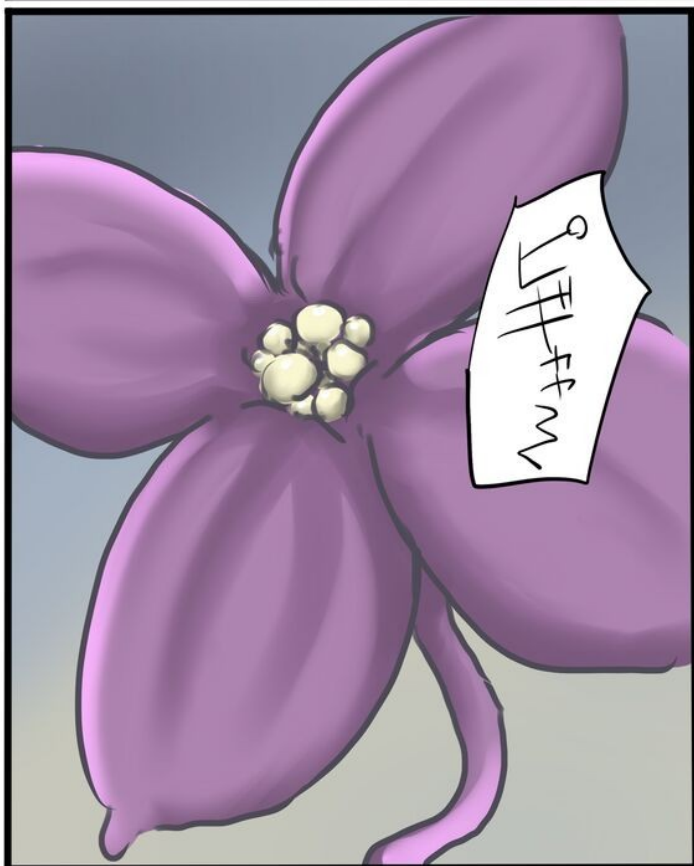
完了



お母様

お役目を果たしました
琴音は

この地を
守る事が出来ました



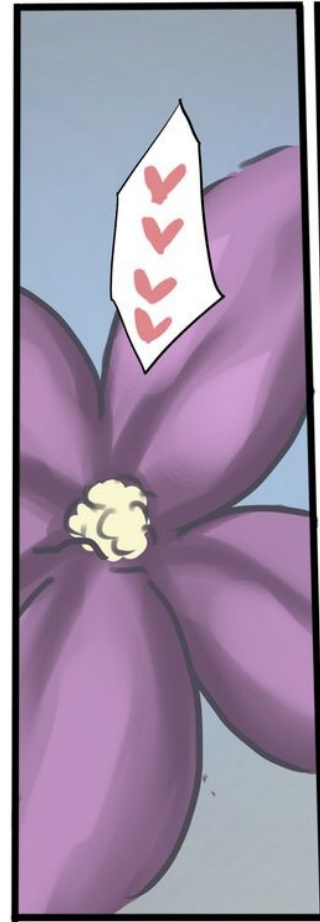
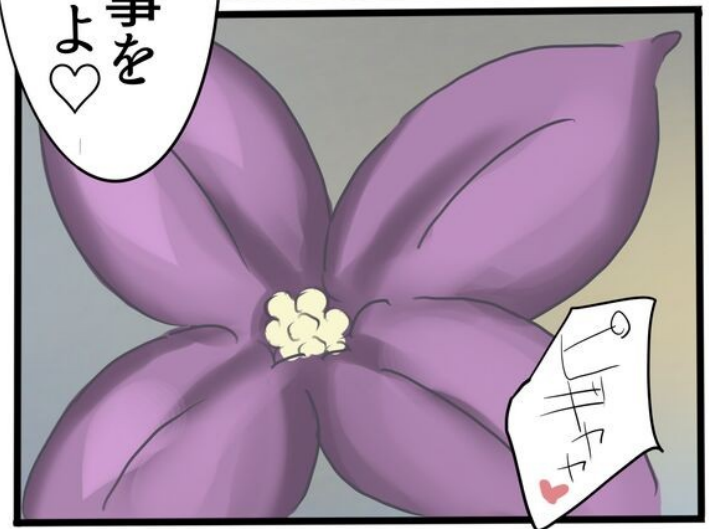
そして
これからも
この地を守って行きます



私の仕事を
手伝うのよ♡

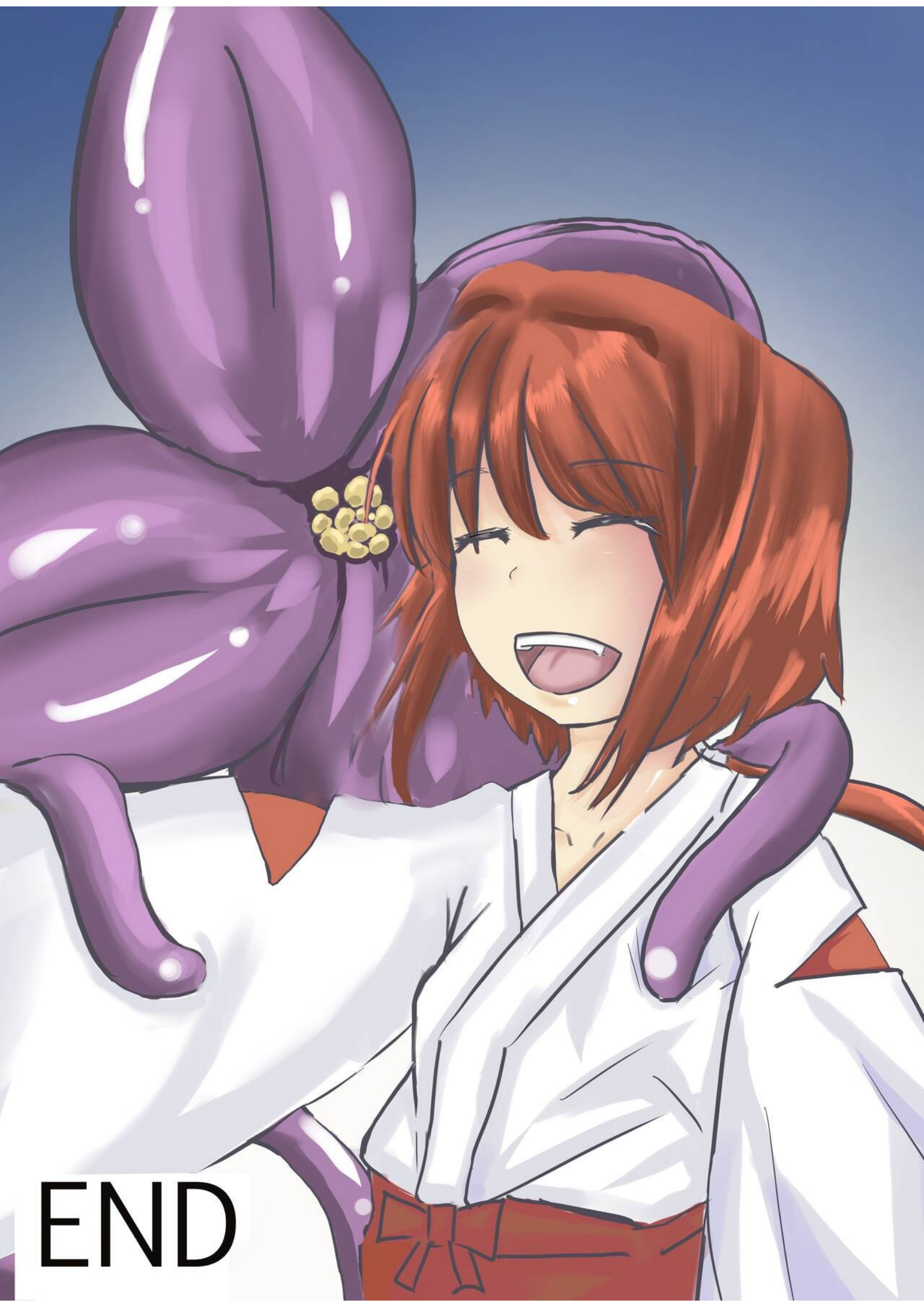


あなたは
消滅させないで上げるから



私の靈力分けてあげるね♡

ちやんと
お仕事してくれたら



END